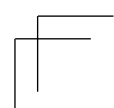
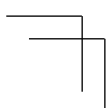


日本大学大学院 新聞学研究科 シラバス

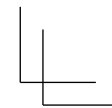
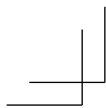
平成30(2018)年度



科目名索引

この大学院シラバスは、専攻の順に、今年度開講されている授業科目が掲載されている。

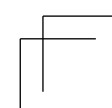
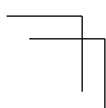
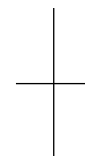
ウ	ウェブ・ジャーナリズム論特殊講義 71	メディア倫理特殊講義 35
エ	映像ジャーナリズム論特殊講義 75	ヨ
ケ	研究指導 159	世論・政治意識とメディア（外国）特殊講義 27
コ	合同演習 155	世論・政治意識とメディア（日本）特殊講義 23
	国際コミュニケーション論特殊講義 59	リ
シ	ジャーナリズム史（外国）特殊講義 47	リスクコミュニケーション論特殊講義 51
	ジャーナリズム史（日本）特殊講義 43	
	ジャーナリズム史特殊演習（比較） 151	
	ジャーナリズム史特殊研究 15	
	ジャーナリズム史特殊研究（比較） 147	
	ジャーナリズム制度（外国）特殊研究 11	
	ジャーナリズム制度（日本）特殊研究 7	
	ジャーナリズム制度特殊演習（システム） 143	
	ジャーナリズム制度特殊演習（比較） 139	
	ジャーナリズム制度特殊研究（比較） 135	
	ジャーナリズム調査演習Ⅰ 99	
	ジャーナリズム調査演習Ⅱ 101	
	ジャーナリズム調査演習Ⅲ 103	
	ジャーナリズム理論演習Ⅰ 91	
	ジャーナリズム理論演習Ⅱ 93	
	ジャーナリズム理論特殊演習（規範） 131	
	ジャーナリズム理論特殊演習（実証） 127	
	ジャーナリズム理論特殊研究 3	
	ジャーナリズム理論特殊研究（実証） 123	
セ	政治ジャーナリズム論特殊講義 19	
	専門演習（研究指導） 111	
チ	中国メディア論特殊講義 67	
ヒ	比較コミュニケーション政策論特殊講義 63	
	比較ジャーナリズム論特殊講義 55	
フ	文献研究（英） 79	
	文献研究（中） 87	
	文献研究（日） 83	
メ	メディア史特殊研究 17	
	メディア社会論特殊講義 31	
	メディア制度（外国）特殊研究 13	
	メディア制度（日本）特殊研究 9	
	メディア調査演習Ⅰ 105	
	メディア調査演習Ⅱ 107	
	メディア調査演習Ⅲ 109	
	メディア法制特殊講義 39	
	メディア理論演習Ⅰ 95	
	メディア理論演習Ⅱ 97	
	メディア理論特殊研究 5	



新聞学専攻

新聞学研究科

新聞学専攻



科目名	ジャーナリズム理論特殊研究	担当者	小林 義寛	期間	前期	単位数	2
-----	---------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	ジャーナリズムは近代社会におけるインフラストラクチャーの構築に貢献する組織である。そこで、まず西欧近代社会の存立基盤である近代思想とその組成および制度的枠組みについて理解をすることから始める。その後、戦後日本社会の形態と歩みを概観しつつ、日本を事例にジャーナリズムの意義を考察する。			
授業目的・到達目標	近代社会とはなにか。また、戦後から現在まで、日本社会はどのように展開したのか。その概観とともに、日本におけるジャーナリズムへの理論的接近のための基礎として社会学的思考を身につける。			
履修条件	社会学の知識を習得していることが望ましい。日本近現代史の基本知識を蓄積していることは必須要件である。			
授業方法	教科書を使用し、指定された担当部分を報告した上で課題を提起する方法をとる。毎回レジュメを配布すること。ただし、使用文献に関しては、状況により受講生の相談に応じる。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	基本的に授業内での文献解題と報告、課題レポートの結果を勘案する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	授業時に相談しながら指定する。		
参考書	授業時に指示する			
オフィスアワー	水曜5限			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	シラバスを確認しておく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	研究テーマとの関係を確認する。
2	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	西欧近代社会とはなにか
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。
3	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	トクヴィルとフランス社会
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。
4	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	デュルケームと社会学
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。

5	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	ベルグソンと持続
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。
6	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	戦後日本社会①：理想の時代
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。
7	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	戦後日本社会②：虚構の時代
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。
8	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	戦後日本社会③：オタクの謎
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。
9	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	戦後日本社会④：リスク社会再論
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。
10	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	戦後日本社会⑤：不可能性の時代
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。
11	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	戦後日本社会⑥：政治的思想空間の現在
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。
12	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	ポスト・トゥルースにおけるジャーナリズム①
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。
13	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	ポスト・トゥルースにおけるジャーナリズム②
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。
14	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	ポスト・トゥルースにおけるジャーナリズム③
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。
15	事前学習	これまでの内容を整理し、質問や議論を確認しておく。
	授業内容	まとめ
	事後学習	全体としてのレポート作成。

科目名	メディア理論特殊研究	担当者	小林 義寛	期間	後期	単位数	2
-----	------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	大衆社会状況での社会成員の特徴を考察し、そうした成員たちによって劇場化される諸社会現象とマス・メディアが如何に関わっているのかを論じることで、現代社会におけるマス・メディアの存在意義を問う視座を明らかにする。						
授業目的・到達目標	現代日本社会におけるメディア現象に対して、社会学や文化理論に基づいて、理論的にアプローチする方法を身につける。						
履修条件	メディア現象に対して広く興味をもって接していること。ただし、単なる興味以上に、社会学や文化理論などの理論的な関心をあわせもつ必要がある。						
授業方法	教科書を使用し、指定された担当部分を報告した上で課題を提起する方法をとる。毎回レジュメを配布すること。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	平常の授業における文献解題、報告、課題レポートの成果による。				
教科書	年	出版社	書名			著者名	
	備考	授業時に相談する。					
参考書	授業時に適宜指示する。						
オフィスアワー	水曜5限						

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを確認しておく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	研究テーマとの関係を確認する。
2	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	カルチュラル・スタディーズの始まりと関連する思想①
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。
3	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	カルチュラル・スタディーズの始まりと関連する思想②
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。
4	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	対象とする現象と思考様式①メディア研究
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。

5	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	対象とする現象と思考様式②サブカルチャー研究
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。
6	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	対象とする現象と思考様式③フェミニズムとジェンダー
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。
7	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	対象とする現象と思考様式④ポストコロニアリズム
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。
8	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	対象とする現象と思考様式⑤その他
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。
9	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	現代日本のメディア文化にアプローチする①
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。
10	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	現代日本のメディア文化にアプローチする②
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。
11	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	現代日本のメディア文化にアプローチする③
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。
12	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	現代日本のメディア文化にアプローチする④
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。
13	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	現代日本のメディア文化にアプローチする⑤
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。
14	事前学習	テキストの当日使用部分を読み、質問や議論のテーマを整理しておく。
	授業内容	現代日本のメディア文化にアプローチする⑥
	事後学習	当日部分を理解し、次回分との関係を捉えておく。
15	事前学習	これまでの全体の内容を整理し、質問や議論を確認する。
	授業内容	まとめ
	事後学習	全体を通じてのレポート作成。

科目名	ジャーナリズム制度(日本)特殊研究	担当者	塚本 晴二郎	期間	前期	単位数	2
-----	-------------------	-----	--------	----	----	-----	---

授業概要	ジャーナリズムの制度論的研究の方法論を体得する。			
授業目的・到達目標	ジャーナリズムを制度論的に研究する方法論の体得を目的とした講義である。			
履修条件	大学院の講義である以上、学部レベルの基礎知識があることは大前提である。その上で、ジャーナリズムの制度論的研究の方法論を体得したいと思う者のみが受講すべきと考える。			
授業方法	講義形式及び演習形式を併用する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	講義時の態度や授業内での対話などから、総合的に評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考			
参考書	受講者の問題意識に応じて適宜指示する。			
オフィスアワー	原則的に月曜日の昼休みだが、柔軟に対応したいので、必ずメールにて予約を取って欲しい。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読する
	授業内容	ガイダンス 講義概要 受講者との相談を中心に
	事後学習	ガイダンス内容を確実に把握する
2	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズム研究の制度論的方法論① 法学的アプローチ① 表現の自由を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
3	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズム研究の制度論的方法論② 法学的アプローチ② 知る権利を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
4	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズム研究の制度論的方法論③ 法学的アプローチ③ 取材・報道の自由を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。

5	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズム研究の制度論的方法論④ 法学的アプローチ④ 名誉毀損を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
6	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズム研究の制度論的方法論⑤ 法学的アプローチ⑤ プライバシーの内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。ライバシーの侵害を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
7	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズム研究の制度論的方法論⑥ 倫理的アプローチ① 功利主義を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
8	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズム研究の制度論的方法論⑦ 倫理的アプローチ② 講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。義務論を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
9	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズム研究の制度論的方法論⑧ 倫理的アプローチ③ 徳倫理学を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
10	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズム研究の制度論的方法論⑨ 倫理的アプローチ④ 討議倫理学を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
11	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズム研究の制度論的方法論⑩ 倫理的アプローチ⑤ リベタリアニズムを中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
12	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズム研究の制度論的方法論⑪ 倫理的アプローチ⑥ リベラリズムを中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
13	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズム研究の制度論的方法論⑫ 倫理的アプローチ⑦ コミュニタリアニズムを中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
14	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	方法論の実践 課題発表 講評を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
15	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	総括 講義概観 質疑応答を中心に
	事後学習	全講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず質問して解決する。

科目名	メディア制度(日本)特殊研究	担当者	岩淵 美克	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	海外からの日本メディアの視点を活かしながら、日本のメディア史システムを概観する。必要に応じて、時事問題も取り上げる。						
授業目的・到達目標	日本におけるメディア状況を、政治との関連から見ていくことが本講義の目的である。したがって、外国人及び日本人のメディア研究者が著した英語論文を取り上げ、さまざまな視点から日本メディアと日本政治の関係を考えてみることにする。英語科目ではないので、題材を中心とした議論を通じて日本メディアを理解することが目的である。日本におけるメディアの特徴を理解するとともに、批判的な論評を加えることのできる視座をもつことも目的とする。						
履修条件	特に条件は設けないが、多様なメディアに絶えず触れながら、かつ批判的な視座をもって臨むことを希望する。						
授業方法	日本のメディアに関する英語論文を題材に、受講生による逐語訳とそれに対する解説を中心に講義を進める。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	講義時の態度や授業内の対話から総合的に評価する。				
教科書	年	出版社	書名			著者名	
	備考	適宜、参考書を提示。					
参考書	講義時に提示する。						
オフィスアワー	12:30~14:30 特に予約の必要はありませんが、急用等がある場合には閉室とします。必要に応じてHPにあるメールアドレスで、在室の確認をしてください。						

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書のコピーをしてくること。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	教科書を翻訳する。
2	事前学習	教科書を翻訳する。
	授業内容	Media and Politics in Japan : Historical and Contemporary Perspectives 1
	事後学習	日本におけるメディアの歴史視点を復習する。
3	事前学習	教科書を翻訳する。
	授業内容	Media and Politics in Japan : Historical and Contemporary Perspectives 2
	事後学習	日本におけるメディアの歴史視点を復習する。
4	事前学習	教科書を翻訳する。
	授業内容	Media and Politics in Japan : Historical and Contemporary Perspectives 3
	事後学習	日本におけるメディアの歴史視点を復習する。

5	事前学習	教科書を翻訳する。
	授業内容	Media as Trickster in Japan : A comparative Perspective 1
	事後学習	日本のメディアを批判的な視点で見てくる。
6	事前学習	教科書を翻訳する。
	授業内容	Media as Trickster in Japan : A comparative Perspective 2
	事後学習	日本のメディアを批判的な視点で見てくる。
7	事前学習	教科書を翻訳する。
	授業内容	Media as Trickster in Japan : A comparative Perspective 3
	事後学習	日本のメディアを批判的な視点で見てくる。
8	事前学習	教科書を翻訳する。
	授業内容	Mass Media as Business Organization : A U.S.-Japanese Comparison 1
	事後学習	メディアの経営、組織について考える。
9	事前学習	教科書を翻訳する。
	授業内容	Mass Media as Business Organization : A U.S.-Japanese Comparison 2
	事後学習	メディアの経営、組織について考える。
10	事前学習	教科書を翻訳する。
	授業内容	Mass Media as Business Organization : A U.S.-Japanese Comparison 3
	事後学習	メディアの経営、組織について考える。
11	事前学習	教科書を翻訳する。
	授業内容	Political Communication in Japan 1
	事後学習	日本における、いわゆるメディア以外の通信手段を考察する。
12	事前学習	教科書を翻訳する。
	授業内容	Political Communication in Japan 2
	事後学習	日本における、いわゆるメディア以外の通信手段を考察する。
13	事前学習	教科書を翻訳する。
	授業内容	Political Communication in Japan 3
	事後学習	日本における、いわゆるメディア以外の通信手段を考察する。
14	事前学習	教科書を翻訳する。
	授業内容	Political Communication in Japan 4
	事後学習	日本における、いわゆるメディア以外の通信手段を考察する。
15	事前学習	全体から分かった日本のメディアについてまとめる。
	授業内容	総括
	事後学習	日本政治の理解を、今後もまとめる。

科目名	ジャーナリズム制度(外国)特殊研究	担当者	山本 賢二	期間	前期	単位数	2
-----	-------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	世界各国のジャーナリズムはそれぞれの国情が反映される。ここでいう国情とは権力の所在であり、それぞれの国家権力との関係の中でジャーナリズムが制度化される。本講義は各国の憲法及び関係法令における規定からそれぞれ制度化されたジャーナリズムを概観し、国家主権とジャーナリズムについて考える。						
授業目的・到達目標	世界各国のジャーナリズム制度の現状を理解し、国家主権とジャーナリズムの関係について、より深い解析力を得ることを目指す。						
履修条件	特になし。						
授業方法	関係各国の憲法と関連研究論文の輪読が中心になるが、NHKなどで放映された関連番組なども視聴し、問題意識を啓発し、授業を展開する。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	50%：レポート(テーマ「国家主権とジャーナリズム」期末提出) 50%：授業参加度。				
教科書	年	出版社	書名	著者名			
	2018年度	教員学生共有サイト掲載	2018ジャーナリズム制度(外国)特殊研究教材	山本編			
	備考						
参考書	適宜指示する。						
オフィスアワー	月曜日と木曜日の12時30分から13時まで本館9階1918山本研究室。時間が必要な場合は、別の時間を設定するので、事前に下記のアドレスに連絡すること。 yamamoto.kenji@nihon-u.ac.jp						

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	国家主権の概念を確認する。
	授業内容	ガイダンス(「世界輿論」と国家主権)
	事後学習	主権と憲法について考える。
2	事前学習	「教材」ソ連・ロシアの憲法を読む。
	授業内容	ロシアのジャーナリズム制度－憲法などにおける規定 1
	事後学習	国家組織関連事項をまとめる。
3	事前学習	「教材」ソ連・ロシアの憲法を読む。
	授業内容	ロシアのジャーナリズム制度－憲法などにおける規定 2
	事後学習	憲法に規定された公民の基本権をまとめる。
4	事前学習	「教材」の香港特別行政区基本法を読む。
	授業内容	香港のジャーナリズム制度－法令などにおける規定 1
	事後学習	行政区組織関連事項をまとめる

5	事前学習	「教材」の香港特別行政区基本法を読む。
	授業内容	香港のジャーナリズム制度－法令などにおける規定 2
	事後学習	憲法に規定された公民の基本権をまとめる。
6	事前学習	「教材」の中華民国憲法を読む。
	授業内容	台湾のジャーナリズム制度－憲法などにおける規定 1
	事後学習	国家組織関連事項をまとめる
7	事前学習	「教材」の中華民国憲法を読む。
	授業内容	台湾のジャーナリズム制度－憲法などにおける規定 2
	事後学習	憲法に規定された公民の基本権をまとめる。
8	事前学習	「教材」の朝鮮憲法を読む。
	授業内容	朝鮮のジャーナリズム制度－憲法などにおける規定 1
	事後学習	国家組織関連事項をまとめる
9	事前学習	「教材」の朝鮮憲法を読む。
	授業内容	朝鮮のジャーナリズム制度－憲法などにおける規定 2
	事後学習	憲法に規定された公民の基本権をまとめる。
10	事前学習	「教材」の韓国憲法を読む。
	授業内容	韓国のジャーナリズム制度－憲法などにおける規定 1
	事後学習	国家組織関連事項をまとめる
11	事前学習	「教材」の韓国憲法を読む。
	授業内容	韓国のジャーナリズム制度－憲法などにおける規定 2
	事後学習	憲法に規定された公民の基本権をまとめる。
12	事前学習	「教材」のイラン憲法を読む。
	授業内容	イランのジャーナリズム制度－憲法などにおける規定 1
	事後学習	国家組織関連事項をまとめる
13	事前学習	「教材」のイラン憲法を読む。
	授業内容	イランのジャーナリズム制度－憲法などにおける規定 2
	事後学習	憲法に規定された公民の基本権をまとめる。
14	事前学習	国境なき記者団について調べる。
	授業内容	国境なき記者団の活動
	事後学習	ジャーナリズムの普遍性を考える。
15	事前学習	各国・地域の憲法と社会の関係を再確認する。
	授業内容	まとめ(話し合い「国家主権とジャーナリズム」)
	事後学習	国家による情報統制の是非をまとめる。

科目名	メディア制度(外国)特殊研究	担当者	米倉 律	期間	後期	単位数	2
-----	----------------	-----	------	----	----	-----	---

授業概要	世界各国の政治・社会・文化・歴史等のコンテキストに応じて多様なメディア制度が存在し、そのうえで様々なメディア・ジャーナリズム活動・事業が展開されている。本授業では、日本のメディア制度と各国のメディア制度を新聞、通信、放送など各分野ごとに比較しながら、その特徴や傾向、課題等について講義する。						
授業目的・到達目標	日本のメディア制度と各国のメディア制度の特徴、傾向に関する基礎的知識を習得し、課題などについて理解、考察することを到達目標とする。						
履修条件	特になし。						
授業方法	各国のメディア事情、メディア制度に関する論文、書籍等を輪読しながら進める。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	50%：レポート（期末に上記テーマのレポートを提出） 50%：常に問題意識をもって授業に参加すること。授業での発言などが平常評価の対象となる。				
教科書	年	出版社	書名			著者名	
	備考	使用しない					
参考書	NHK放送文化研究所『データブック 世界の放送』（NHK出版、2018） その他、適宜指示する。						
オフィスアワー	毎週水曜日の昼休み。研究室は本館7階（1719） できれば事前にメール等でアポイントを入れてほしい。 メールアドレスは、yonekura.ritsu@nihon-u.ac.jp						

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	入手した参考文献に目を通しておく。
	授業内容	ガイダンス（「メディアとは、メディア制度とは」）
	事後学習	配布した資料、ノートなどを用いて振り返り。
2	事前学習	参考文献や関連資料などを読んでおく。
	授業内容	各国の主要なメディア制度の概況①
	事後学習	配布資料やノートを用いて復習する。
3	事前学習	関連のデータを収集し、目を通しておく。
	授業内容	各国の主要なメディア制度の概況②
	事後学習	講義およびディスカッションの内容を整理しまとめておく。
4	事前学習	参考文献や関連資料などを読んでおく。
	授業内容	米国におけるメディア制度の特質と課題①
	事後学習	配布資料やノートを用いて復習する。

5	事前学習	関連のデータを収集し、目を通しておく。
	授業内容	米国におけるメディア制度の特質と課題②
	事後学習	講義およびディスカッションの内容を整理しまとめておく。
6	事前学習	参考文献に目を通しておく。
	授業内容	米国におけるメディア制度の特質と課題③
	事後学習	参考文献の該当パートを読んで復習しておく。
7	事前学習	関連のデータを収集し、目を通しておく。
	授業内容	ヨーロッパのメディア制度・政策①
	事後学習	配布資料やノートを用いて復習する。
8	事前学習	関連のデータを収集し、目を通しておく。
	授業内容	ヨーロッパのメディア制度・政策②
	事後学習	講義およびディスカッションの内容を整理しまとめておく。
9	事前学習	参考文献や関連資料などを読んでおく。
	授業内容	ヨーロッパのメディア制度・政策③
	事後学習	配布資料やノートを用いて復習する。
10	事前学習	関連のデータを収集し、目を通しておく。
	授業内容	アジアのメディア事情とメディア制度①
	事後学習	講義およびディスカッションの内容を整理しまとめておく。
11	事前学習	参考文献や関連資料などを読んでおく。
	授業内容	アジアのメディア制度とメディア政策②
	事後学習	配布資料やノートを用いて復習する。
12	事前学習	参考文献や関連資料などを読んでおく。
	授業内容	アジアのメディア制度とメディア政策③
	事後学習	参考文献の該当パートを読んで復習しておく。
13	事前学習	関連のデータを収集し、目を通しておく。
	授業内容	国際報道の比較①
	事後学習	講義およびディスカッションの内容を整理しまとめておく。
14	事前学習	参考文献や関連資料などを読んでおく。
	授業内容	国際報道の比較②
	事後学習	配布資料やノートを用いて復習する。
15	事前学習	第1回～14回の内容をまとめて整理しておく。
	授業内容	総括
	事後学習	参考文献や資料を整理しまとめる。

科目名	ジャーナリズム史特殊研究	担当者	大井 眞二	期間	前期	単位数	2
-----	--------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	社会制度としてのジャーナリズムが近代社会の固有の空間に誕生した経緯を歴史的に把握する。			
授業目的・到達目標	ジャーナリズムの変遷を歴史的に考究するためのアプローチ、方法論を学ぶ。特に様々な歴史解釈の学派、研究のパラダイムの対立と抗争などについて、さまざまなトピックの研究例を通して、歴史実証の研究法を具体的に学ぶ。 ①ジャーナリズム史の方法論の基本的な理解 ②ジャーナリズム史解釈の諸学派の特徴の把握			
履修条件	前期、後期を連続受講すること			
授業方法	ネットワークドライブ (Y) にアップロードした授業フォルダー資料をテキストにして、その批判的読解及び個別的トピックの研究報告というサイクルで授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	50% : 研究報告 50% : 課題報告	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考			
参考書	『アメリカ報道史』(2016年、松柏社)、大井眞二他訳、その他、各講義の折に適宜紹介する。			
オフィスアワー	水曜日の午後1時半から2時半 あらかじめメールで用件の概要を伝えアポをとること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの熟読
	授業内容	はじめに：受講上の諸注意、教科書・参考文献紹介
	事後学習	リアクションペーパーの作成
2	事前学習	授業資料フォルダー（1）の熟読
	授業内容	ジャーナリズム史の誕生① 「印刷史」
	事後学習	リアクションペーパーの作成
3	事前学習	授業フォルダー資料（2）の熟読
	授業内容	ジャーナリズム史の誕生② ペニープレスの神話
	事後学習	リアクションペーパーの作成
4	事前学習	授業フォルダー資料（3）の熟読
	授業内容	ジャーナリズム史の誕生③ 「偉人」理論の問題 研究報告（1）
	事後学習	リアクションペーパーの作成

5	事前学習	授業フォルダー資料（4）の熟読
	授業内容	ジャーナリズム史の方法論を巡って① 「興亡・盛衰史観」の問題
	事後学習	リアクションペーパーの作成
6	事前学習	授業フォルダー資料（5）の熟読
	授業内容	ジャーナリズム史の方法論を巡って② ホイッグ史観
	事後学習	リアクションペーパーの作成
7	事前学習	授業フォルダー資料（6）の熟読
	授業内容	ジャーナリズム史の方法論を巡って③ 革新主義ジャーナリズム
	事後学習	リアクションペーパーの作成
8	事前学習	授業資料フォルダー（7）の熟読
	授業内容	歴史研究のパラダイム変化 科学的歴史研究 研究報告（2）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
9	事前学習	授業資料フォルダー（8）の熟読
	授業内容	ジャーナリズムスクールの伝統 エメリーの「米報道史」
	事後学習	リアクションペーパーの作成
10	事前学習	授業資料フォルダー（9）の熟読
	授業内容	新しいパラダイム① コンセンサス学派
	事後学習	リアクションペーパーの作成
11	事前学習	授業資料フォルダー（10）の熟読
	授業内容	新しいパラダイム② 修正主義
	事後学習	リアクションペーパーの作成
12	事前学習	授業資料フォルダー（11）の熟読
	授業内容	新しいパラダイム③ 社会史 研究報告（3）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
13	事前学習	授業資料フォルダー（12）の熟読
	授業内容	研究事例① 客観性の起源
	事後学習	リアクションペーパーの作成
14	事前学習	授業資料フォルダー（13）の熟読
	授業内容	研究事例② 客観性の起源
	事後学習	リアクションペーパーの作成
15	事前学習	授業資料フォルダー（1）から（13）の復習
	授業内容	まとめと課題報告 研究報告（4）
	事後学習	授業総括リアクションペーパーの作成

科目名	メディア史特殊研究	担当者	大井 眞二	期間	後期	単位数	2
-----	-----------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	近代社会という固有の空間に成立した社会制度としてのメディアを、社会との関係性において歴史的に考察する研究の、アプローチおよび方法論を学修する。			
授業目的・到達目標	主として、アメリカ史学の伝統に依拠するアプローチおよび方法論に基づき、諸学派の特徴を理解する。1970年代以降の批判的史学、とりわけコミュニケーション史、メディアの社会史、文化史などの新しい歴史研究のパラダイムを理解する。具体的には、 ①メディア史の方法論の基本的な理解 ②メディア史解釈の諸学派の特徴の把握 を目標とする。			
履修条件	前期、後期を連続受講すること			
授業方法	ネットワークドライブ指：学生教員共有 (Y) にアップロードしたテキストの批判的読解及び個別的トピックの研究報告のサイクルで授業を行う			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	50%：研究報告 50%：課題報告	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考			
参考書	『アメリカ報道史』(2016年、松柏社)、大井眞二他訳、その他、各講義の折に適宜紹介する。			
オフィスアワー	水曜日の午後1時半から2時半 あらかじめメールで用件の概要を伝えアポをとること。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの熟読
	授業内容	はじめに：受講上の諸注意、教科書・参考文献紹介
	事後学習	リアクションペーパーの作成
2	事前学習	授業資料フォルダー(1)の熟読
	授業内容	メディア史・コミュニケーション史研究の誕生
	事後学習	リアクションペーパーの作成
3	事前学習	授業資料フォルダー(2)の熟読
	授業内容	「コミュニケーション史」と全体論的アプローチ
	事後学習	リアクションペーパーの作成
4	事前学習	授業資料フォルダー(3)の熟読
	授業内容	社会学的メディア史 研究報告(1)
	事後学習	リアクションペーパーの作成

5	事前学習	授業資料フォルダー（4）の熟読
	授業内容	メディアの社会史
	事後学習	リアクションペーパーの作成
6	事前学習	授業資料フォルダー（5）の熟読
	授業内容	メディアの歴史研究のパラダイム変化
	事後学習	リアクションペーパーの作成
7	事前学習	授業資料フォルダー（6）の熟読
	授業内容	文化としてのコミュニケーション、コミュニケーションの文化史
	事後学習	リアクションペーパーの作成
8	事前学習	授業資料フォルダー（7）の熟読
	授業内容	儀式的コミュニケーションの問題構制 研究報告（2）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
9	事前学習	授業フォルダ資料（8）の熟読
	授業内容	革新主義の支配：エメリーの「米報道史」
	事後学習	リアクションペーパーの作成
10	事前学習	授業資料フォルダー（9）の熟読
	授業内容	新しいパラダイム(1)：エイゼンシュティンの「変化の動因としての印刷機」
	事後学習	リアクションペーパーの作成
11	事前学習	授業資料フォルダー（10）の熟読
	授業内容	新しいパラダイム(2)：マルタンと「書物の歴史」
	事後学習	リアクションペーパーの作成
12	事前学習	授業資料フォルダー（11）の熟読
	授業内容	新しいパラダイム(3)：ホールと「記録と記憶」 研究報告（3）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
13	事前学習	授業資料フォルダー（12）の熟読
	授業内容	新しいパラダイム(4)：「ニュースの社会学」と社会史的アプローチ
	事後学習	リアクションペーパーの作成
14	事前学習	授業資料フォルダー（13）の熟読
	授業内容	新しいパラダイム(5)：比較コミュニケーション史的視点
	事後学習	リアクションペーパーの作成
15	事前学習	授業資料フォルダー（1）から（13）の復習
	授業内容	まとめと課題研究 研究報告（4）
	事後学習	授業総括リアクションペーパーの作成

科目名	政治ジャーナリズム論特殊講義	担当者	岩井 奉信	期間	通年	単位数	4
-----	----------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	本授業では、現代日本における政治とメディアの相互関係について、その実態について実証的に研究していく。日本政治とメディアの関連性について概観した上で、近年、問題になっているテレビと政治との関係について、番組の「送り手」を中心に、重点的に分析、研究を行っていく。詳細な授業内容については、履修者と相談の上で、決めていきたい。						
授業目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアと政治に関する実態の理解 ・政治とテレビに関する分析視角についての問題意識の醸成 						
履修条件	履修にあたっては、単なるメディアやジャーナリズムへの関心だけでなく、現代日本政治への関心を持ち、日本政治の現状について、一定の知識と理解をしていることが前提となる。						
授業方法	関連文献の輪読及び履修者による研究発表を基本とする。必要に応じて、学外での検修を行う場合がある。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	授業への出席状況、輪読や研究発表の内容などの状況を評価の対象とする。				
教科書	年	出版社	書名			著者名	
	2014年	中央公論社	日本政治とメディア			逢坂巖	
	備考						
参考書	必要に応じて授業中に指示する						
オフィスアワー	月曜日 昼休み						

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	現代日本政治とメディアとの関係について、明確な問題意識を持つこと。
	授業内容	授業概要についての説明と履修者の関心領域の確認
	事後学習	問題意識の再確認と授業での自分の研究方向を再確認すること。
2	事前学習	現代日本政治とメディアとの関係について、明確な問題意識を持つこと。
	授業内容	メディアと政治についての現状について概観的な講義を行う。
	事後学習	問題意識の再確認と授業での自分の研究方向を再確認すること。
3	事前学習	『日本政治とメディア』を事前に熟読すること。
	授業内容	『日本政治とメディア』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。
4	事前学習	『日本政治とメディア』を事前に熟読すること。
	授業内容	『日本政治とメディア』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。

5	事前学習	『日本政治とメディア』を事前に熟読すること。
	授業内容	『日本政治とメディア』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。
6	事前学習	『日本政治とメディア』を事前に熟読すること。
	授業内容	『日本政治とメディア』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。
7	事前学習	『日本政治とメディア』を事前に熟読すること。
	授業内容	『日本政治とメディア』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。
8	事前学習	『日本政治とメディア』を事前に熟読すること。
	授業内容	『日本政治とメディア』を輪読
	事後学習	輪読内容にもとづき、自らの問題意識をより醸成させること。
9	事前学習	日本政治とメディアに関する各自の発表テーマを定めて分析すること。
	授業内容	現代日本政治とメディアに関する個別研究報告
	事後学習	各自の研究発表を再確認して、自らの研究に生かす努力をすること。
10	事前学習	日本政治とメディアに関する各自の発表テーマを定めて分析すること。
	授業内容	現代日本政治とメディアに関する個別研究報告
	事後学習	各自の研究発表を再確認して、自らの研究に生かす努力をすること。
11	事前学習	日本政治とメディアに関する各自の発表テーマを定めて分析すること。
	授業内容	現代日本政治とメディアに関する個別研究報告
	事後学習	各自の研究発表を再確認して、自らの研究に生かす努力をすること。
12	事前学習	日本政治とメディアに関する各自の発表テーマを定めて分析すること。
	授業内容	現代日本政治とメディアに関する個別研究報告
	事後学習	各自の研究発表を再確認して、自らの研究に生かす努力をすること。
13	事前学習	日本政治とメディアに関する各自の発表テーマを定めて分析すること。
	授業内容	現代日本政治とメディアに関する個別研究報告
	事後学習	各自の研究発表を再確認して、自らの研究に生かす努力をすること。
14	事前学習	現代日本政治とメディアとの関係について、明確な問題意識を持つこと。
	授業内容	テレビ政治関連番組の制作過程に関する分析研究
	事後学習	各自の研究発表を再確認して、自らの研究に生かす努力をすること。
15	事前学習	現代日本政治とメディアとの関係について、明確な問題意識を持つこと。
	授業内容	前期まとめの議論
	事後学習	問題意識の再確認と授業での自分の研究方向を再確認すること。
16	事前学習	現代のテレビの政治報道について関心を高めておくこと。
	授業内容	テレビと政治に関する現代的課題についての概観
	事後学習	テレビと政治に関する自らの問題意識を醸成させること。

17	事前学習	戦後日本政治の流れについて、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	日本におけるテレビ政治の関係史 1
	事後学習	それぞれの時代における政治状況とテレビとの関係について再確認すること。
18	事前学習	戦後日本政治の流れについて、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	日本におけるテレビ政治の関係史 2
	事後学習	それぞれの時代における政治状況とテレビとの関係について再確認すること。
19	事前学習	戦後日本政治の流れについて、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	日本におけるテレビ政治の関係史 3
	事後学習	それぞれの時代における政治状況とテレビとの関係について再確認すること。
20	事前学習	小泉純一郎内閣の特質について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	小泉純一郎内閣におけるメディア戦略研究 1
	事後学習	それぞれの時代における政治状況とテレビとの関係について再確認すること。
21	事前学習	小泉純一郎内閣の特質について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	小泉純一郎内閣におけるメディア戦略研究 2
	事後学習	テレビと政治に関する自らの問題意識を醸成させること。
22	事前学習	小泉純一郎内閣の特質について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	小泉純一郎内閣におけるメディア戦略研究 3
	事後学習	テレビと政治に関する自らの問題意識を醸成させること。
23	事前学習	安倍晋三内閣の特質について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	安倍晋三内閣におけるメディア戦略研究 1
	事後学習	テレビと政治に関する自らの問題意識を醸成させること。
24	事前学習	安倍晋三内閣の特質について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	安倍晋三内閣におけるメディア戦略研究 2
	事後学習	テレビと政治に関する自らの問題意識を醸成させること。
25	事前学習	安倍晋三内閣の特質について、基礎的な知識を得ておくこと。
	授業内容	安倍晋三内閣におけるメディア戦略研究 3
	事後学習	テレビと政治に関する自らの問題意識を醸成させること。
26	事前学習	自らの研究テーマを定め、実証的な研究を行うこと。
	授業内容	政治とメディアに関するインデペンデント・リサーチ 1
	事後学習	各自の研究発表を受けて、自ら研究発表を再確認すること。
27	事前学習	自らの研究テーマを定め、実証的な研究を行うこと。
	授業内容	政治とメディアに関するインデペンデント・リサーチ 2
	事後学習	各自の研究発表を受けて、自ら研究発表を再確認すること。
28	事前学習	自らの研究テーマを定め、実証的な研究を行うこと。
	授業内容	政治とメディアに関するインデペンデント・リサーチ 3
	事後学習	各自の研究発表を受けて、自ら研究発表を再確認すること。

29	事前学習	自らの研究テーマを定め、実証的な研究を行うこと。
	授業内容	政治とメディアに関するインデペンデント・リサーチ4
	事後学習	各自の研究発表を受けて、自ら研究発表を再確認すること。
30	事前学習	これまでの授業を振り返り、自らの問題意識を醸成すること。
	授業内容	政治とメディアに関するまとめの議論
	事後学習	政治とメディアに関する今後の研究について考えること。

科目名	世論・政治意識とメディア(日本) 特殊講義	担当者	井田 正道	期間	通年	単位数	4
-----	--------------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	この講座では日本におけるメディア世論調査の実態と世論・政治意識の分析を行う。まず、世論や政治意識といった概念に関する解説から始め、社会調査の手法に関する説明を行う。その後、日本人の世論や政治意識などについて調査結果や分析結果に基づき考察を加えていく。			
授業目的・到達目標	いうまでもなく、民主主義社会では世論の重要性が大きい。そこで、世論をどのように把握するかという点が重要となり、昨今では世論調査が頻繁に実施されている。しかし、世論調査の方法や調査結果の政治的・社会的影響力などをめぐって、様々な問題点も指摘されている。本授業では、世論調査の方法・現況から始め、世論調査批判についても考える。さらに、世論調査結果から現代日本人の世論や政治意識についても考察を加える。世論調査の手法や現状に関する知識を身に付け、メディア世論調査や日本人の世論に関する理解を深める。			
履修条件	特になし。			
授業方法	講義方式と発表方式を混在させておこない。はじめの数は講義方式によって行う。その後は、テキストの各部分を受講者に割り当て、整理して報告してもらう。その上で、講師による講義および質疑・応答を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	授業中の態度、発表およびレポート。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2013	明治大学出版会	世論調査を読む—Q&Aからみる日本人の<意識>—	井田正道
	2018	北樹出版	日本政治の展開—有権者意識の視点—	井田正道
	備考			
参考書	『日本政治の潮流』井田正道 著 北樹出版 『政治・社会意識の現在』井田正道 著 北樹出版			
オフィスアワー	電子メールによる (ac00050@meiji.ac.jp)。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	復習
2	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	社会調査の歴史と方法 社会調査とは何か、社会調査の方法について説明する
	事後学習	復習
3	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	世論調査の展開と現状 メディア世論調査の展開、定例調査と選挙調査
	事後学習	復習
4	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	調査結果と実態 世論調査結果と実態とのズレについて考える
	事後学習	復習

5	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	世論調査の現況 世論調査の主体
	事後学習	復習
6	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	世論調査における統計的・非統計的誤差
	事後学習	復習
7	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	世論調査批判 世論調査に対する批判や懐疑について考える
	事後学習	復習
8	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	世論調査の分析 クロス分析と統計的検定を中心に論じる
	事後学習	復習
9	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	世論調査批判（1）
	事後学習	復習
10	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	世論調査批判（2）
	事後学習	復習
11	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	日本人の世論（1） 階層意識の分析
	事後学習	復習
12	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	日本人の世論（2） 生活意識の分析
	事後学習	復習
13	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	日本人の世論（3） 社会意識の分析
	事後学習	復習
14	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	日本人の世論（4） 司法に関する意識の分析
	事後学習	復習
15	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	復習
16	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	政治的態度の概念
	事後学習	復習

17	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	政治と文化
	事後学習	復習
18	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	日本人の政治意識（1） 内閣支持率の変遷
	事後学習	復習
19	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	日本人の政治意識（2） 政権評価の分析
	事後学習	復習
20	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	日本人の政治意識（3） 政党支持の分析
	事後学習	復習
21	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	日本人の政治意識（4） 無党派層の分析
	事後学習	復習
22	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	日本人の政治意識（5） 政治的関心の分析
	事後学習	復習
23	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	日本人の政治意識（6） 経済政策に対する有権者評価の分析
	事後学習	復習
24	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	国政選挙の分析（1） 近年の国政選挙の計量分析
	事後学習	復習
25	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	国政選挙の分析（2） 近年の国政選挙の計量分析
	事後学習	復習
26	事前学習	5回ごとに課題を課すので、レポートを作成すること。
	授業内容	若者の政治参加 大学生の投票参加に関する分析
	事後学習	復習
27	事前学習	発表準備
	授業内容	地方選挙の計量分析
	事後学習	復習
28	事前学習	発表準備
	授業内容	受講者の問題意識に基づく発表（1）
	事後学習	復習

29	事前学習	発表準備
	授業内容	受講者の問題意識に基づく発表（2）
	事後学習	復習
30	事前学習	後期の講座を整理する。
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	復習

科目名	世論・政治意識とメディア(外国) 特殊講義	担当者	伊藤 英一	期間	通年	単位数	4
-----	--------------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	学生諸君の問題意識や関心を尊重し、また時々刻々の世界の動向を踏まえながら、メディアの役割と機能について、皆さんと一緒に考えて行きたいと思えます。						
授業目的・到達目標	世論あるいは政治意識の形成におけるメディアの役割/機能について考察しましょう。世界的またグローバルな視点から、メディアの役割/機能について調査・分析できる能力を磨いて行きましょう。						
履修条件	新聞・雑誌、広報・広告、情報通信ビジネス等、メディアにかかわる問題を探求したい諸君を歓迎します。						
授業方法	世界的またグローバルな視点から、その時々において興味深いと考えらるトピックを取り上げ、ネット、新聞、テレビ等の多様なメディアを介して流通する情報を比較検証しながら進めて行きます。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験	0%					
	平常評価	100%	授業への寄与度と参加度を各々30%、計60%とします。また、講義中での、集中力、学習力、洞察力、ならびに発想力を各10%配分により、計40%との評価点とします。				
教科書	年	出版社	書名	著者名			
	2017	慶應義塾大学出版	批判する/批判されるジャーナリズム	大石裕			
	備考	教科書、参考書も掲示していますが、必要性や時宜に応じ、勉学に必要な資料、教材等は授業時間中に配布します。					
参考書	文化の国際流通と市民意識 : 伊藤陽一編、慶應義塾大学出版会						
オフィスアワー	授業時間内、およびその前後の時間も含め、活発な質疑応答を歓迎します。また、メールでの質問、相談等は ito.eiichil1@nihon-u.ac.jp にお寄せください。						

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	皆さんに自己紹介をしていただきますので、心積もりをお願いします。
	授業内容	ガイダンス&オリエンテーション
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
2	事前学習	その時々トピックに関心をもち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	新聞・雑誌から観察するメディア①
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
3	事前学習	その時々トピックに関心をもち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	広報・広告を通じて観察したメディア②
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
4	事前学習	その時々トピックに関心をもち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	ネットの世界から窺うメディア③
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。

5	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	コミュニケーションの自由と表現の自由①
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
6	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	コミュニケーションの自由と表現の自由②
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
7	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	コミュニケーションの自由と表現の自由③
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
8	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	記憶の義務と忘却の義務①
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
9	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	記憶の義務と忘却の義務②
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
10	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	記憶の義務と忘却の義務③
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
11	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	記憶の芸術とは①
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
12	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	記憶の芸術とは②
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
13	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	記憶の芸術とは③
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
14	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	メディアの技術的可能性と伝えるビジネス①
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
15	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	メディアの技術的可能性と伝えるビジネス②
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
16	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	メディアの技術的可能性と社会的制約①
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。

17	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	メディアの技術的可能性と社会的制約②
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
18	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	世論・政治意識とネットワークの中立性①
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
19	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	世論・政治意識とネットワークの中立性②
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
20	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	世論・政治意識とネットワークの中立性③
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
21	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	世論・政治意識とネットワークの中立性④
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
22	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	公共放送BBCと市民意識①
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
23	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	公共放送BBCと市民意識②
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
24	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	公共放送BBCと市民意識③
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
25	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	フランスのメディアと市民意識①
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
26	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	フランスのメディアと市民意識②
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
27	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	フランスのメディアと市民意識③
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
28	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	世論・政治意識と未来のメディア①
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。

29	事前学習	その時々トピックに関心を持ち、授業中への質疑応答に役立てて下さい。
	授業内容	世論・政治意識と未来のメディア②
	事後学習	興味を持たれる資料を、その都度配布しますので、問題点や疑問点を抽出して下さい。
30	事前学習	一年間の時事の変遷を振り返り、未来へのインパクトを考察して下さい。
	授業内容	世論・政治意識と未来のメディア③
	事後学習	一年間を通じての学習成果を、今後に生かして下さい。

科目名	メディア社会論特殊講義	担当者	佐幸 信介	期間	通年	単位数	4
-----	-------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	メディアと社会あるいはコミュニティとの関連について、テキスト・クリティークを中心に行う。前期は、現在のメディア状況を中心テーマにし、後期は移動と空間をテーマにする。						
授業目的・到達目標	メディアやコミュニケーション環境の変容を、社会学や思想史的の原理的な論点と往還しながら議論を進める。テキスト・クリティークから、社会的想像力へステップできること、具体的には研究上の問題設定を行うことができることが目標。						
履修条件	テキストを読み、レジュメを作成し、議論を行うため、毎回の出席が必須						
授業方法	テキスト・クリティークと講義・ディスカッション形式を基本とする						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験	0%					
	平常評価	100%	レジュメ、議論、授業参加度をとおして総合的に評価する				
教科書	年	出版社	書名	著者名			
	2017	青土社	情動の社会学	伊藤守			
	2016	Polity Press	What is the Future?	Urry, John			
	備考						
参考書	伊藤守、毛利嘉孝編『アフター・テレビジョン・スタディーズ』せりか書房 その他、講義で適宜紹介する						
オフィスアワー	水曜3限（13：00～14：30）						

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	シラバスを確認すること
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	テキストの概要を確認すること
2	事前学習	序章を読んでくること
	授業内容	情動概念をめぐって
	事後学習	情動概念について、他の文献も探索しておくこと
3	事前学習	言論空間について、レジュメを作成すること
	授業内容	言論空間とデジタルメディア
	事後学習	講義の議論の内容を確認すること
4	事前学習	前回の議論の内容を確認すること、前回の授業で課した課題を準備すること レジュメの作成（第1章）
	授業内容	言論空間と情報社会
	事後学習	講義の議論の内容を確認すること

5	事前学習	ホワイト・ヘッドについて調べてくること レジュメの作成（第2章）
	授業内容	ホワイトヘッドと情動
	事後学習	講義の議論の内容を確認すること
6	事前学習	テキスト該当箇所（第3章）のレジュメ作成
	授業内容	情動と知的感受
	事後学習	講義の議論の内容を確認すること
7	事前学習	レジュメの作成（第4章）
	授業内容	情動と社会秩序
	事後学習	講義の議論の内容を確認すること
8	事前学習	レジュメの作成（第5章）
	授業内容	情動の政治
	事後学習	講義の議論の内容を確認すること
9	事前学習	レジュメの作成（第6章）
	授業内容	メディア空間の拡張と縮減
	事後学習	講義の議論の内容を確認すること
10	事前学習	レジュメの作成（第7章）
	授業内容	ポストメディア時代のコミュニケーション
	事後学習	講義の議論の内容を確認すること
11	事前学習	レジュメの作成（第8章）
	授業内容	オーディエンス概念の変容
	事後学習	講義の議論の内容を確認すること
12	事前学習	レジュメの作成（第9章）
	授業内容	ポストメディア時代の行方
	事後学習	講義の議論の内容を確認すること
13	事前学習	前回の講義で提示した課題＝文献収集を準備してくること
	授業内容	収集した文献の整理と先行研究のマッピング
	事後学習	講義の議論の内容を確認すること
14	事前学習	前回の講義で提示した課題＝文献収集を準備してくること
	授業内容	これまでのテキストをめぐる内容をふまえ、収集したデータに関する議論
	事後学習	講義の議論の内容を確認すること
15	事前学習	これまでの議論を各自整理してくること
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	テキストについて、各自書評型論文を作成する
16	事前学習	前期の課題の書評型論文を準備する
	授業内容	後期ガイダンス：講義計画
	事後学習	講義計画を確認する

17	事前学習	introductionのレジユメの作成
	授業内容	テキスト「introduction」をめぐる議論
	事後学習	講義の議論の内容を確認すること
18	事前学習	2章 Past Futureのレジユメの作成
	授業内容	テキスト「2章 Past Future」をめぐる議論
	事後学習	講義の議論の内容を確認すること
19	事前学習	3章 New Catastrophic Futuresのレジユメ作成
	授業内容	テキスト「3章 New Catastrophic Futures」をめぐる議論
	事後学習	講義の議論の内容を確認すること
20	事前学習	4章 Time and Complex Systemのレジユメの作成
	授業内容	テキスト「4章 Time and Complex System」をめぐる議論①
	事後学習	講義の議論の内容を確認すること
21	事前学習	4章 Time and Complex Systemのレジユメの作成
	授業内容	テキスト「4章 Time and Complex System」をめぐる議論②
	事後学習	講義の議論の内容を確認すること
22	事前学習	5章 Innovating Futureのレジユメの作成
	授業内容	テキスト「5章 Innovating Future」をめぐる議論①
	事後学習	講義の議論の内容を確認すること
23	事前学習	5章 Innovating Futureのレジユメの作成
	授業内容	テキスト「5章 Innovating Future」をめぐる議論②
	事後学習	講義の議論の内容を確認すること
24	事前学習	6章 Methods for Making Futuresのレジユメ作成
	授業内容	テキスト「6章 Methods for Making Futures」をめぐる議論①
	事後学習	講義の議論の内容を確認すること
25	事前学習	6章 Methods for Making Futuresのレジユメ作成
	授業内容	テキスト「6章 Methods for Making Futures」をめぐる議論②
	事後学習	講義の議論の内容を確認すること
26	事前学習	7章 Manufcturing Future Worldsのレジユメの作成
	授業内容	テキスト「7章 Manufcturing Future Worlds」をめぐる議論①
	事後学習	講義の議論の内容を確認すること
27	事前学習	7章 Manufcturing Future Worldsのレジユメの作成
	授業内容	テキスト「7章 Manufcturing Future Worlds」をめぐる議論②
	事後学習	講義の議論の内容を確認すること
28	事前学習	8章 City on the Moveのレジユメの作成
	授業内容	テキスト「8章 City on the Move」をめぐる議論①
	事後学習	講義の議論の内容を確認すること

29	事前学習	8章 City on the Moveのレジユメの作成
	授業内容	テキスト「8章 City on the Move」をめぐる議論②
	事後学習	講義の議論の内容を確認すること
30	事前学習	これまでの議論を整理すること
	授業内容	後期まとめ
	事後学習	後期のテキストと議論をまとめなおすこと

科目名	メディア倫理特殊講義	担当者	塚本 晴二郎	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	--------	----	----	-----	---

授業概要	本講義では、メディア倫理学の先進国であるアメリカの研究、中でもクリフォード・クリスチャンズのメディア倫理学を参考にしながら、日本におけるメディア倫理学を模索しようとするものである。			
授業目的・到達目標	メディアの倫理は、いまや言葉としては珍しいものではない。しかし、学問として体系的な「メディア倫理学」が確立しているかといえば、そこまでは至っていない。日本におけるメディア倫理学の模索と一緒に議論できるようになるのを目標とする。			
履修条件	大学院の講義である以上、学部レベルの基礎知識があることは大前提である。			
授業方法	輪読・発表・講義等を組み合わせて進めていく。受講生の関心等に応じて、講義内容も柔軟に対応していく。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	準備学習の程度50%、授業時に行う議論の内容等50%。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2010	南窓社	ジャーナリズム倫理学試論	
	備考			
参考書	受講者の関心に応じて、柔軟に対応していくので、適宜に指示する。			
オフィスアワー	原則的に月曜日の昼休みだが、柔軟に対応したいので、必ずメールにて予約を取って欲しい。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスを熟読する
	授業内容	ガイダンス 講義概要 テキスト等の相談
	事後学習	ガイダンス内容を確実に把握する
2	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	アメリカ・ジャーナリズム倫理学の史的考察① アメリカ・ジャーナリズム倫理学の萌芽 ジャーナリストが専門職となる過程を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
3	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	アメリカ・ジャーナリズム倫理学の史的考察② アメリカ・ジャーナリズム倫理学の展開 「一陣の疾風」を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
4	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	プレスの自由委員会と社会的責任論 社会的責任論の登場背景 プレスの自由委員会の設立背景を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。

5	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	社会的責任論の普及 『マスコミの自由に関する四理論』との関係 社会的責任論が定着する過程を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
6	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	社会的責任論とジャーナリズム倫理学① ジョン・メリルの批判 倫理的欠陥を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
7	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	社会的責任論とジャーナリズム倫理学② 新世界情報コミュニケーション秩序との関係 普遍性追求の発端を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
8	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	規範倫理学としてのジャーナリズム倫理学① リバタリアン・アプローチ ジョン・メリルを中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
9	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	規範倫理学としてのジャーナリズム倫理学② リベラル・アプローチ エドモンド・ランベスを中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
10	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	規範倫理学としてのジャーナリズム倫理学③ コミュニタリアン・アプローチ クリフォード・クリスチャンズを中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
11	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズム倫理学の原理① ジョン・メリル TUFFの定則を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
12	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズム倫理学の原理② エドモンド・ランベス 5原理を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
13	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズム倫理学の原理③ クリフォード・クリスチャンズ 原初的規範と基本的原理
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
14	事前学習	これまでの講義を復習しておく
	授業内容	ジャーナリズム倫理学と自律 なぜジャーナリズムに倫理学が必要か ブレント・ミンク形式で
	事後学習	自身の発言を反省する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
15	事前学習	これまでの疑問点を整理しておく。
	授業内容	中間まとめ 講義概観 質疑応答
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。

16	事前学習	クリフォード・クリスチャンズの原初的規範と基本的原理を復習しておく。
	授業内容	クリスチャンズのメディア倫理学① 基本的視座① 相対主義批判を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
17	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	クリスチャンズのメディア倫理学② 基本的視座② 道具主義批判を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
18	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	クリスチャンズのメディア倫理学③ 基本的視座③ 功利主義批判を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
19	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	クリスチャンズのメディア倫理学④ 教育方法論① Definitionを中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
20	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	クリスチャンズのメディア倫理学⑤ 教育方法論② Valuesを中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
21	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	クリスチャンズのメディア倫理学⑥ 教育方法論③ Principlesを中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
22	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	クリスチャンズのメディア倫理学⑦ 教育方法論④ Loyaltiesを中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
23	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリストの行為規範① ジャーナリストは何を伝えるのか 「真実」を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
24	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリストの行為規範② ジャーナリストは何かが必要か 「信頼」を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
25	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリストの行為規範③ ジャーナリストはどのような存在か 「受託者」を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
26	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリストの行為規範④ ジャーナリストは何をするのか 「アクセス」を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。

27	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリストの行為規範⑤ ジャーナリストの視座とは何か 「多角的視点」を中心に
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
28	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	総括 講義概観 課題検討（次回発表に向けて）
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
29	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	課題発表 ジャーナリズム倫理学の今日的問題① 各自の問題意識に基づく発表
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
30	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズム倫理学の今日的問題② 前回発表をふまえたブレーストミグ 講評
	事後学習	全講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず質問して解決する。

科目名	メディア法制特殊講義	担当者	小向 太郎	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	コンピュータとインターネットの急速な普及によって伝達される情報はことごとくデジタル化され、デジタル・ネットワークは、メディアを支えるだけでなくメディアそのものと位置付けられるようになってきている。その一方で、以前にはあまり見られなかった問題も深刻になっている。この講義では、情報のデジタル化やネットワーク化に起因する法制度上の問題に関して、それが生じる背景、対応・議論の動向を取り上げる。			
授業目的・到達目標	この講義では、情報と法についての基本的な知識と問題点に関する知識を身につけ、情報のデジタル化やネットワーク化に起因する問題について主要な法制度上の論点や課題を理解し、これらの論点や具体的な事例について、自分なりの視点から論じることができるようになることを目的とする。			
履修条件	特になし。			
授業方法	まず、情報法・メディア法の基本的事項や最近のトピックに関する講義を行い、それをもとに議論を行う。その後、裁判例や問題事例について受講者が分担して報告し、その報告について全員で議論する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	授業への参加、提出レポート、報告の内容によって評価する	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年	NTT出版	情報法入門（第4版）デジタル・ネットワークの法律	小向太郎
	備考			
参考書	授業内に適宜指示する			
オフィスアワー	電子メールによる質問を随時受け付ける			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスの内容をよく読み、教科書を入手して「はじめに」と各章冒頭にある導入説明（各1ページ）を読む。
	授業内容	ガイダンス（全体テーマおよび進め方の説明）
	事後学習	講義ノートを確認して、自分の学習計画と他の履修科目との関係について検討する。
2	事前学習	教科書の「1-1-1 情報法とデジタル・ネットワーク」「1-1-2 デジタル情報の特徴」を読み、デジタル情報の特徴について考察する。
	授業内容	デジタル化の特徴と法制度への影響
	事後学習	講義ノートを確認して、テーマと論点について、自分なりの説明をまとめる。
3	事前学習	教科書の「1-1-3 インターネットの特徴」「1-1-4 インターネットと匿名性」を読み、そこに含まれる論点について考察する。
	授業内容	ネットワーク化の特徴と法制度への影響
	事後学習	講義ノートを確認して、テーマと論点について、自分なりの説明をまとめる。
4	事前学習	教科書の「1-2-2 表現の自由とインターネット規制」を読み、そこに含まれる論点について考察する。
	授業内容	表現の自由とインターネット規制
	事後学習	講義ノートを確認して、テーマと論点について、自分なりの説明をまとめる。

5	事前学習	教科書の「1-2-3 通信の秘密」を読み、そこに含まれる論点について考察する。
	授業内容	通信の秘密
	事後学習	講義ノートを確認して、テーマと論点について、自分なりの説明をまとめる。
6	事前学習	教科書の「1-2-4 国境を超える情報」を読み、そこに含まれる論点について考察する。
	授業内容	国境を超える情報
	事後学習	講義ノートを確認して、テーマと論点について、自分なりの説明をまとめる。
7	事前学習	教科書の「1-3 情報化関連政策」を読み、そこに含まれる論点について考察する。
	授業内容	情報化関連政策
	事後学習	講義ノートを確認して、テーマと論点について、自分なりの説明をまとめる。
8	事前学習	教科書の「2-1-1 電気通信事業」を読み、そこに含まれる論点について考察する。
	授業内容	電気通信事業
	事後学習	講義ノートを確認して、テーマと論点について、自分なりの説明をまとめる。
9	事前学習	教科書の「2-1-2 放送事業」「2-1-3 通信と放送の融合」を読み、そこに含まれる論点について考察する。
	授業内容	放送事業
	事後学習	講義ノートを確認して、テーマと論点について、自分なりの説明をまとめる。
10	事前学習	教科書の「2-2 ネットワーク上の媒介者」を読み、そこに含まれる論点について考察する。
	授業内容	ネットワーク上の媒介者
	事後学習	講義ノートを確認して、テーマと論点について、自分なりの説明をまとめる。
11	事前学習	「国境を超える情報と法的規制」の事例研究について、報告者は報告準備を、その他の受講者はディスカッションのための考察を行う。
	授業内容	【事例研究】国境を超える情報と法的規制
	事後学習	ディスカッションに関するノートを確認して、テーマと論点について、自分なりに総括する。
12	事前学習	「忘れられる権利」の事例研究について、報告者は報告準備を、その他の受講者はディスカッションのための考察を行う。
	授業内容	【事例研究】忘れられる権利
	事後学習	ディスカッションに関するノートを確認して、テーマと論点について、自分なりに総括する。
13	事前学習	「通信の秘密とセキュリティ」の事例研究について、報告者は報告準備を、その他の受講者はディスカッションのための考察を行う。
	授業内容	【事例研究】通信の秘密とセキュリティ
	事後学習	ディスカッションに関するノートを確認して、テーマと論点について、自分なりに総括する。
14	事前学習	「名誉毀損と媒介者責任」の事例研究について、報告者は報告準備を、その他の受講者はディスカッションのための考察を行う。
	授業内容	【事例研究】名誉毀損と媒介者責任
	事後学習	ディスカッションに関するノートを確認して、テーマと論点について、自分なりに総括する。
15	事前学習	「プログラム開発者の責任」の事例研究について、報告者は報告準備を、その他の受講者はディスカッションのための考察を行う。
	授業内容	【事例研究】プログラム開発者の責任
	事後学習	ディスカッションに関するノートを確認して、テーマと論点について、自分なりに総括する。
16	事前学習	教科書の「2-3 プラットフォーム事業者」を読み、そこに含まれる論点について考察する。
	授業内容	プラットフォーム事業者
	事後学習	講義ノートを確認して、テーマと論点について、自分なりの説明をまとめる。

17	事前学習	教科書の「3-1-1 情報取得と法的責任」を読み、そこに含まれる論点について考察する。
	授業内容	情報取得と法的責任
	事後学習	講義ノートを確認して、テーマと論点について、自分なりの説明をまとめる。
18	事前学習	教科書の「3-1-2 情報保有と法的責任」「3-1-3 情報漏えい等に関する係争例」を読み、そこに含まれる論点について考察する。
	授業内容	情報保有と法的責任
	事後学習	講義ノートを確認して、テーマと論点について、自分なりの説明をまとめる。
19	事前学習	教科書の「3-1-4 情報発信と法的責任」を読み、そこに含まれる論点について考察する。
	授業内容	情報発信と法的責任
	事後学習	講義ノートを確認して、テーマと論点について、自分なりの説明をまとめる。
20	事前学習	教科書の「3-2 サイバー犯罪と青少年保護」を読み、そこに含まれる論点について考察する。
	授業内容	サイバー犯罪と青少年保護
	事後学習	講義ノートを確認して、テーマと論点について、自分なりの説明をまとめる。
21	事前学習	教科書の「3-3-1 情報化と知的財産制度」「3-3-2 著作権制度の概要」を読み、そこに含まれる論点について考察する。
	授業内容	情報化と知的財産制度
	事後学習	講義ノートを確認して、テーマと論点について、自分なりの説明をまとめる。
22	事前学習	教科書の「3-3-3 デジタル・ネットワークと著作権」を読み、そこに含まれる論点について考察する。
	授業内容	デジタル・ネットワークと著作権
	事後学習	講義ノートを確認して、テーマと論点について、自分なりの説明をまとめる。
23	事前学習	教科書の「3-4-1 プライバシーと個人情報保護」を読み、そこに含まれる論点について考察する。
	授業内容	プライバシーと個人情報保護
	事後学習	講義ノートを確認して、テーマと論点について、自分なりの説明をまとめる。
24	事前学習	教科書の「3-4-2 個人情報保護法」を読み、そこに含まれる論点について考察する。
	授業内容	個人情報保護法
	事後学習	講義ノートを確認して、テーマと論点について、自分なりの説明をまとめる。
25	事前学習	教科書の「3-4-3 行政機関と個人情報保護」を読み、そこに含まれる論点について考察する。
	授業内容	行政機関と個人情報保護
	事後学習	講義ノートを確認して、テーマと論点について、自分なりの説明をまとめる。
26	事前学習	教科書の「3-4-4 諸外国の個人情報保護制度」「3-4-5 今後の課題」を読み、そこに含まれる論点について考察する。
	授業内容	諸外国の個人情報保護制度と今後の課題
	事後学習	講義ノートを確認して、テーマと論点について、自分なりの説明をまとめる。
27	事前学習	「個人情報漏洩」の事例研究について、報告者は報告準備を、その他の受講者はディスカッションのための考察を行う。
	授業内容	【事例研究】個人情報漏洩
	事後学習	ディスカッションに関するノートを確認して、テーマと論点について、自分なりに総括する。
28	事前学習	「プライバシー侵害」の事例研究について、報告者は報告準備を、その他の受講者はディスカッションのための考察を行う。
	授業内容	【事例研究】プライバシー侵害
	事後学習	ディスカッションに関するノートを確認して、テーマと論点について、自分なりに総括する。

29	事前学習	「デジタルコンテンツと著作権侵害」の事例研究について、報告者は報告準備を、その他の受講者はディスカッションのための考察を行う。
	授業内容	【事例研究】デジタルコンテンツと著作権侵害
	事後学習	ディスカッションに関するノートを確認して、テーマと論点について、自分なりに総括する。
30	事前学習	「住基ネット・マイナンバーとプライバシー」の事例研究について、報告者は報告準備を、その他の受講者はディスカッションのための考察を行う。
	授業内容	【事例研究】住基ネット・マイナンバーとプライバシー
	事後学習	ディスカッションに関するノートを確認して、テーマと論点について、自分なりに総括する。

科目名	ジャーナリズム史(日本)特殊講義	担当者	石川 徳幸	期間	通年	単位数	4
-----	------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	メディアを批判的に読み解くためには、その歴史を具体的に知ることが重要である。本講義では、日本のジャーナリズムの歴史の中から、その社会的意義について考察する。現代日本では「言論の自由」が保障されているが、「言論の自由」の獲得をめぐるのは、先人の努力の歴史が存在する。本講義では、近代日本の政治史と新聞史をベースにして、幕末維新から昭和前期に活躍してきた優れたジャーナリストたちの軌跡を辿り、日本のジャーナリズムを再考する。			
授業目的・到達目標	<授業目的> ・近代日本において重要な役割を果たしたジャーナリストの活動を知る。 ・日本の近代化の過程におけるジャーナリズムの役割について考える。 <到達目標> ・日本におけるジャーナリズムの歴史的過程について、系統立てて説明することができるようになる。 ・歴史的出来事におけるジャーナリズムの役割について、具体例をあげて説明することができるようになる。			
履修条件	特になし。			
授業方法	課題図書の内容の輪読とディスカッション。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	毎回のレジュメと発表(60%)、レポート(40%) 講義総数の3分の1以上の欠席がある者は評価対象にならないため注意すること。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年	ミネルヴァ書房	近代日本メディア人物誌 ジャーナリスト編	土屋礼子ほか編
	備考	同じ書名で「創始者・経営者編」も存在するので、購入する際に間違わないように気をつけること。		
参考書	黒川貢三郎・石川徳幸『日本のジャーナリズム』櫻門書房 黒川貢三郎・瀧川修吾『近代日本政治史Ⅰ・Ⅱ』南窓社			
オフィスアワー	授業実施期間中の金曜11:00~12:00。アポイント無しでも構わないが、会議などの校務で研究室にいない場合もあるため、メールなどで事前に予約を入れることをお勧めする。また、同時刻に複数の訪問者が重なった場合は、予約を入れた者を優先する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	シラバスをよく読んでから参加すること。
	授業内容	ガイダンス メディア史およびジャーナリズム史の射程
	事後学習	シラバスとガイダンスの内容をよく理解し、指導教授と相談の上、履修登録を行うこと。
2	事前学習	テキスト第Ⅰ部第1章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅰ部第1章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。
3	事前学習	テキスト第Ⅰ部第2章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅰ部第2章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。
4	事前学習	テキスト第Ⅰ部第3章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅰ部第3章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。

5	事前学習	テキスト第Ⅰ部第4章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅰ部第4章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。
6	事前学習	テキスト第Ⅰ部第5章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅰ部第5章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。
7	事前学習	テキスト第Ⅰ部第6章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅰ部第6章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。
8	事前学習	テキスト第Ⅰ部第7章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅰ部第7章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。
9	事前学習	テキスト第Ⅰ部第8章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅰ部第8章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。
10	事前学習	テキスト第Ⅱ部第1章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅱ部第1章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。
11	事前学習	テキスト第Ⅱ部第2章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅱ部第2章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。
12	事前学習	テキスト第Ⅱ部第3章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅱ部第3章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。
13	事前学習	テキスト第Ⅱ部第4章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅱ部第4章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。
14	事前学習	テキスト第Ⅱ部第5章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅱ部第5章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。
15	事前学習	テキスト第Ⅱ部第6章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅱ部第6章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。
16	事前学習	テキスト第Ⅱ部第7章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅱ部第7章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。

17	事前学習	テキスト第Ⅲ部第1章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅲ部第1章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。
18	事前学習	テキスト第Ⅲ部第2章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅲ部第2章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。
19	事前学習	テキスト第Ⅲ部第3章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅲ部第3章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。
20	事前学習	テキスト第Ⅲ部第4章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅲ部第4章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。
21	事前学習	テキスト第Ⅲ部第5章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅲ部第5章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。
22	事前学習	テキスト第Ⅲ部第6章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅲ部第6章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。
23	事前学習	テキスト第Ⅲ部第7章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅲ部第7章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。
24	事前学習	テキスト第Ⅲ部第8章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅲ部第8章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。
25	事前学習	テキスト第Ⅲ部第9章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅲ部第9章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。
26	事前学習	テキスト第Ⅳ部第1章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅳ部第1章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。
27	事前学習	テキスト第Ⅳ部第2章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅳ部第2章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。
28	事前学習	テキスト第Ⅳ部第3章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第Ⅳ部第3章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。

29	事前学習	テキスト第IV部第4章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第IV部第4章 輪読発表とディスカッション
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。
30	事前学習	テキスト第IV部第5章 レジュメ作成
	授業内容	テキスト第IV部第5章 輪読発表とディスカッション 総括
	事後学習	講義やディスカッションを通じて得られた知識をノート等に整理しておくこと。

科目名	ジャーナリズム史(外国)特殊講義	担当者	別府 三奈子	期間	通年	単位数	4
-----	------------------	-----	--------	----	----	-----	---

授業概要	ジャーナリズムとは何かについて、歴史学的アプローチから理解を促す。ジャーナリズムの根本をなす理念・思想の形成過程と、現実社会における歩みについて、時系列で事例を俯瞰する。			
授業目的・到達目標	ジャーナリズムの社会的機能と、民主主義社会におけるジャーナリズムのグローバル・スタンダードとしてのプロフェッション論の意義を学ぶ。主な事例として、戦争ジャーナリズムの写真表現を取り上げる。具体的には、フォト・ジャーナリズムのさまざまな受賞作品やジャーナリズムと似て非なるさまざまな写真表現に触れ、比較考察を重ねる。ジャーナリズム・プロフェッションの立場から、ジャーナリズムの送手手の作法について学ぶ。写真を事例として扱うことから、その写真が、ジャーナリズムなのか、そうではないのか、それはなぜかが分かるようになる。			
履修条件	ジャーナリズムの実践について、専門的に学ぶ意志が明確であること。社会問題の改善と現代史に関心が深いこと。知識が不足している場合には、自習にて積極的に補う努力をすること。			
授業方法	扱う事例ごとに、ジャーナリズムの通史におけるその事例の意味について概説し、理解すべきテーマを提示し、履修者と討議する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	毎回のレジュメ準備と発表内容、討論の深まりから総合評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2013年	早稲田大学出版会	レクチャー 現代ジャーナリズム	早稲田大学ジャーナリス教育研究所
	備考			
参考書	「ピュリツァー賞 受賞写真全記録」ハル・ビュエル著、日経ナショナルジオグラフィック社、2011年他			
オフィスアワー	授業内容に関しては、授業中、あるいは、授業後に直接教壇で声をかけてください。その際、さらに時間が必要と判断すれば面談時間を設定します。授業以外のことについては、メールにてアポの事前問い合わせをしてください。			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	日々ニュースに触れる。
	授業内容	オリエンテーション、アンケート
	事後学習	指定テキストの購入、概要の把握
2	事前学習	テキストの予習
	授業内容	20世紀フォト・ジャーナリズムの解題
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習
3	事前学習	テキストの予習
	授業内容	写真技術のあゆみ
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習
4	事前学習	テキストの予習
	授業内容	19世紀・写真の誕生（欧州）
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習

5	事前学習	テキストの予習
	授業内容	19世紀・写真が記録する戦争（米国）
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習
6	事前学習	テキストの予習
	授業内容	19世紀・写真文化の黎明（中国）
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習、写真が社会にもたらした影響に関するレポート作成
7	事前学習	テキストの予習
	授業内容	社会改良主義とジャーナリズム（1）
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習
8	事前学習	テキストの予習
	授業内容	社会改良主義とジャーナリズム（2）
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習
9	事前学習	テキストの予習
	授業内容	社会改良主義とジャーナリズム（3）
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習
10	事前学習	テキストの予習
	授業内容	社会改良主義とジョゼフ・ピュリツァー
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習
11	事前学習	テキストの予習
	授業内容	センセーショナリズムと写真
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習
12	事前学習	テキストの予習
	授業内容	市民革命と写真（1）
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習
13	事前学習	テキストの予習
	授業内容	市民革命と写真（2）
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習、19世紀の新聞メディアの特徴に関するレポート作成
14	事前学習	テキストの予習
	授業内容	第一次世界大戦とマスメディア
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習
15	事前学習	テキストの予習
	授業内容	ジャーナリズム・プロフェッション論
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習
16	事前学習	テキストの予習
	授業内容	ピュリツァー賞にみる写真表現の意義
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習

17	事前学習	テキストの予習
	授業内容	第一次世界大戦、ジャーナリズムと広報
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習
18	事前学習	テキストの予習
	授業内容	第二次世界大戦：ジャーナリズムとプロパガンダ
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習、戦時プロパガンダの特徴に関するレポート作成
19	事前学習	テキストの予習
	授業内容	朝鮮戦争とフォト・ジャーナリズム
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習
20	事前学習	テキストの予習
	授業内容	『LIFE』とフォト・ジャーナリズム
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習
21	事前学習	テキストの予習
	授業内容	原爆と写真
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習
22	事前学習	テキストの予習
	授業内容	日本の報道写真
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習、第2次世界大戦と日本のメディアに関するレポート作成
23	事前学習	テキストの予習
	授業内容	ベトナム戦争：冷戦下のジャーナリズム
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習
24	事前学習	テキストの予習
	授業内容	反戦運動と公民権運動とジャーナリズム
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習
25	事前学習	テキストの予習
	授業内容	フォト・ジャーナリズムの立ち位置
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習
26	事前学習	テキストの予習
	授業内容	フォト・ジャーナリズムと編集者の役割
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習
27	事前学習	テキストの予習
	授業内容	イラク戦争とフォト・ジャーナリスト
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習
28	事前学習	テキストの予習
	授業内容	イラク戦争と映像・ジャーナリスト
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習、欧米型ジャーナリズムの特徴に関するレポート作成

29	事前学習	テキストの予習
	授業内容	欧米型、日本型、中国型の特徴
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習
30	事前学習	テキストの予習、ジャーナリズム・プロフェッション論に関する専門知の復習
	授業内容	ジャーナリズム・プロフェッション論を熟考する
	事後学習	授業内で解説された事例と用語の補習

科目名	リスクコミュニケーション論特殊講義	担当者	福田 充	期間	通年	単位数	4
-----	-------------------	-----	------	----	----	-----	---

授業概要	現代社会はあらゆる事象がリスク化したリスク社会である。戦争、テロ、自然災害、原発事故のような危機事態に際して、メディアにはどのような役割や効果があるか、政府や自治体などの広報活動はいかにあるべきか、コミュニケーションの観点から考察する。現代社会におけるリスクに関する諸問題について理解し、研究のための計画を立てる。			
授業目的・到達目標	現代社会におけるリスクを理解し、それぞれのリスクの具体的な諸問題を分析し、その研究を行うための計画を立てることができるようになること。			
履修条件	特になし。			
授業方法	リスクに関する具体的な事例や理論を講義し、コンピュータやビデオを使用しながら、同時に出席者との活発な議論を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	50%：前期末に1回、後期末に1回、レポート試験を実施する。 50%：授業への参加度を重視する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2010	北樹出版	『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』	福田充
	2010	慶應義塾大学出版会	『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』	福田充
	2012	北樹出版	『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』	福田充編
	備考			
参考書	福田充編(2012)『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』北樹出版。福田充(2009)『メディアとテロリズム』新潮新書。講義の参考図書やレポート課題として使用する。			
オフィスアワー	水曜日1限。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	指定教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前学習。
	授業内容	リスクコミュニケーションとは何か
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。
2	事前学習	指定教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前学習。
	授業内容	リスク社会学の誕生
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。
3	事前学習	指定教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前学習。
	授業内容	グローバル・リスク時代（金融・環境・テロ）
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。
4	事前学習	指定教科書『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』の事前学習。
	授業内容	テロリズムの時代とメディア①： 事例分析(911やオウム真理教地下鉄サリン事件など)
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。

5	事前学習	指定教科書『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』の事前学習。
	授業内容	テロリズムの時代とメディア②： 社会的影響
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。
6	事前学習	指定教科書『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』の事前学習。
	授業内容	テロリズムの時代とメディア③： 欧米の制度
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。
7	事前学習	指定教科書『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』の事前学習。
	授業内容	戦争とメディア①： 第2次世界大戦
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。
8	事前学習	指定教科書『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』の事前学習。
	授業内容	戦争とメディア②： ベトナム戦争
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。
9	事前学習	指定教科書『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』の事前学習。
	授業内容	戦争とメディア③： 湾岸戦争
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。
10	事前学習	指定教科書『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』の事前学習。
	授業内容	戦争とメディア④： イラク戦争
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。
11	事前学習	指定教科書『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』の事前学習。
	授業内容	インテリジェンス活動と情報機関
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。
12	事前学習	指定教科書『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』の事前学習。
	授業内容	メディア技術と監視社会論
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。
13	事前学習	指定教科書『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』の事前学習。
	授業内容	安全・安心 vs 自由・人権の価値対立とメディア
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。
14	事前学習	指定教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前学習。
	授業内容	クライシス・リテラシー
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。
15	事前学習	指定教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前学習。
	授業内容	議論の総括
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。
16	事前学習	指定教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前学習。
	授業内容	危機事態における広報： 危機管理とメディア
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。

17	事前学習	指定教科書『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』の事前学習。
	授業内容	自然災害とメディア①： 東日本大震災の事例分析
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。
18	事前学習	指定教科書『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』の事前学習。
	授業内容	自然災害とメディア②： 警報と避難行動
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。
19	事前学習	指定教科書『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』の事前学習。
	授業内容	自然災害とメディア③： 被害情報と災害報道
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。
20	事前学習	指定教科書『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』の事前学習。
	授業内容	自然災害とメディア④： 被災者の情報ニーズ
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。
21	事前学習	指定教科書『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』の事前学習。
	授業内容	大規模事故とメディア①： 福島第一原発事故の事例分析
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。
22	事前学習	指定教科書『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』の事前学習。
	授業内容	大規模事故とメディア②： ライフライン事故
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。
23	事前学習	指定教科書『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』の事前学習。
	授業内容	環境問題とメディア
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。
24	事前学習	指定教科書『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』の事前学習。
	授業内容	新型ウィルスとパンデミック
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。
25	事前学習	指定教科書『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』の事前学習。
	授業内容	食品の安全・安心： 風評被害の社会心理
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。
26	事前学習	指定教科書『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』の事前学習。
	授業内容	リスク消費社会の誕生： リスクの社会認知と世論
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。
27	事前学習	指定教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前学習。
	授業内容	企業・組織の危機管理とリスクコミュニケーション
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。
28	事前学習	指定教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前学習。
	授業内容	リスクコミュニケーションの社会教育
	事後学習	研究ノートとレジュメ作成。

29	事前学習	指定教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前学習。
	授業内容	メディア活動の危機管理
	事後学習	研究ノートとレジюме作成。
30	事前学習	指定教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前学習。
	授業内容	議論の総括
	事後学習	研究ノートとレジюме作成。

科目名	比較ジャーナリズム論特殊講義	担当者	小林 聡明	期間	通年	単位数	4
-----	----------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	本授業では、冷戦期東アジアにおいて、アメリカは、どのようにラジオや映画、テレビなどのメディアを用いて、心理戦を行ったのかについて学ぶものである。ここでいう心理戦とは、プロパガンダのみならず、人物・文化交流や広告・宣伝活動など広報文化外交（Public Diplomacy/公共外交）と呼ばれる対外情報活動・政策を含む概念として設定している。			
授業目的・到達目標	昨今、国際社会では、いかにメディアを駆使して、対象国の人々の心と精神を勝ち取ることができるのかに関する議論が活発に展開されている。それは、広報文化外交とよばれ、外交実務家だけでなく、メディア研究のみならず、政治学、国際関係論、歴史学などの幅広い分野における重要な研究対象となっている。本授業は、広報文化外交を含む心理戦について包括的にとらえ、その歴史的展開とメディアの役割について、東アジア諸国の事例を通じて学ことで、東アジアの国際政治とメディアの関係性について歴史的な文脈から理解しようとするものである。			
履修条件	国際政治や海外メディア事情などに関心をもつ学生を、特に歓迎する。			
授業方法	前期は、英語や中国語を含む文献の輪読を通じて知識や分析手法を身につける。後期は、各受講者が、教員提供の英語や中国語などの史料を用いて、アメリカによる対中国・日本の心理戦実態を解明する課題発表を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	課題発表：50% 課題レポート：50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	なし		
参考書	授業内で適宜、紹介する。			
オフィスアワー	授業終了後に質問を受け付ける			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	国際情勢に関するメディア報道に触れておくこと
	授業内容	イントロダクション 受講者と相談のうえ、輪読すべき文献を決定する。
	事後学習	何が理解でき、何が理解できなかったのか。そして、得られた知見が、どのように自らの研究に結びつくのかについて、自らの考えを整理しておくこと。
2	事前学習	国際情勢に関するメディア報道に触れておくこと
	授業内容	輪読
	事後学習	何が理解でき、何が理解できなかったのか。そして、得られた知見が、どのように自らの研究に結びつくのかについて、自らの考えを整理しておくこと。
3	事前学習	授業内で提示する課題文献について読み込んでおくこと
	授業内容	輪読
	事後学習	何が理解でき、何が理解できなかったのか。そして、得られた知見が、どのように自らの研究に結びつくのかについて、自らの考えを整理しておくこと。
4	事前学習	授業内で提示する課題文献について読み込んでおくこと
	授業内容	輪読
	事後学習	何が理解でき、何が理解できなかったのか。そして、得られた知見が、どのように自らの研究に結びつくのかについて、自らの考えを整理しておくこと。

29	事前学習	授業内で提示する課題文献と発表課題に関する文献について読み込んでおくこと
	授業内容	広報文化外交とメディアの役割
	事後学習	何が理解でき、何が理解できなかったのか。そして、得られた知見が、どのように自らの研究に結びつくのかについて、自らの考えを整理しておくこと。
30	事前学習	質問を準備しておくこと
	授業内容	まとめ
	事後学習	何が理解でき、何が理解できなかったのか。そして、得られた知見が、どのように自らの研究に結びつくのかについて、自らの考えを整理しておくこと。

科目名	国際コミュニケーション論特殊講義	担当者	鈴木 雄雅	期間	通年	単位数	4
-----	------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	本講義はグローバル社会におけるメディアの影響を多角度から学ぶために、前学期は国際コミュニケーションの基礎と現代に至る進展を、後学期は各論（テーマ別）＝ニュース論、戦争、グローバル化するメディア文化などの諸問題をとりあげる。授業に関係するシンポジウム（大学内、大学外）があれば活用する。						
授業目的・到達目標	本講義はマス・メディアやインターネットを介した国際間の情報流通の諸問題を手がかりにして、国際間のコミュニケーションの諸問題を考える。異なる政治経済体制国々、歴史や文化を異にする国々のなかで南北問題や開発問題など、さまざまな局面にみられる国際間のコミュニケーションの問題を扱う。そのなかで、国際間のコミュニケーションのあり方を主軸に国際報道、ジャーナリズム、マス・メディアのあり方、マス・メディアへの接し方を学ぶ場とする。コミュニケーション、マス・コミュニケーションの基礎的な知識を修得し、国際間におけるマス・メディア/メディアの役割（機能）を考察することができること。ジャーナリズムの果たすべき役割は何かを問うことができるようになる。						
履修条件	今日のグローバル社会に身を置き、マス・メディア/インターネットに主体的に接することが日常的に行えること。国際間のニュースの流れ、ジャーナリズムの役割、マス・メディアの現在に関心のある学生						
授業方法	テキスト、参考書をきちんと読んでいることを前提に、講義形式で進める。クイズやインターネットを使ったリアクション、ビデオ映像、新聞記事などから、多面的にアクセスする。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	授業参加度、リアクションペーパー、アサイメントの提出及び国際コミュニケーション、グローバル・コミュニケーションの基礎を理解する				
教科書	年	出版社	書名	著者名			
	2003	ミネルヴァ書房	グローバル社会とメディア	武市英雄・原寿雄（責任編集）			
	2018	世界思想社	現代ジャーナリズムを学ぶ人のために【第2版】	大井眞二・田村紀雄・鈴木雄雅（編）			
	備考	その他指定文献、論文などは講義時に適宜紹介する。					
参考書	講義中に紹介するほか、H. H. フレデリック、武市英雄ほか（訳）『グローバル・コミュニケーション』（松柏社、1996、2,700円）は必読書。						
オフィスアワー	授業時間後。その他Email (HAF00025@nifty.ne.jp) で質問・相談を受け付けます。						

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	当該科目の履修確認。また、事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	当該科目の履修届。また、これまでの復習を行っておくこと
2	事前学習	前回授業内容、資料の確認 各回レジュメ（サイトアクセスを含む）を配布する。授業計画中の文献には書籍、論文、新聞・ネット記事（ニュース）、映像、URLなどを含む。
	授業内容	概念、定義(1) コミュニケーション、マス・コミュニケーション
	事後学習	指定文献の精読
3	事前学習	前回授業内容、資料の確認
	授業内容	概念、定義(2) 国際コミュニケーション、グローバリゼーション
	事後学習	指定文献の精読
4	事前学習	前回授業内容、資料の確認
	授業内容	グローバリゼーションとメディアの進展(1)
	事後学習	グローバル社会とメディア 1章

5	事前学習	前回授業内容、資料の確認
	授業内容	グローバル化とメディアの進展(2)
	事後学習	グローバル社会とメディア 2章
6	事前学習	前回授業内容、資料の確認
	授業内容	グローバル化とメディアの進展(3)
	事後学習	グローバル社会とメディア 3章
7	事前学習	前回授業内容、資料の確認
	授業内容	新世界情報コミュニケーション秩序 (NWICO) 論争(1)
	事後学習	アサイメント(1)
8	事前学習	前回授業内容、資料の確認
	授業内容	新世界情報コミュニケーション秩序 (NWICO) 論争(2)
	事後学習	指定文献の精読
9	事前学習	前回授業内容、資料の確認
	授業内容	冷戦崩壊と国境を越えるテレビ(1)
	事後学習	指定文献の精読
10	事前学習	前回授業内容、資料の確認
	授業内容	冷戦崩壊と国境を越えるテレビ(2)
	事後学習	指定文献の精読
11	事前学習	前回授業内容、資料の確認 グローバル社会とメディア8章
	授業内容	マス・メディアからメガ・メディアの時代(1)
	事後学習	指定文献の精読
12	事前学習	前回授業内容、資料の確認 グローバル社会とメディア8章
	授業内容	メガ・メディアからギガ・メディアの時代(2)
	事後学習	指定文献の精読
13	事前学習	前回授業内容、資料の確認 グローバル社会とメディア6章
	授業内容	文化摩擦、情報格差とメディア(1)
	事後学習	指定文献の精読
14	事前学習	前回授業内容、資料の確認 グローバル社会とメディア6章
	授業内容	文化摩擦、情報格差とメディア(2)
	事後学習	指定文献の精読
15	事前学習	2～14回目講義の通読
	授業内容	総括
	事後学習	なし
16	事前学習	前学期履修した内容の復習
	授業内容	オリエンテーション
	事後学習	指定資料などの精読

17	事前学習	グローバル社会とメディア 5章
	授業内容	ジャーナリズム機能と国際報道に期待される役割(1)
	事後学習	配布資料の精読
18	事前学習	前回資料の確認
	授業内容	ジャーナリズム機能と国際報道に期待される役割(2)
	事後学習	配布資料の精読
19	事前学習	グローバル社会とメディア 7章
	授業内容	国際報道、政治報道の諸問題(1) 日米報道
	事後学習	配布資料の精読
20	事前学習	グローバル社会とメディア 5章
	授業内容	国際報道、政治報道の諸問題(2) 客観報道主義
	事後学習	配布資料の精読
21	事前学習	日露戦争を調べる
	授業内容	戦争とメディア：日露戦争 (VTR)
	事後学習	アサイメント (リアベ)
22	事前学習	ベトナム戦争を調べる
	授業内容	プロパガンダ、戦争(紛争)と国際報道をめぐる諸問題(1) ベトナム戦争 VTR
	事後学習	アサイメント (リアベ)
23	事前学習	湾岸戦争、イラク戦争を調べる
	授業内容	プロパガンダ、戦争(紛争)と国際報道をめぐる諸問題(2) 湾岸戦争、イラク戦争 VTR
	事後学習	アサイメント (リアベ)
24	事前学習	グローバル社会とメディア 6章
	授業内容	グローバル化するメディア文化の諸問題(1)-韓流
	事後学習	関係サイトの閲覧、トピックの検出
25	事前学習	前回事後学習の確認
	授業内容	グローバル化するメディア文化の諸問題(2)-ジャパニメーション
	事後学習	実態の把握
26	事前学習	指定論文
	授業内容	グローバル化するメディア文化の諸問題(3)
	事後学習	指定論文の精読
27	事前学習	前回講義の復習
	授業内容	インターネット時代の国際報道(1)
	事後学習	国際報道の検証
28	事前学習	指定論文
	授業内容	インターネット時代の国際報道(2)
	事後学習	国際報道の検証

29	事前学習	2回の国際報道の分析
	授業内容	インターネット時代の国際報道(3)
	事後学習	まとめ
30	事前学習	17～29回講義の通読
	授業内容	総括
	事後学習	これまでの復習を行っておくこと

科目名	比較コミュニケーション政策論特殊講義	担当者	本多 周爾	期間	通年	単位数	4
-----	--------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	情報通信技術の発展に伴う情報化、世界的なレベルで相互依存関係の緊密化をもたらしているグローバル化という状況を踏まえ、国家、ならびに国際社会を取り巻くコミュニケーション環境に関わる問題について、比較研究の視点に立って分析、検討する。具体的には、国家・国民の統合、開発と発展、国家間の情報流通システムに影響を及ぼすコミュニケーション政策、メディア政策、情報政策について理論的考察と事例研究を行う。			
授業目的・到達目標	授業目的：コミュニケーション政策をめぐる諸問題に比較研究の視点からアプローチし、そこに横たわる課題を理論と実践の両面から考察し、解決の糸口を見つけ出すことができるようになることを目的とする。 到達目標：国際コミュニケーション、開発コミュニケーションに関する専門知識を修得し、情報化とグローバル化という今日的状況において、コミュニケーション政策が、国家の統合と開発、ナショナル・アイデンティティやナショナリズム等に及ぼす影響、ならびに南北間に横たわる情報流通の格差と不均衡、国際的な情報環境の変容等の問題について説明できるようになる。			
履修条件	特になし			
授業方法	講義形式と演習形式を交えて授業を進める			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	講読と発表、報告（70%）、ディスカッション（30%）	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2017年	春風社	国際コミュニケーションの政治学	本多周爾
	備考			
参考書	・本多周爾『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』春風社、2010年 ・本多周爾『発展と開発のコミュニケーション政策』武蔵野大学出版会、2007年			
オフィスアワー	火曜日15:40～16:20。なお、事前にメールでアポイントメントをとること			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	シラバスで教科書、参考書としてあげた文献に目を通しておくこと
	授業内容	はじめに
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
2	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
	授業内容	比較コミュニケーション政策論の視座
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
3	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
	授業内容	比較コミュニケーション政策論のテーマの設定
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
4	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
	授業内容	コミュニケーション政策の分野と概要
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと

5	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
	授業内容	メディア政策、情報化政策の範囲と概要
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
6	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
	授業内容	国家統合、国民統合の理論と過程
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
7	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
	授業内容	国家統合におけるコミュニケーションの機能
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
8	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
	授業内容	国民統合におけるメディアの役割
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
9	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
	授業内容	国家統合、国民統合とコミュニケーション政策
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
10	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
	授業内容	開発、発展の理論とパラダイム転換
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
11	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
	授業内容	開発、発展におけるコミュニケーションの機能と役割
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
12	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
	授業内容	開発コミュニケーションの理論とパラダイム転換
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
13	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
	授業内容	開発コミュニケーション政策の実践
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
14	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
	授業内容	比較コミュニケーション政策論の論点の分析、検討
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
15	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと（1時間）
	授業内容	前期講義の小括
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
16	事前学習	前期で学修した各テーマについて、レジメ・プリントであげた参考文献、参考資料を基に整理しておくこと
	授業内容	後期の授業をはじめににあたって
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと

17	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
	授業内容	国際的な情報流通の不均衡、情報格差の是正に向けた政策
18	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
18	授業内容	新世界情報コミュニケーション秩序の構築を求める動き
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
19	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
	授業内容	マス・メディア宣言以後の情報コミュニケーション秩序
19	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
20	授業内容	情報化の進展と政策的な展開
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
21	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
	授業内容	グローバル化と情報化政策の課題
21	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
22	授業内容	情報化、グローバル化の開発コミュニケーション政策への影響
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
23	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
	授業内容	東アジア、東南アジアにおける開発政治
23	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
24	授業内容	東アジア、東南アジアにおける開発コミュニケーション政策
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
25	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
	授業内容	台湾の発展と情報化政策
25	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
26	授業内容	インドネシアの開発コミュニケーション政策
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
27	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
	授業内容	マレーシアの開発コミュニケーション政策
27	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
28	授業内容	タイの開発コミュニケーション政策
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと

29	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
	授業内容	後期講義の小括
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと
30	事前学習	授業で配布するレジメ・プリントに次回のテーマと参考文献、参考資料をあげておくので、それらに目を通して予習しておくこと
	授業内容	比較コミュニケーション政策論に残された研究課題と展望
	事後学習	配布したレジメ・プリントにあげた授業のポイントと課題、ディスカッションのテーマ、ならびに参考文献に基づいて復習しておくこと

科目名	中国メディア論特殊講義	担当者	山本 賢二	期間	通年	単位数	4
-----	-------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	「武」（武力）と「文」（宣伝）によって中国国民党から政権を奪取した中国共産党にとっては、メディアは中国を経営するための耳目と喉舌である。耳目とは情報の収集を指し、喉舌とは情報の提供を意味している。本講義は中国共産党のメディアコントロールの実態を検証するものである。			
授業目的・到達目標	中国のジャーナリズム・メディアの本質を理解し、中国共産党の伝える中国の「真実」に接近する方法論を探る。			
履修条件	特になし。			
授業方法	参考書を熟読していることを前提とし、担当者(山本)の研究論文を一週一編読み、その内容について話し合いながら講義を進める。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	50%：レポート（学年末に「中国の国情とメディア」というテーマでレポートを提出） 50%：授業中における話し合いに積極的に参与する。これを平常評価とする。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2018年度	教員学生共有サイト掲載	中国メディア・ジャーナリズム論考(1)(2)(3)	山本賢二
	備考	上記「論考」の中から、任意に論文を選択し、報告、議論する。下記「授業計画」の「授業内容」は例示。		
参考書	何 清漣（著）、中川 友（翻訳）『中国の嘘—恐るべきメディア・コントロールの実態』扶桑社 2005/2			
オフィスアワー	月曜日と木曜日の12時30分から13時まで本館9階1918山本研究室。時間が必要な場合は、別の時間を設定するので、事前に下記のアドレスに連絡すること。 yamamoto.kenji@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	「情報主権」について調べる。
	授業内容	ガイダンス(情報主権)
	事後学習	中国の「情報主権」観をまとめる。
2	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	中国における「中国共産党の指導」（「論考」（1）p. 4－12）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。
3	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	中国の「四大自由」再考（「論考」（1）p. 28－52）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。
4	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	中国における「四権」の消長（「論考」（3）p. 45－79）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。

5	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	一言堂-中国共産党一党独裁と「08憲章」をめぐる（「論考」(1) p. 53-73）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。
6	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	習近平と中国の言論空間（「論考」(3) p. 21-44）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。
7	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	メディアとしての太極拳（「論考」(1) p. 308-322）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。
8	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	中国の「四大自由」（「論考」(1) p. 28-52）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。
9	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	「中国新聞工作者職業道德準則」について（「論考」(2) p. 127-128）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。
10	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	中国「新聞記者証管理弁法」について（「論考」(2) p. 270-334）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。
11	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	中国におけるオンラインニュース管理規定（「論考」(2) p. 335-401）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。
12	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	中華人民共和国サイバーセキュリティ法（「論考」(3) p. 132-182）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。
13	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	胡績偉のジャーナリズム論（「論考」(2) p. 46-66）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。
14	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	中国のジャーナリズム・イデオロギー・憲政運動（「論考」(2) p. 67-76）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。
15	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	「炎黄春秋」と出版の自由（「論考」(2) p. 401-412）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。
16	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	一国両制と新聞の自由（「論考」(1) p. 119-142）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。

17	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	少数民族問題についての輿論誘導（「論考」（1）p. 143-162）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。
18	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	9.11事件と中国メディア（「論考」（1）p. 83-98）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。
19	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	中国の国際コミュニケーション戦略（「論考」（1）p. 111-118）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。
20	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	中国にとっての情報としての知財（「論考」（1）p. 296-307）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。
21	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	「新聞法」について（「論考」（2）p. 179-269）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。
22	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	中華人民共和国情報公開条例（「論考」（1）p. 323-338）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。
23	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	新疆「7.5」事件とインターネット規制（「論考」（1）p. 163-183）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。
24	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	林語堂のジャーナリズム論（「論考」（1）p. 74-82）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。
25	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	「抗日戦争勝利70周年」のスローガン（「論考」（2）p. 99-126）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。
26	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	東芝ノートパソコン事件報道（「論考」（1）p. 184-208）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。
27	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	西安留学生寸劇事件報道（「論考」（1）p. 209-228）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。
28	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	日中の言論空間（「論考」（1）p. 244-255）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。

29	事前学習	関連文献を読む。
	授業内容	日中相互理解とメディアリテラシー」（「論考」（1）p. 256-295）
	事後学習	上記内容について自分の意見を含めてまとめる。
30	事前学習	これまで報告・議論してきた内容を再検証する。
	授業内容	話し合いメディアと日中相互理解
	事後学習	話し合った内容について自分の意見を含めてまとめる。

科目名	ウェブ・ジャーナリズム論特殊講義	担当者	水野 泰志	期間	通年	単位数	4
-----	------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	ネット社会の進展に伴い、メディア環境が激変する中、ネットメディアを活用したジャーナリズムについて、さまざまな角度から実証的な研究を行う。内外の最新の事例にもとづき、新聞・雑誌・テレビ・ラジオなど既存メディアにおけるジャーナリズムとの比較を通じ、ウェブジャーナリズムの本質、信頼性、影響力、功罪、可能性、課題などを明らかにする。						
授業目的・到達目標	ウェブ、ブログ、SNSなど、さまざまなネットメディアを通じて、ウェブジャーナリズムについて知見を深めることを目的とする。 ネット社会におけるメディア環境について学び、ネット時代のジャーナリズムについて興味をもち、理解を深めることができるようになる。						
履修条件	とくになし。						
授業方法	ウェブジャーナリズムの動向についてさまざまな具体的な事例を随時取り上げるとともに、院生がそれぞれ興味を持つテーマを設定して調査研究を行い、レポートを作成し、それに基づき受講者全員で討議する。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	院生ごとに設定した研究テーマにおける成果、講義への取り組み、討議の内容などによる総合判断。				
教科書	年	出版社	書名			著者名	
	備考	特になし。					
参考書	必要に応じて提示する。						
オフィスアワー	メールにて対応 (aei03021@nifty.com)。						

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	ウェブジャーナリズムとは何かを考えておくこと
	授業内容	オリエンテーリング
	事後学習	ウェブジャーナリズムについて整理しておくこと
2	事前学習	ウェブジャーナリズムの具体事例について考えておくこと
	授業内容	ウェブジャーナリズムの概要
	事後学習	ウェブジャーナリズムの具体事例について整理しておくこと
3	事前学習	コミュニケーションとメディアの関係について考えておくこと
	授業内容	コミュニケーションとメディア
	事後学習	コミュニケーションとメディアにの関係について整理しておくこと
4	事前学習	自らが研究するウェブジャーナリズムに関する研究テーマを絞り込むこと
	授業内容	ジャーナリズムの本質
	事後学習	自らが研究するウェブジャーナリズムに関するテーマを整理しておくこと

5	事前学習	自らが研究するウェブジャーナリズムに関するテーマを決定すること
	授業内容	ウェブジャーナリズムに関する個々の調査研究のテーマ設定
	事後学習	次回以降、受講者はそれぞれ決定した研究テーマについて、順番にプレゼンするので、それぞれ準備にとりかかること
6	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	情報革命とメディアのパラダイムシフト
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
7	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	ネットメディアの特性
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
8	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	マスメディアとソーシャルメディア
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
9	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	日本のウェブジャーナリズム事情①
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
10	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	日本のウェブジャーナリズム事情②
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
11	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	日本のウェブジャーナリズム事情③
	事後学習	講義やプレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
12	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	海外のウェブジャーナリズム事情①米国
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
13	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	海外のウェブジャーナリズム事情②欧州
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
14	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	海外のウェブジャーナリズム事情③アジア
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
15	事前学習	ウェブジャーナリズムに関する自らの研究テーマについて、前期のまとめのレポートを作成すること
	授業内容	前期まとめ
	事後学習	講義や、さまざまな研究テーマについて知見を深め、後期に向けて自らの研究テーマの課題や進め方について整理しておくこと
16	事前学習	後期の自らの調査研究について計画を立てること
	授業内容	ウェブジャーナリズムに関する個々の調査研究の後期の進め方
	事後学習	調査研究の進め方について整理しておくこと

17	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	ネットニュースとプラットフォーム
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
18	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	ネットニュースのビジネスモデル
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
19	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	ウェブジャーナリズムの影響
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
20	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	ソーシャルメディアの進展
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
21	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	SNS（フェイスブック等）の浸透
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
22	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	ブログやミニブログ（ツイッター・微博等）の伝播力
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
23	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	対話アプリ（LINE、微信等）の効用
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
24	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	動画サイト（ユーチューブ、ニコニコ動画等）の展望
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
25	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	ウェブジャーナリズムの功罪
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
26	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	ソーシャルメディアの信頼性
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
27	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	フェイクニュース対策
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと
28	事前学習	プレゼン担当者は、事前に、自らの研究テーマについてレポート（中間報告等）を提出して受講者全員と共有し、受講者はプレゼンターの研究テーマについて討議できるよう、自らの考えを整理しておくこと
	授業内容	ウェブジャーナリズムの課題
	事後学習	講義や、プレゼンターの研究テーマについてのプレゼンや討議を受け、知見を深めておくこと

29	事前学習	ウェブジャーナリズムに関する自らの研究テーマについて、まとめのレポートを準備すること
	授業内容	ウェブジャーナリズムの可能性と限界
	事後学習	ウェブジャーナリズムに関する自らの研究テーマについて、まとめのレポートを整理すること
30	事前学習	ウェブジャーナリズムに関する自らの研究テーマについて、最終レポートを作成すること
	授業内容	まとめ
	事後学習	講座全般内容について、知見を深めておくこと

科目名	映像ジャーナリズム論特殊講義	担当者	米倉 律	期間	通年	単位数	4
-----	----------------	-----	------	----	----	-----	---

授業概要	テレビを中心とした映像ジャーナリズムは、グローバル時代において外国・外国人に対する認識やイメージの形成に大きな影響力を持つ。本授業では日本・中国・韓国を中心とした東アジアにおける放送メディアのグローバルな流通に着目しながら、日中戦争や従軍慰安婦などをめぐる「歴史和解」の問題に放送メディアがどのように関わるのか、ドキュメンタリーやニュース報道、韓流ドラマなど、幾つかのジャンルに即して考える。			
授業目的・到達目標	東アジアにおける放送、ジャーナリズムを通じた文化的対話や歴史和解に関する知識を習得し、放送メディアと歴史和解の関わりについて理解し考察を深めること。			
履修条件	ドキュメンタリー番組、報道番組、韓流ドラマなどについて関心を持ち、視聴できる環境にあること			
授業方法	文献講読と、番組の映像素材を用いた分析、発表、ディスカッションを組み合わせる。進めていく。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	数回の発表と日常の発言などで総合的に評価する	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しない		
参考書	石田佐恵子・木村幹ほか『ポスト韓流のメディア社会学』（ミネルヴァ書房、2007） その他、適宜指示する。			
オフィスアワー	毎週水曜日の昼休み。研究室は本館7階（1719） できれば事前にメール等でアポイントを入れてほしい。 メールアドレスは、yonekura.ritsu@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	入手した参考書などを用いて準備する。
	授業内容	イントロダクション
	事後学習	配布資料を用いて振り返り
2	事前学習	参考文献の該当章を読んでおく。
	授業内容	日本における韓流の台頭と展開①
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する
3	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。
	授業内容	日本における韓流の台頭と展開②
	事後学習	講義およびディスカッションの内容に沿って振り返り。
4	事前学習	参考文献の該当章を読んでおく。
	授業内容	日本における韓流の台頭と展開③
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する

5	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。
	授業内容	日本における韓流の台頭と展開④
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する
6	事前学習	ヘイトスピーチに関連する資料を収集、分析する。
	授業内容	事例研究①：ヘイトスピーチ
	事後学習	関連の書籍を読んでおく
7	事前学習	ヘイトスピーチに関連する資料を収集、分析する。
	授業内容	事例研究②：ヘイトスピーチ
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する
8	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。
	授業内容	日本における韓流の台頭と展開⑤
	事後学習	関連の書籍を読んでおく
9	事前学習	参考文献の該当章を読んでおく。
	授業内容	日本における韓流の台頭と展開⑥
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する
10	事前学習	参考文献の該当章を読んでおく。
	授業内容	従軍慰安婦問題と日韓関係①
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する
11	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。
	授業内容	従軍慰安婦問題と日韓関係②
	事後学習	配布資料を用いて振り返り
12	事前学習	従軍慰安婦問題に関連する資料を収集、分析する。
	授業内容	従軍慰安婦問題と日韓関係③
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する
13	事前学習	参考文献の該当章を読んでおく。
	授業内容	従軍慰安婦問題と日韓関係④
	事後学習	関連の書籍を読んでおく
14	事前学習	従軍慰安婦問題に関連する資料を収集、分析する。
	授業内容	従軍慰安婦問題と日韓関係⑤
	事後学習	配布資料を用いて振り返り
15	事前学習	前期の授業内容についてノートその他でまとめる。
	授業内容	前期まとめ
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する
16	事前学習	日中戦争について関連する資料を収集、分析する。
	授業内容	テレビの中の日中戦争の表象①
	事後学習	配布資料を用いて振り返り

17	事前学習	日中戦争について関連する資料を収集、分析する。
	授業内容	テレビの中の日中戦争の表象②
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する
18	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。
	授業内容	テレビの中の日中戦争の表象③
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する
19	事前学習	靖国神社についての基本的情報を収集、整理しておく。
	授業内容	事例研究：映画「靖国」①
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する
20	事前学習	映画「靖国」の上映問題について情報収集、分析する。
	授業内容	事例研究：映画「靖国」②
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する
21	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。
	授業内容	テレビの中の日中戦争の表象④
	事後学習	配布資料を用いて振り返り
22	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。
	授業内容	テレビの中の日中戦争の表象⑤
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する
23	事前学習	南京事件について基本的情報を調べておく。
	授業内容	事例研究：南京事件①
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しまとめる。
24	事前学習	南京事件について関連情報を収集・整理しておく。
	授業内容	事例研究：南京事件②
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する
25	事前学習	南京事件について関連情報を収集・整理しておく。
	授業内容	事例研究：南京事件③
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する
26	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。
	授業内容	日中韓のドラマを通じた「文化的対話」①
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しまとめる。
27	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。
	授業内容	日中韓のドラマを通じた「文化的対話」②
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する
28	事前学習	参考文献の該当章を読んでおく。
	授業内容	日中韓のドラマを通じた「文化的対話」③
	事後学習	配布資料およびノートを用いて復習する

29	事前学習	参考文献の該当章を読み、関連の情報を収集・整理しておく。
	授業内容	日中韓のドラマを通じた「文化的対話」④
	事後学習	ディスカッションの内容を整理しまとめる。
30	事前学習	一年間の授業の内容についてノート、資料等を用いて振り返り
	授業内容	年間総括
	事後学習	講義およびディスカッションの内容を整理しまとめる。

科目名	文献研究(英)	担当者	小川 浩一	期間	通年	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	この授業ではマス・コミュニケーション現象を生んでいる社会と文化を考察し、さらにそれらがマス・コミュニケーションからも大きく影響を受けていることを明らかにした諸研究を学ぶ。マス・コミュニケーション研究が多様な学問領域の成果によることを知る。必要な英文は授業時に配布する。『Media, Culture and Society』 P. Hodkinson 著 の必要部分を読みます。			
授業目的・到達目標	英語の文献を解題するだけでなく、それらを正しい、分かり易い日本語文章に翻訳することを通じて、内容を正確に把握することを目標とする。加えてそこで用いられている言葉の概念定義を修得することも重要な目標とする。ここで修得した概念、用語は修士論文作成に有用なものである。			
履修条件	新聞学研究科博士前期課程1, 2年次生を対象とする。			
授業方法	輪読形式で行う。英和辞典(出来れば英英辞典も)持参する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	授業時に提出する日本語訳文。授業時に発表する翻訳内容。最終提出翻訳文。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特になし。授業時に必要論文を配布する。		
参考書	必要に応じ指示する			
オフィスアワー	非常勤なので、質問がある場合には事前に申し出て日程を調整してください。			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	受験時に参考とした文献を読み直す。
	授業内容	ガイダンス、指定文献の背景説明。文献資料配布。
	事後学習	第1回用の解題、日本語訳作成
2	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	introduction
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する
3	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	introduction
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する
4	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	introduction
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する

5	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	He communication process
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する
6	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	The communication process
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する
7	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	The communication process
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する
8	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	Elements of media in socio-cultural context
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する
9	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	Elements of media in socio-cultural context
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する
10	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	Elements of media in socio-cultural context
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する
11	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	Elements of media in socio-cultural context
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する
12	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	Making connections
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する
13	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	Making connections
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する
14	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	Making connections
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する
15	事前学習	全体を通読する。
	授業内容	前期のまとめ
	事後学習	前期提出レポートの再構成
16	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	Empirical traditions of audience research, limited effects and two-step flow
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する

17	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	Empirical traditions of audience research, limited effects and two-step flow
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する
18	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	Empirical traditions of audience research, limited effects and two-step flow
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する
19	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	Cultural studies
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する
20	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	Cultural studies
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する
21	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	Cultural studies
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する
22	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	Cultural studies
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する
23	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	The culture industry as mass deception
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する
24	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	The culture industry as mass deception
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する
25	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	The culture industry as mass deception
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する
26	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	Ideological meanings
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する
27	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	Ideological meanings
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する
28	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	Political economy and ideology
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する

29	事前学習	該当部分の翻訳と日本語文章の作成
	授業内容	Political economy and ideology
	事後学習	授業時に指摘された部分、用語を修正、訂正して翻訳文を再構築する
30	事前学習	全体を通読する。
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	レポートの準備をする。

科目名	文献研究(日)	担当者	小川 浩一	期間	通年	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	経済的グローバル化の歪が経済格差を原因とする格差として様々な領域で現れていることはメディアで示されている。マス・メディアを研究する以上、そして日本で研究をする以上、何が起き何が問題としてメディアで取り上げられているのかを日本語で知らなければならない。マス・メディアで日常的に取り上げられている格差をどのように考えるのかを修得する。複数の書物を解説する。			
授業目的・到達目標	日本語でジャーナリズムおよび社会学の関連文献と論文を購読する。専門文献を読み解くことで、日本語に馴染むだけでなく社会科学における日本語表現を身に付ける。留学生諸君が日本語での修士論文を執筆可能となる水準に到達すること。もう一つは、日本社会の問題が自分の国ではどのように現れているのかを実証的に検討すること。そのためのレポートを求めます。			
履修条件	特に無いが、日常的に日本語の文献を読むこと。読んだものを纏めることが常に求められます。新聞を読む習慣を身に付けてください。			
授業方法	日本語文献(論文、著書)を輪読し、内容を報告する。さらにその内容に関するレポートを提出し、討論をする。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	平生の発表、課題レポートの成果。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2006	岩波新書	格差社会—何が問題なのか (前期テキスト)	橘木俊詔
	2008	岩波新書	子どもの貧困 (後期テキスト)	阿部 彩
	備考			
参考書	授業時に指示する			
オフィスアワー	非常勤なので、質問がある場合には事前に申し出て日程を調整してください。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	自国の格差のデータを収集する。
	授業内容	前期全体のガイダンス
	事後学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
2	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	日本は学歴社会なのか
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える
3	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	大学進学への壁
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える
4	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	学歴格差は三極化
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える

5	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	子供の学歴を決めるもの
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える
6	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	文化資本か、学力資本か
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える
7	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	教育の目的・方法の変遷
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える
8	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	公立か、私立か
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える
9	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	エリート単線型の学歴コース
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える
10	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	学費負担の増大と教育の不平等化
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える
11	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	低い公費負担、増える家計負担
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える
12	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	貧困家庭の増大と教育
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える
13	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	教育の目的を検証する
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える
14	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	リベラリズムと教育政策
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える
15	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	働くことと教育の連携
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える
16	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	後期のガイダンス
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える

17	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	貧困家庭に育つということ
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える
18	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	貧困家庭に育つということ
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える
19	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	子供の貧困を測る
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える
20	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	子供の貧困を測る
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える
21	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	だれのための政策か
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える
22	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	だれのための政策か
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える
23	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	追いつめられる母子世帯の子ども
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える
24	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	追いつめられる母子世帯の子ども
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える
25	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	学歴社会と子どもの貧困
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える
26	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	学歴社会と子どもの貧困
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える
27	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	子どもにとっての必需品を考える
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える
28	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	子どもにとっての必需品を考える
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える

29	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	子ども対策に向けて
	事後学習	授業時に指摘された内容の確認と次回との接続を考える
30	事前学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化
	授業内容	子ども対策に向けて
	事後学習	指定された章の読了と概要の日本語文章化

科目名	文献研究(中)	担当者	山本 賢二	期間	通年	単位数	2
-----	---------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	中国のメディアに関する文献資料、特に法令、条例、通知などを日本語に訳し、資料として『J&M』に公表する。今年度は2017年に採択された「互網新情報管理定」を日本語に翻訳する。						
授業目的・到達目標	中国における関係文献を正確な日本語に訳すことを通じて、日本語運用能力を向上させると同時に、中華人民共和国のオンラインニュースの取り扱いについて理解を深める。						
履修条件	特になし。						
授業方法	関係論文を輪読、日訳し、その内容について話し合う。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	出席しての輪読・日訳、さらには議論を評価対象とする。				
教科書	年	出版社	書名	著者名			
	2018年度	教員学生共有サイトに掲載	2018「文献研究」(中)	山本賢二			
	備考						
参考書	適宜指示する。						
オフィスアワー	月曜日と木曜日の12時30分から13時まで本館9階1918山本研究室。時間が必要な場合は、別の時間を設定するので、事前に下記のアドレスに連絡すること。 yamamoto.kenji@nihon-u.ac.jp						

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	中国のインターネット環境について基本的知識を得ておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	正しい日本語にするため、オンラインニュースに関する日本語の専門用語を調べる。
2	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	「互網新情報管理定」①
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。
3	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	「互網新情報管理定」②
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。
4	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	「互網新情報管理定」③
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。

5	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	「互網新情報管理定」④
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。
6	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	「互網新情報管理定」⑤
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。
7	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	「互網新情報管理定」⑥
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。
8	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	「互網新情報管理定」⑦
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。
9	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	「互網新情報管理定」⑧
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。
10	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	「互網新情報管理定」⑨
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。
11	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	「互網新情報管理定」⑩
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。
12	事前学習	推敲該当部分を再考し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	前半部の日本語訳推敲①
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、初稿を完成する。
13	事前学習	推敲該当部分を再考し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	前半部の日本語訳推敲②
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、初稿を完成する。
14	事前学習	推敲該当部分を再考し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	前半部の日本語訳推敲③
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、初稿を完成する。
15	事前学習	推敲該当部分を再考し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	前半部の日本語訳推敲④
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、初稿を完成する。
16	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	「互網新情報管理定」⑪
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。

17	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	「互網新情報管理定」⑫
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。
18	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	「互網新情報管理定」⑬
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。
19	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	「互網新情報管理定」⑭
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。
20	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	「互網新情報管理定」⑮
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。
21	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	「互網新情報管理定」⑯
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。
22	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	「互網新情報管理定」⑰
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。
23	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	「互網新情報管理定」⑱
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。
24	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	「互網新情報管理定」⑲
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。
25	事前学習	担当翻訳箇所を翻訳し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	「互網新情報管理定」⑳
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、清書する。
26	事前学習	推敲該当部分を再考し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	日本語訳の総推敲①
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、初稿を完成する。
27	事前学習	推敲該当部分を再考し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	日本語訳の総推敲②
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、初稿を完成する。
28	事前学習	推敲該当部分を再考し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	日本語訳の総推敲③
	事後学習	授業中に修正した箇所を直し、初稿を完成する。

29	事前学習	推敲該当部分を再考し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	日本語訳の総推敲④
	事後学習	初稿を修正し、完成する。
30	事前学習	推敲該当部分を再考し、受講者数分のコピーを準備する。
	授業内容	日本語訳の総推敲⑤
	事後学習	初稿を修正し、完成する。

科目名	ジャーナリズム理論演習 I	担当者	湯浅 正敏	期間	前期	単位数	1
-----	---------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	「ジャーナリズムの規範となる基本原則」と「市場原理に基づくジャーナリズム」、端的に言えば「公共性」と「商業主義」という対立概念の中で、次世代のジャーナリズムにとって必要なものは何かについて考える授業とする。						
授業目的・到達目標	授業目的：ジャーナリズムは「公共性」と「商業主義」という二つの側面の中で、いかに対処すべきかについて、参考文献を当たりながらクリティカル・シンキングを身につけることを目的とする。 到達目標：ジャーナリズムの原則 I～10（規範性）、プロパガンダ・モデル5つのファクター、ジャーナリズムの市場原理について十分理解し、今日のジャーナリズムについて各自所見を持つ。						
履修条件	特になし。						
授業方法	毎回オリエンテーション（講義）や資料（映像含む）をもとに、論点となるテーマを選んで討議型の授業スタイルを取る。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	レポートの提出、授業内の発表、討議内容等によって総合的に評価する。				
教科書	年	出版社	書名			著者名	
	備考	使用しない					
参考書	B.コバッチ、T.ローゼンスティール『ジャーナリズムの原則』、ジョン・H・マクナマス『市場原理に基づくジャーナリズム』、N.チョムスキー他『マニファクチャリング・コンセント マスメディアの政治経済学』等。						
オフィスアワー	木曜日12:20から13:00 研究室9号館9602室ym-7397@nihon-u.ac.jp						

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	シラバスの授業内容を見て各自何について学びたいか等予め意見をまとめておく。
	授業内容	ガイダンスとジャーナリズムの原則 I～5 (1)
	事後学習	ジャーナリズムの原則 I～5について、今後の基礎知識として十分理解する。
2	事前学習	ジャーナリズムの規範となる諸原則6～10についての配布資料を事前に読んで授業に臨む。
	授業内容	ジャーナリズムの原則6～10 (2)
	事後学習	ジャーナリズムの規範となる諸原則10について、今後の基礎知識として十分理解しておく。
3	事前学習	チョムスキーのプロパガンダ・モデル5つのファクター関連の資料を読んでおく。
	授業内容	チョムスキーのプロパガンダ・モデル5つのファクター
	事後学習	プロパガンダ・モデル5つのファクターについて、今後の基礎知識として十分理解しておく。
4	事前学習	米国の黎明期の新聞の歴史の中で、マクレーキング(muckraking)について事前に配布資料を読んで授業に臨む。
	授業内容	調査報道の歴史 マクレーキングからCAR(Computer Assisted Reporting)へ
	事後学習	マクレーキングは、調査報道とどう違うのか、マクレーキングの衰退原因、CARの調査報道への影響について理解する。

5	事前学習	60年代、70年代の米国の政治、経済状況について事前に学習する。
	授業内容	調査報道の事例：ウォーターゲート事件、ペンタゴン・ペーパーズetc
	事後学習	ジャーナリズム、権力の監視役、調査報道について、レポート提出。
6	事前学習	ジャーナリズム、権力の監視役、調査報道について、レポートをもとに発表準備。
	授業内容	ジャーナリズム、権力の監視役、調査報道について、討議。
	事後学習	討議で得られた様々な視点を整理する。
7	事前学習	事実とは何か、エビデンス、分析、意味について理解する。
	授業内容	インテリジェンス・ジャーナリズム (1) エビデンスと検証のジャーナリズム
	事後学習	報道機関のエビデンスの扱い、その目的、意義について理解する。
8	事前学習	エビデンスと断定のジャーナリズムについて、配布資料をもとに学習する。
	授業内容	インテリジェンス・ジャーナリズム (2) エビデンスと断定のジャーナリズム
	事後学習	断定、主張のジャーナリズムの問題点について、理解する。
9	事前学習	市場原理のジャーナリズムについて、配布資料をもとに学習する。
	授業内容	市場原理のジャーナリズム 利益追求型ビジネス、ニュースという「商品」 資本、M&A、経営から見たジャーナリズム、日米新聞経営の比較。
	事後学習	市場原理のジャーナリズムの問題点について、理解する。
10	事前学習	メディア・コングロマリットの中の新聞社やニューステレビの位置づけを調べておく。
	授業内容	メディア・コングロマリットとジャーナリズム
	事後学習	資本の集中化、グループ経営化、その問題点について、理解する。
11	事前学習	フェアネスドクトリン（公平の原則）について、事前に調べて、授業に臨む。
	授業内容	日米テレビ・ジャーナリズムの比較 フェアネスドクトリン（公平の原則）撤廃、
	事後学習	日米テレビ・ジャーナリズムの相違点について、理解する。
12	事前学習	市場原理のジャーナリズムについて、レポート提出。
	授業内容	市場原理のジャーナリズムについて、討議。
	事後学習	討議で得られた様々な視点を整理する。
13	事前学習	パブリック・リレーションズ（PR）について、広告との相違点等、基本的に理解しておく。
	授業内容	ニュース報道とパブリック・リレーションズ（PR）—60年代ラルフ・ネーダー、レイチェル・カーンらによる消費者 運動や企業告発について
	事後学習	パブリック・リレーションズ（PR）の役割について
14	事前学習	非営利（NPO）調査報道に特化した「プロパブリカ」について、事前に調べて授業に臨む。
	授業内容	Webニュースの現況と課題 新しいニュースの提供の仕方、財源の在り方。
	事後学習	デジタルジャーナリズムの特徴について、理解する。
15	事前学習	前期学習した中で、関心を持ったテーマ、全体的感想に授業で各自発表できるように準備する。
	授業内容	まとめ（前期のレビュー）と各自の発表。
	事後学習	授業で得られた知識、知見等を今後の研究活動に活かしていく。

科目名	ジャーナリズム理論演習Ⅱ	担当者	湯浅 正敏	期間	後期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	リーマンショック以降の欧米ジャーナリズムの経営危機の中で、非営利組織（NPO）による新聞経営、グローバル・ジャーナリズム（国際調査報道）、データ・ジャーナリズムといった新しい潮流について重点的に学び、デジタル・ジャーナリズムの変遷と将来の方向性が理解できる授業とする。			
授業目的・到達目標	授業目標：欧米ニュースメディアが経営危機の中で、いかにデジタル化やグローバル化に対応しているのかの基本的な理解と調査報道の進化について説明できるようになることを目的とする。 到達目標：NPOによる調査報道に特化した「プロバブリカ」、オープン・ジャーナリズムのザ・ガーディアン、パナマ文書にみられる国際調査報道の動向とその背景と意義について習得し、それについて、論説できるようにする。 次世代ジャーナリズムについて、現状のジャーナリズムの課題、将来の方向性について、所見をレポートにまとめる。			
履修条件	特になし。			
授業方法	毎回オリエンテーション（講義）や資料（映像含む）をもとに、論点となるテーマを選んで討議型の授業スタイルを取る。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	レポートの提出、授業内での発表、討議等について総合的に評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	使用しない		
参考書	B・コバッチ/ トム・ローゼンステール『インテリジェンス・ジャーナリズム』（ミネルヴァ書房）、ジェフ・ジャービス『デジタル・ジャーナリズムは、稼げるか』（東洋経済新報社）等。			
オフィスアワー	木曜日12:20から13:00 研究室9号館9602室ym-7397@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	シラバスの授業内容を見て各自何について学びたいか、あらかじめ意見をまとめておく。
	授業内容	ガイダンスと欧米ジャーナリズムの経営危機 広告収入の激減と新興メディアに台頭
	事後学習	欧米と日本の新聞経営の違い、販売入と広告収入の違い、広告収入の激減の要因について理解する。
2	事前学習	NPO「プロバブリカ」について調べる。
	授業内容	欧米ジャーナリズム、変革の波（1）NPO調査報道に特化した「プロバブリカ」
	事後学習	Webサイトでどのようなニュースを取り上げているのか確認する。
3	事前学習	バズフィード、ハフポフ（前ハフィントンポスト）
	授業内容	欧米ジャーナリズム、変革の波（2）バズフィード、ハフポスト（前ハフィントンポスト）
	事後学習	Webサイトでどのようなニュースを取り上げているのか確認する。
4	事前学習	英高級紙ザ・ガーディアンについて調べる。
	授業内容	オープン・ジャーナリズム 英高級紙ザ・ガーディアン
	事後学習	Webサイトでどのようなニュースを取り上げているのか確認する。

5	事前学習	ウィキリークス告発サイトについて、調べる。
	授業内容	ウィキリークス告発サイトとジャーナリズム
	事後学習	ウィキリークス告発サイトにジャーナリズムは、どのような立場を取ればよいのか意見をまとめる。
6	事前学習	パナマ文書、パラダイス文書について、調べる。
	授業内容	グローバル・ジャーナリズム～パナマ文書～パラダイス文書と国際調査報道～
	事後学習	グローバル・ジャーナリズムの背景、影響等について理解し、意見をまとめる。
7	事前学習	データ・ジャーナリズムとは何かについて、調べる。
	授業内容	データ・ジャーナリズム 読者参加型データ・ジャーナリズム。
	事後学習	データ・ジャーナリズムを理解し、データ・ヴィジュアライゼーション事例を探してみる。
8	事前学習	NY.タイムスの「スノーフォール」について調べる。
	授業内容	マルチメディア型データ・ジャーナリズム。
	事後学習	VRを活用したジャーナリズムの事例を探してみる。
9	事前学習	国際ジャーナリズム大会2018関連資料を読んでおく。
	授業内容	国際ジャーナリズム大会レポート (1)
	事後学習	ジャーナリズムのトレンドについて理解する。
10	事前学習	国際ジャーナリズム大会2018関連資料を読んでおく。
	授業内容	国際ジャーナリズム大会レポート (2)
	事後学習	ジャーナリズムのトレンドについて理解する。
11	事前学習	ブランド・ジャーナリズム、ネイティブ広告について、調べる。
	授業内容	ジャーナリズムと広告の融合 ブランド・ジャーナリズム、ネイティブ広告
	事後学習	Webサイトでブランド・ジャーナリズム、ネイティブ広告の事例について、確認する。
12	事前学習	AI、ビッグ・データの用語を理解しておく。
	授業内容	AI、ビッグ・データとジャーナリズム
	事後学習	AIを活用した記事作成ソフトについて理解し、AIと記者との分担を考える。
13	事前学習	事前にレポート提出し、授業で発表し、それをもとに討議する。
	授業内容	次世代のジャーナリズム (1) デジタル化
	事後学習	討議で得られた様々な視点を整理する。
14	事前学習	事前にレポート提出し、授業で発表し、それをもとに討議する。
	授業内容	次世代のジャーナリズム (2) グローバル化
	事後学習	討議で得られた様々な視点を整理する。
15	事前学習	後期学習した中で、関心を持ったテーマ、全体的感想に授業で各自発表できるように準備する。
	授業内容	まとめ (後期のレビュー) と各自の発表。
	事後学習	授業で得られた知識、知見等を今後の研究活動に活かしていく。

科目名	メディア理論演習 I	担当者	笹田 佳宏	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	本演習では、前期にメディア理論の総論的な検討を行います。後期は、最初にメディアの発展過程について俯瞰した後、各メディアごとにその理論を検討します。これまでの先行研究を再検討することを主眼とし、新たな知見に立って斬新的な理論を模索してみたいと考えています。演習に参加する院生諸君の積極的な研究を期待します。なお、この演習に参加する院生の人数によっては、内容の変更があります。						
授業目的・到達目標	メディアの基本的概念を習得し、メディアの将来を展望する能力を養って欲しい。						
履修条件	特にありません。						
授業方法	講座担当者が「授業計画」（下記）のテーマに従って解説し、それに対するの討論を行います。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	授業内での報告や課題レポート等で総合的に評価します。				
教科書	年	出版社	書名			著者名	
	備考	特にありません。適宜、プリント等を配付します。					
参考書	授業中に随時紹介します。						
オフィスアワー	原則的には火曜日の13時～16時。事前にメールで予約を取ってください。						

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	シラバスを読んでください。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	授業で出された課題を調べてください。
2	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	メディアの機能理論 I
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。
3	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	メディアの機能理論 II
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。
4	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	メディアの効果論 I
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。

5	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	メディアの効果論Ⅱ
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。
6	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	メディアの効果論Ⅲ
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。
7	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	メディアと政治Ⅰ
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。
8	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	メディアと政治Ⅱ
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。
9	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	メディアと社会Ⅰ
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。
10	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	メディアと社会Ⅱ
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。
11	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	メディアと法Ⅰ
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。
12	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	メディアと法Ⅱ
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。
13	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	メディアと法Ⅲ
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。
14	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	メディアと法Ⅳ
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。
15	事前学習	各授業でまとめ直した課題を読んでおいてください。
	授業内容	前学期総括
	事後学習	理解ができていない事項について、夏休み中に調べてください。

科目名	メディア理論演習Ⅱ	担当者	笹田 佳宏	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	後期は、最初にメディアの発展過程について俯瞰した後、各メディアごとにその理論を検討します。これまでの先行研究を再検討することを主眼とし、新たな知見に立って斬新的な理論を模索してみたいと考えています。演習に参加する院生諸君の積極的な研究を期待します。なお、この演習に参加する院生の人数によっては、内容の変更があります。						
授業目的・到達目標	メディアの基本的概念を習得し、メディアの将来を展望する能力を養って欲しい。						
履修条件	メディア理論演習Ⅰの単位取得者。						
授業方法	講座担当者が「授業計画」（下記）のテーマに従って解説し、それに対するの討論を行います。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	授業内での報告や課題レポート等で総合的に評価します。				
教科書	年	出版社	書名			著者名	
	備考	特にありません。適宜、プリント等を配付します。					
参考書	授業中に随時紹介します。						
オフィスアワー	原則的には火曜日の13時～16時。事前にメールで予約を取ってください。						

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	近代日本メディア理論の軌跡Ⅰ
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。
2	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	近代日本メディア理論の軌跡Ⅱ
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。
3	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	近代日本メディア理論の軌跡Ⅲ
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。
4	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	現代社会とメディア
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。

5	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	新聞メディア論Ⅰ
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。
6	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	新聞メディア論Ⅱ
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。
7	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	新聞メディア論Ⅲ
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。
8	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	放送メディア論Ⅰ
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。
9	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	放送メディア論Ⅱ
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。
10	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	放送メディア論Ⅲ
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。
11	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	放送メディア論Ⅳ
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。
12	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	出版メディア論Ⅰ
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。
13	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	出版メディア論Ⅱ
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。
14	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	出版メディア論Ⅲ
	事後学習	授業で行った解説・討論を基に、課題をまとめ直してください。
15	事前学習	授業で出された課題を調べてください。
	授業内容	総括
	事後学習	理解ができていない事項について、休み中に調べてください。

科目名	ジャーナリズム調査演習 I	担当者	佐幸 信介	期間	前期	単位数	1
-----	---------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	「調査」の方法論や認識論の基礎を学ぶ。①社会科学の方法論的基礎をワークショップ形式で行う。②統計データの収集と分析をワークショップ形式で行う			
授業目的・到達目標	メディア調査、社会調査に関する「質的調査」の基礎と方法論を学ぶことをとおして、実証研究の意義と意味、有効性を習得することを目的とする。「調査」をとおして調べることは、社会の「事実」と呼ぶことができるのか？ 調査をとおして分かることの可能性と限界とはどのようなものなのか？ こうした問いについて考えることがこの講義の課題となる。			
履修条件	テキストおよび他の資料の分析とその報告および議論を行うため、毎回の出席を必須とする			
授業方法	講義とディスカッション、映像分析とディスカッションの2軸で講義を組み立てる			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%	授業参加度、課題の提出で総合的に評価	
平常評価	100%			
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特になし		
参考書	講義で適宜紹介する			
オフィスアワー	水曜3限（13：00～14：30）			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	シラバスを確認してくること
	授業内容	ガイダンス（講義計画と統計データを分析する試み）
	事後学習	講義計画の概要を再確認すること
2	事前学習	前回の授業で提示した課題を準備する
	授業内容	見えないものを見る方法：概念とは？
	事後学習	講義の内容を確認して、質問事項などまとめておくこと
3	事前学習	前回の授業で提示した課題を準備する
	授業内容	実証研究とはどのようなものなのか？（帰納と演繹の経験科学）
	事後学習	講義の内容を確認して、質問事項などまとめておくこと
4	事前学習	前回の授業で提示した課題を準備する
	授業内容	論理と没論理性（関係をとらえる方法）
	事後学習	講義の内容を確認して、質問事項などまとめておくこと

5	事前学習	前回の授業で提示した課題を準備する
	授業内容	研究対象と方法の問題
	事後学習	講義の内容を確認して、質問事項などまとめておくこと
6	事前学習	前回の授業で提示した課題を準備する
	授業内容	資料・統計の収集① 「戦後社会の統計と社会の姿」
	事後学習	講義の内容を確認して、質問事項などまとめておくこと
7	事前学習	前回の授業で提示した課題を準備する
	授業内容	資料・統計の分析① 「戦後社会の統計と社会の姿」
	事後学習	分析した内容が十分か、ブラッシュアップしておくこと
8	事前学習	プレゼンテーション資料を準備する
	授業内容	資料・統計に基づくプレゼンテーション① 「戦後社会の統計と社会の姿」
	事後学習	プレゼンテーションに対するコメントをふまえ、不十分なところを補っておくこと
9	事前学習	前回の授業で提示した課題を準備する
	授業内容	資料・統計の収集② 「戦後メディアの統計と生活」
	事後学習	講義の内容を確認して、質問事項などまとめておくこと
10	事前学習	前回の授業で提示した課題を準備する
	授業内容	資料・統計の分析② 「戦後メディアの統計と生活」
	事後学習	分析した内容が十分か、ブラッシュアップしておくこと
11	事前学習	プレゼンテーション資料を準備する
	授業内容	資料・統計に基づくプレゼンテーション② 「戦後メディアの統計と社会の姿」
	事後学習	プレゼンテーションに対するコメントをふまえ、不十分なところを補っておくこと
12	事前学習	前回の授業で提示した課題を準備する
	授業内容	資料・統計の収集③ 「メディア表象作品と社会」
	事後学習	講義の内容を確認して、質問事項などまとめておくこと
13	事前学習	前回の授業で提示した課題を準備する
	授業内容	資料・統計の分析③ 「メディア表象作品と社会」
	事後学習	分析した内容が十分か、ブラッシュアップしておくこと
14	事前学習	プレゼンテーション資料を準備する
	授業内容	資料・統計に基づくプレゼンテーション③ 「メディア表象作品と社会」
	事後学習	プレゼンテーションに対するコメントをふまえ、不十分なところを補っておくこと
15	事前学習	前期で行ったプレゼンテーション資料を整理しておくこと
	授業内容	前期のまとめ（プレゼンテーションの見直し）
	事後学習	講義内でのコメントを確認しておくこと

科目名	ジャーナリズム調査演習Ⅱ	担当者	佐幸 信介	期間	後期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	ジャーナリズム調査演習Ⅰと同様に、「調査」の基礎と方法論を習得する。ジャーナリズム調査演習Ⅱでは、実際に調査計画を立てて、調査を実践的に学ぶ。2つのテーマを設定し、それぞれについての計画・調査・分析・考察作業を行う。どのようなテーマにするかは受講者と相談したうえで決定するが、メディア・テキストを選定すること、「戦後」「オリンピック」をキーワードとする。						
授業目的・到達目標	各自、メディア・テキスト分析の実際をマスターすること						
履修条件	実践的な作業を行うため、作業と出席することを必須とする。						
授業方法	講義とディスカッション、資料・映像分析とディスカッションを基本とする						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験	0%	授業参加度と課題提出によって総合的に評価				
	平常評価	100%					
教科書	年	出版社	書名	著者名			
	備考	特になし					
参考書	適宜、講義の中で提示する。参考書は量的にも多くなる予定。						
オフィスアワー	水曜3限（13：00～14：30）						

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	シラバスの確認をしていくこと
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	講義計画を確認する
2	事前学習	各自、分析したいメディア・テキストを選んでくる
	授業内容	テーマ・分析資料・テキストを設定する
	事後学習	選んだ対象が、分析に資するのかわ確認する
3	事前学習	調査・分析計画案を用意する
	授業内容	調査・分析計画を立てる
	事後学習	調査・分析計画をより綿密にする
4	事前学習	計画をわかりやすく整理していく
	授業内容	プレゼンテーション① 「調査・分析計画」の発表
	事後学習	プレゼンに対するコメントを確認しておく

5	事前学習	先行研究や知見を各自準備
	授業内容	先行研究や資料の収集の相互確認
	事後学習	資料収集で不十分なところを補う
6	事前学習	調査・分析計画案を準備
	授業内容	調査・分析計画を再立案する。A、Bの2つの案を立てる。Aは映像を中心としたもの、Bはフィールドを中心としたもの。
	事後学習	再立案した計画を補強する
7	事前学習	計画にもとづいた実査の準備
	授業内容	調査・分析A①
	事後学習	実査の結果をまとめる
8	事前学習	計画にもとづいた実査の準備
	授業内容	調査・分析A②
	事後学習	実査の結果をまとめる
9	事前学習	計画にもとづいた実査の準備
	授業内容	調査・分析A③
	事後学習	実査の結果をまとめる
10	事前学習	プレゼンの準備
	授業内容	調査・分析Aのプレゼンテーション
	事後学習	プレゼンに対するコメントの確認
11	事前学習	計画にもとづいた実査の準備
	授業内容	調査・分析B①
	事後学習	実査の結果をまとめる
12	事前学習	計画にもとづいた実査の準備
	授業内容	調査・分析B②
	事後学習	実査の結果をまとめる
13	事前学習	計画にもとづいた実査の準備
	授業内容	調査・分析B③
	事後学習	実査の結果をまとめる
14	事前学習	プレゼンの準備
	授業内容	調査・分析Bのプレゼンテーション
	事後学習	プレゼンに対するコメントの確認
15	事前学習	各自プレゼン内容を整理しなおす
	授業内容	後期のまとめ
	事後学習	調査の実際をマスターできたか、自己評価する

科目名	ジャーナリズム調査演習Ⅲ	担当者	高橋 俊一	期間	前期	単位数	1
-----	--------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	メディアの実際に基づく知識を習得を図り、ジャーナリストが取材現場で実際に何をしているのかを考察する。あわせてジャーナリスティックな実戦的センスを磨き、個々人の研究や進路編成に役立てる。			
授業目的・到達目標	インターンシップを具体化する内容を意識し、メディアの現場で日々展開されるニュース取材や原稿の執筆、記事作成の知識を実践的に習得することをめざす。記者の基本的行動パターンを研究しつつ、テーマに応じた取材方法の確認や原稿作りを試みる。同時に、ジャーナリズムの本質を見きわめ、現代的な記者のあり方をともに考えていく。新聞二紙で長く社会部記者を務めてきた講師の経験とノウハウと伝えながら、今日的な取材環境の激変にも対応できる実力への基盤づくりを図る。多様な進路選択を可能にし、専門分野への展開にも役立たせる。			
履修条件	とくにない。ニュースや社会に普通の関心を持っていただければいい。留学生も歓迎する。			
授業方法	講義とフィールドワーク、ディスカッション形式を軸に必要に応じて各紙、各メディアの比較分析も組み合わせる。朝日新聞社や他メディアへの見学会も適時、検討する。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%	学科内試験で定期試験にかえる。	
	平常評価	100%	50%：筆記試験またはレポート（基礎知識の習得度を中心に） 50%：取り組み方や意欲、ニュースへの感受性を評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	なし		
参考書	適時指定する。			
オフィスアワー	授業時間とその前後に適時実施する。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	事前にシラバスを確認しておくこと。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ニュースに広く接し、メディア全般に気を配っておく。
2	事前学習	幅広いニュースの摂取
	授業内容	報道とメディアの意義について
	事後学習	メディアの実像についてそれぞれに考えめぐらす。
3	事前学習	新聞の精読をできる範囲で。
	授業内容	新聞および新聞報道の特質
	事後学習	新聞やテレビ、ネットニュースの比較検討
4	事前学習	新聞の精読かテレビニュースの聴取をできる範囲で。
	授業内容	報道事例について研究
	事後学習	授業内容の再確認とニューロンの考察

5	事前学習	新聞の精読をできる範囲で。
	授業内容	報道事例について研究（続）
	事後学習	授業内容の再確認や関連情報の摂取をできる範囲で。
6	事前学習	新聞の精読やテレビニュースの聴取をできる範囲で。
	授業内容	報道と人権について
	事後学習	授業内容の再確認とニュース事例の探求
7	事前学習	新聞の精読をできる範囲で。
	授業内容	事例研究（続）
	事後学習	授業内容の再確認
8	事前学習	新聞の精読をできる範囲で。
	授業内容	調査報道の概要と基本知識
	事後学習	授業内容の再確認と新聞の精読
9	事前学習	新聞の精読をできる範囲で。
	授業内容	ニュースの社会的影響力とその分析
	事後学習	授業内容の再確認と新聞やテレビニュースの考察
10	事前学習	新聞やテレビのニュースについて考察
	授業内容	報道に自由について
	事後学習	授業内容の再確認
11	事前学習	ニュースの幅広い摂取
	授業内容	実践的研究：一般雑報と調査報道および調査原稿について
	事後学習	授業内容の再確認
12	事前学習	新聞やテレビニュースの摂取と検討考察
	授業内容	時事問題のデータ収集とその整理方法について
	事後学習	新聞の精読を通じた授業内容の再確認
13	事前学習	新聞の精読をできる範囲で。
	授業内容	時事問題のテーマ設定と紙面研究
	事後学習	授業内容の再確認とニュースの精読
14	事前学習	新聞の精読やテレビニュースの観察をできる範囲で。
	授業内容	各国の情報公開事例
	事後学習	授業内容の再確認
15	事前学習	授業内容全般の再確認
	授業内容	まとめと学科内試験
	事後学習	授業内容の再確認

科目名	メディア調査演習 I	担当者	島崎 哲彦	期間	前期	単位数	1
-----	------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	マス・コミュニケーションの実証研究にとっては、調査は重要な研究方法である。マス・メディア機関の実務においても、報道としての世論調査、広告や販売のための受け手調査は、マス・メディアの活動を支える重要な手段となっている。本授業では、定量調査を中心に調査全体の概要と調査の設計・実施・結果の分析の要点を講義し、集計等についてはコンピュータを用いて演習を行う。						
授業目的・到達目標	マス・メディアが公表する世論調査等の結果を的確に読み取る能力を習得することと、修士論文等に用いる調査を自ら設計・実施・結果を分析する能力を習得することを到達目標とする。						
履修条件	前期+後期でカリキュラム全体を網羅するので、学生は両学期とも履修すること。						
授業方法	講義と一部演習を行う。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	授業参加度について50%、授業内容の理解について50%				
教科書	年	出版社	書名	著者名			
	2015	学文社	『社会調査の実際-統計調査の方法とデータの分析-』第12版	島崎哲彦・大竹延幸			
	備考						
参考書	授業内で必要に応じて提示する。						
オフィスアワー	学生の相談等には、下記のアドレスのメールで対応する。 akihikos@xui.biglobe.ne.jp						

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書の「第1章社会調査とは」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	社会調査とは 社会調査の定義、効用と限界
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
2	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	調査倫理、調査の種類 個人情報の保護、定量調査と定性調査、悉皆調査と標本調査等
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
3	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	定量調査の一般的手順と調査の設計 手順の概略と要点
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
4	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	定量調査の設計 調査対象、調査方法、調査地域、調査実施期間等
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。

5	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	事実探索と仮説検証 調査票設計におけるアプローチの差異と得られる結果の差異
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
6	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	仮説から質問項目へ 仮説の構築→作業仮説→調査項目
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
7	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	標本抽出と推計 母集団と標本、確率比例抽出法、等確率抽出法、割り当て抽出法等
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
8	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	標本誤差 標本誤差の計算、信頼度、標本誤差に基づく標本数の設計、母集団の傾向の推計等
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
9	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	調査票の設計 尺度構成、回答形式等
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
10	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	調査の実施 調査実施にあたっての留意点、回収率と推計、インスペクション等
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
11	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	集計 集計計画、コーディング、データチェック、単純集計、クロス集計等
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
12	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	代表値 平均値、中央値、最頻値、分散、標準偏差等
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
13	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	相関関係 積率相関係数、順位相関係数等
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
14	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	検定 検定の考え方、t検定、 χ^2 検定等
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
15	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	報告書の作成 調査実施要領、調査結果のまとめ、調査結果のファインディング、グラフ化等
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、この回の授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。

科目名	メディア調査演習Ⅱ	担当者	島崎 哲彦	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	マス・コミュニケーションの実証研究にとっては、調査・実験は重要な研究方法である。また、マス・メディア機関の実務においても、報道にとっての世論調査、広告や販売にとっての受け手調査は、マス・メディアの活動を支える重要な手段となっている。本授業では、マス・コミュニケーション研究の視座に基づく統制者分析、メディア分析、受け手分析、効果分析についての実証的研究方法を講義し、各自の研究に用いる調査設計について演習を行う。			
授業目的・到達目標	大学院における各自の研究課題の実証研究に用いる調査・実験の設計能力を身につけ、それを実施・分析する能力を習得することを到達目標とする。			
履修条件	前期+後期でカリキュラム全体を網羅するので、学生は両学期とも履修すること。			
授業方法	講義と、学生各自による研究課題に用いる調査・実験の設計とその指導を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	授業参加度について50%、各自の調査・実験計画書の進展と完成度について50%	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2007	学文社	『マス・コミュニケーション調査の手法と実際』	島崎哲彦・坂巻善生編
	備考			
参考書	各自の研究課題に応じて提示する。			
オフィスアワー	学生の相談等には、下記のアドレスのメールで対応する。 akihikos@xui.biglobe.ne.jp			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	教科書の「第2章マス・コミュニケーション研究と調査の諸相」を事前に読んでおくこと。
	授業内容	帰納法・演繹法と調査・実験
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
2	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	マス・コミュニケーションの視座と研究方法(1) 誰が、何について、いかなる通路を通じて、誰に対して、いかなる効果を狙って
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
3	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	マス・コミュニケーションの視座と研究方法(2) 統制者分析、内容分析、メディア分析、受け手分析、効果分析
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
4	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	統制者分析 送り手調査の実際
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。

5	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	メディア分析 メディアと情報内容の特性に関する調査の実際
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
6	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	内容分析(1) 量的分析の実際
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
7	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	内容分析(2) 質的分析の実際
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
8	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	メディア分析 メディア特性と受け手特性の調査の実際
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
9	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	効果分析(1) メディア接触レベルの調査の実際
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
10	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	効果分析(2) 受け手の態度変容レベルの調査の実際
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
11	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	効果分析(3) 利用と満足調査の実際
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
12	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	学生各自による調査・実験計画書の作成と指導(1) 研究目的と調査・実験手法の選択等
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
13	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	学生各自による調査・実験計画書の作成と指導(2) 調査・実験の仮説の妥当性等
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
14	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	学生各自による調査・実験計画書の作成と指導(3) 仮説と調査・実験内容の整合性等
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、次回授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。
15	事前学習	教科書の授業該当部分を事前に読んでおくこと。
	授業内容	学生各自による調査・実験計画書の作成と指導(4) 調査・実験の具体的内容と実現性等
	事後学習	教科書の授業終了部分について再読し、理解できたかを確認すること。理解できない部分については、この回の授業終了時にわからない部分を具体的に質問すること。

科目名	メディア調査演習Ⅲ	担当者	柴田 秀一	期間	後期	単位数	1
-----	-----------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	本講義は、放送局のインターンシップを授業で具体化するもので、テレビ番組の制作の現場等の見学や実際の放送番組を通じて、テレビ放送、とりわけ報道や情報番組の抱える問題点を明らかにするとともに、今後のテレビ放送の課題を明らかにする。			
授業目的・到達目標	テレビ制作の現場におけるさまざまな問題点を整理しながら、テレビ・メディアの問題点を探るのを目的とする。マス・メディアへの就職や研究者等を目指す受講者へ、テレビ・ラジオ等放送業の基本的な構造と問題点を習得することを目標とする。			
履修条件	一年次生対象			
授業方法	講義と受講生との議論、レポート発表、放送局見学を通して放送の実際を知る。番組制作等の担当者や管理者をゲストとして呼び、質疑応答、議論を深め、受講生は自ら放送を目指す番組企画書の発表をする。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	授業態度、授業内レポート提出、番組企画書の発表などを総合して評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特になし		
参考書	必要に応じて適宜指示する。			
オフィスアワー	質問等は講座中示すインターネット・アドレスで、随時受け付ける。対面質問も受けるが、メール等で予約することを条件とする。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	ニュース・情報・ドラマスポーツ・バラエティー等様々なテレビ番組を見ておく。どんな番組に興味を持ち、どんなテレビ番組が放送されたら見たいと思うか、あらかじめ考えておく。
	授業内容	オリエンテーション 番組企画書の説明及び発表日程の指示
	事後学習	番組企画書の詩が書きを書いてみる。
2	事前学習	「ビデオリサーチ社」のホームページにアクセスして、視聴率について調べておく。
	授業内容	テレビの抱える問題①：視聴率 視聴率とは、調査方法、調査会社、視聴率日報、番組制作と視聴率と営業・CM何故1%にこだわるか
	事後学習	「ビデオリサーチ社」のホームページでタイムシフト視聴の具体的な数字を見てみる。各放送局のホームページを見比べてみる。
3	事前学習	テレビCMを見る。どんな番組にどんなCM流れているか。どの時間帯にどんな商品・企業のCMが流れているか比較してみる。
	授業内容	テレビの抱える問題②：収入と支出、CMと営業 時間を売るとは何か。
	事後学習	スポンサーと番組との組み合わせについて考えてみる。
4	事前学習	各局のホームページから、番組表を見る。一週間の時間帯別の番組表で生活時間と番組の関係を考える。
	授業内容	テレビ番組の制作①：編成とは何か・ ニュース・情報番組・バラエティー番組・スポーツ番組等について
	事後学習	自分の興味のある番組は、どんな時間帯にどういう形で放送されているか知る。また、何故そうなっているかを考える。

5	事前学習	興味のある番組の構成を考える。喋り中心か、それともビデオ構成か、生放送か、録画か。何故そうなっているか考える。
	授業内容	テレビ番組の制作②：企画と企画書制作 番組制作の端緒は何か
	事後学習	自分が良く見る番組は何故面白いのか考える。番組構成は、出演者は、スタジオセットは。番組を通して何が求められているか。
6	事前学習	定時ニュースを何日か続けてみておく。「ストレートニュース」と言われる情報番組内、あるいは独立枠でコメント等をさしはさまない形式でそれまで起きたニュースを何項目か続けて放送するものだが、その項目構成を見ておく。
	授業内容	テレビ番組の制作③：ニュース番組が出来るまで ニュースは何処から情報を取りどのように放送するか。
	事後学習	各放送局の昼、夕方のニュースを見比べてみて、同じニュースも項目順が違っていたり、会見やインタビュー、「ぶら下がり」と呼ばれる議員や著名人の政務、仕事の合間に立ち話形式の質疑応答も使われる場所が変わったりすることを知る。
7	事前学習	各放送局のニュースサイト（ホームページからアクセス）で原稿内容と映像内容を比較してみる。どんな違いがあるか。
	授業内容	テレビ番組の制作④：ニュース取材の手法 実例に基づく取材手法
	事後学習	取材で注意すべきことは何か、取材は何の菜目にするか、もう一度まとめてみる
8	事前学習	メディアスクラムとは何か。どんな例があったか調べてみる。
	授業内容	テレビの抱える問題③：報道倫理 名誉毀損、メディアスクラムは何故おこるか
	事後学習	世の中の関心事にメディアスクラムは起こるが、そうならない為には何が必要かここに考えてみる。
9	事前学習	BPOについて調べておく
	授業内容	テレビの抱える問題④：BPOと放送倫理 放送されることが増えたBPOとは何か
	事後学習	テレビ番組を見て、その番組に倫理的問題点があるとすれば何か考える。
10	事前学習	テレビ番組の作られ方放送のされ方について調べてみる。
	授業内容	テレビ番組の制作⑤：TV局現場の見学
	事後学習	見学結果を踏まえて、入ったスタジオでの放送番組をテレビ番組として見てみる。
11	事前学習	放送収入と放送外収入について調べる。
	授業内容	テレビ局の放送外事業とWeb、携帯電話やインターネット事業等、 Webとテレビの関係（放送マーケティングの現場）
	事後学習	実際に放送局が開催しているイベントに行ってみる。
12	事前学習	NHKの組織と収入源を調べる。
	授業内容	NHKと民間放送 受信料の徴収とCM料収入の資金調達手法の違いとそれぞれが抱える問題。
	事後学習	改めて民間放送とNHKの収入について手法の違いと求められる事を考えてみる。
13	事前学習	AbemaTV、NETFLIX、Paravi、GYAO などの番組ラインナップや番組を見てみる。
	授業内容	ペイテレビ、動画配信事業とテレビ、テレビのニュービジネス
	事後学習	同一会社が有料放送と地上デジタル無料放送をしている二面性について考えてみる。
14	事前学習	これまで、研究してきたテレビの内情と自らの興味から、新しい番組について企画書を書く。
	授業内容	テレビ番組の企画②：報告とディスカッション 課題の企画書発表 今伝えるべきレポートとパフォーマンス
	事後学習	発表について、評価や注意を受けた部分を手直し
15	事前学習	これまでの講座でのやり取りを振り返る。
	授業内容	まとめと質疑応答
	事後学習	自分の企画書と放送されている実際の番組とを比べてみる。

科目名	専門演習(研究指導)	担当者	岩淵 美克	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	日本政治を中心として、日本のジャーナリズムのみならず、その他のコミュニケーションを用いた政治に対する、政治からの情報について深く学びます。受講生は、日本の政治、政治番組、政治記事などを良く観ることが肝心です。そのためには、テレビ、新聞のみならず、日本のメディア報道を十分に理解できる日本政治の知識を最低限必要とします。						
授業目的・到達目標	修士論文を含め、広く論文作成のためのアプローチ、テーマ設定、先行研究のレビュー、作業仮説の構築、検証、分析等、論文が完成するまでの一連の作業について指導する。その際、作業工程表を作成させ、節目節目に立ち止まり、作業の反省と修正を行いながら、論文完成までの工程を明示することを目指す。2年修了時に、学術論文として高い評価を得られるような修士論文を作成すること。						
履修条件	特に指定しないが、政治とりわけ日本の政治や世論、メディアに高い関心の持つ学生の履修を希望する。						
授業方法	講義形式で行う。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	ただし、修士論文をもって評価とする。				
教科書	年	出版社	書名	著者名			
	30年度		適宜、講義。内容によって紹介する。				
	31年度		適宜、講義。内容によって紹介する。				
	備考						
参考書	適宜、講義。内容によって紹介する。						
オフィスアワー	12:30~14:30 特に予約の必要はありませんが、急用等がある場合には閉室とします。必要に応じてHPにあるメールアドレスで、在室の確認をしてください。						

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	その週までに行われた政治報道や政治番組を見て、特に気になったことを記録する。
	授業内容	ガイダンス井
	事後学習	講義の目的 指導の内容を、十分理解する。
2~4	事前学習	自分の関心にしがって修士論文となるテーマを考えてくる
	授業内容	個人発表 先行研究のレビュー
	事後学習	発表に対する指導教授、他に学生の意見も参考になるものとならないものを整理する。
5~12	事前学習	方法論に対する参考書を熟読して来る。 参考書を熟読すること
	授業内容	方法論
	事後学習	実際に方法論にしがって、実践してくる
13~20	事前学習	必要なデータをできるだけ収集し、項目ごとにファイル化する。
	授業内容	データ収集と整理
	事後学習	データの整理してくる。

21～30	事前学習	データをまとめて、プレ実験を行い、方法論の整合性を取る
	授業内容	データのまとめと予測
	事後学習	データから予測されることを考える。
31～34	事前学習	データの分析にどのような方法論を用いるか再考する。
	授業内容	データ分析の方法
	事後学習	その方法論の整合性を理解する。
35～41	事前学習	方法論にしたがって、データ処理の予行を行う。
	授業内容	データ処理
	事後学習	データ処理の結果を明らかにし、結論を導く。
42～45	事前学習	自らの分析結果を提示し、結果についての指導教授の始動を受ける。
	授業内容	分析結果の提示
	事後学習	指導にもとづき、自らの示した結果について再考する。
46～54	事前学習	結果の考察をまとめてくる。
	授業内容	分析結果の考察
	事後学習	考察結果への意見をまとめて、考察したことをまとめる。
55～58	事前学習	修士論文についての補完資料を考察する。
	授業内容	データの補完とデータ処理 総合的な考察；結論
	事後学習	補完データの収集を行う。
59～60	事前学習	修士論文をまとめる。
	授業内容	最終報告 報告書・論文の提出
	事後学習	修士論文を提出する。

科目名	専門演習(研究指導)	担当者	大井 眞二	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	学位論文作成のために求められる、研究へのアプローチ、テーマ設定、先行研究の批判的レビュー、論文構成、などの重要な手続や方法を学ぶ						
授業目的・到達目標	第1に、アプローチ、テーマ設定、先行研究の批判的レビュー、論文構成、などの重要な手続や方法を指導すること、第2に、テーマに関わる資料の収集だけでなく、資料の批判、文献の読み込み方、関連する諸理論の整理を初めとする、さまざまな事項に関して指導することを目的とする。						
履修条件	ジャーナリズム史特殊研究・メディア史特殊研究の履修						
授業方法	具体的な研究テーマを掘り下げる学位論文作成のため、きめ細かな個別指導を中心とする。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	課題発表(50%) 課題レポート(50%)				
教科書	年	出版社	書名			著者名	
	備考	特になし					
参考書	各授業の折に適宜紹介する。						
オフィスアワー	水曜日の午後1時半から2時半 あらかじめメールで用件の概要を伝えアポをとること。						

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	シラバスの熟読
	授業内容	授業上の諸注意、授業概要、文献紹介
	事後学習	リアクションペーパーの作成
2～4	事前学習	課題図書(1)の批判的レビュー
	授業内容	研究の手続き
	事後学習	リアクションペーパーの作成
5～12	事前学習	課題図書(2)の批判的レビュー
	授業内容	研究の手続き リサーチフロンティア
	事後学習	リアクションペーパーの作成
13～20	事前学習	テーマ報告の事前準備
	授業内容	論文テーマ報告と個別指導 メディアと社会の理論 メディア中心のアプローチ
	事後学習	リアクションペーパーの作成

21～30	事前学習	課題図書(3)の批判的レビュー
	授業内容	社会中心的アプローチ
	事後学習	リアクションペーパーの作成
31～34	事前学習	課題図書(4)の批判的レビュー
	授業内容	メディアと社会の統合的アプローチ リサーチフロンティア
	事後学習	リアクションペーパーの作成
35～41	事前学習	論文構成報告の事前準備
	授業内容	論文構成報告と個別指導 研究方法論
	事後学習	リアクションペーパーの作成
42～45	事前学習	課題図書(5)の批判的レビュー
	授業内容	研究方法論
	事後学習	リアクションペーパーの作成
46～54	事前学習	論文構成報告(1)と参考文献チェック
	授業内容	研究方法論
	事後学習	リアクションペーパーの作成
55～58	事前学習	論文構成報告(2)と史資料チェック
	授業内容	研究発表と討論
	事後学習	リアクションペーパーの作成
59～60	事前学習	論文ドラフトチェック
	授業内容	研究発表と個別指導
	事後学習	論文最終修正

科目名	専門演習(研究指導)	担当者	小林 義寛	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	学位論文作成のため、アプローチ、テーマ設定、先行研究のレビュー、論文構成、などの重要な手続や方法を指導する。その際、テーマに関わる資料の収集はもとより、資料・文献の読み込み方、関連する先行研究の整理など、具体的に学術論文を作成する手続や技法を指導する。			
授業目的・到達目標	論文作成の諸過程において、研究の進捗状況に関する報告を義務づけ、過程に応じた指導を行う。その結果として、修士論文を完成すること（社会科学における修士論文は感想文ではないことが前提である）。			
履修条件	社会学、文化理論、メディア理論の基礎知識を修得済みの者。			
授業方法	講義と演習を併用した形式で行う。履修者の学問関心を優先し、当該関心を社会科学における論文とする方途を指示する。科学性と論理性を常に問う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	平生の発表内容と最終論文の成果内容	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	とくにない。		
参考書	適宜指示する。			
オフィスアワー	水曜5限			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	研究テーマを明確にしておく。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	年間スケジュールのなかで、研究の進行過程を位置づける。
2～4	事前学習	研究テーマ、問題意識、方法を確認する。
	授業内容	研究の目的の設定 方法論の検討 先行研究の検討
	事後学習	研究テーマに即して方法論の検討、先行研究の探索をおこなう。
5～12	事前学習	問題意識を明確にしておく。
	授業内容	仮説ないしは問題意識の再確認 研究テーマの決定 論文概要の中間報告 1
	事後学習	中間報告での問題点、不足点などを確認し、修正や深化へむけて展開する。
13～20	事前学習	研究テーマ、方法論、章立てなどを明確にする。
	授業内容	論文指導
	事後学習	問題点を整理し、深化、展開を図る。

21～30	事前学習	現状の到達点を整理しておく。
	授業内容	論文指導 中間報告 2
	事後学習	問題点を整理し、深化、展開を図る。
31～34	事前学習	章立てに合わせた展開を整理する。
	授業内容	論文指導
	事後学習	問題点を整理し、深化、展開を図る。
35～41	事前学習	章立てに合わせた展開を整理する。
	授業内容	論文指導
	事後学習	問題点を整理し、深化、展開を図る。
42～45	事前学習	章立てに合わせた展開を整理する。
	授業内容	論文指導 中間報告 3
	事後学習	問題点を整理し、深化、展開を図る。
46～54	事前学習	具体的な執筆上の問題点の整理。
	授業内容	論文指導
	事後学習	執筆。
55～58	事前学習	具体的な執筆上の問題点の整理。
	授業内容	論文指導
	事後学習	執筆。
59～60	事前学習	具体的な執筆上の問題点の整理。
	授業内容	論文指導 論文の完成、報告
	事後学習	口頭試問へむけての準備。

科目名	専門演習(研究指導)	担当者	塚本 晴二郎	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	--------	----	----	-----	---

授業概要	研究テーマに関わる資料の収集はもとより、資料・文献の読み込み方、関連する先行研究の整理など、具体的に学術論文を作成する手続や技法を指導する。また論文作成の諸過程において、研究の進捗状況に関する報告を義務づけ、過程に応じた指導を行い修士論文の完成につなげる。			
授業目的・到達目標	学位論文作成のため、アプローチ、テーマ設定、先行研究のレビュー、論文構成、などの重要な手続や方法を体得する。			
履修条件	特になし			
授業方法	演習形式で行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験			
	平常評価	100%	修士論文の完成度100%。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	備考	特になし。		
参考書	適宜指示する。			
オフィスアワー	原則的に月曜日の昼休みだが、柔軟に対応したいので、必ずメールにて予約を取って欲しい。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	自身の研究計画を明確に説明できるようにする。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンス内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。
2~4	事前学習	質問事項の整理、および先行研究と方法論の確認をしておく。
	授業内容	研究目的の設定 方法論の検討 先行研究の検討
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。
5~12	事前学習	前回までの講義を踏まえ、研究計画を修正しておく。
	授業内容	仮説ないしは問題意識の再確認 研究テーマの決定 論文概要の中間報告 1
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。
13~20	事前学習	必要な先行研究に関するレビューを完了しておく。
	授業内容	論文指導 : 先行研究の読み方 論文指導 : 仮説の検討
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。

21～30	事前学習	仮説に至る過程を中心に、報告の準備をしておく。
	授業内容	論文指導 : 仮説の表現 論文指導 : 仮説の設定 中間報告 2
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。
31～34	事前学習	方法論に関する報告の準備をしておく。
	授業内容	論文指導 : 方法論
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。
35～41	事前学習	必要な資料・データ等をすべてそろえ、内容を理解しておく。
	授業内容	論文指導 : 分析
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。
42～45	事前学習	一通り研究をすすめ、報告の準備をしておく。
	授業内容	中間報告 3
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。
46～54	事前学習	分析等すべての研究過程を終えて、一先ず最終的な報告ができる状態にする。
	授業内容	論文指導 : 分析結果の検討 論文指導 : 分析結果の修正
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。
55～58	事前学習	論文を書き上げ、内容のチェックを受けられる状態にしておく。
	授業内容	論文指導 : 分析結果の修正 論文指導 : 表記方法の確認
	事後学習	講義内容を確実に理解する。疑問点は整理し次回の講義で質問できるようにまとめる。
59～60	事前学習	修正を完了し、論文を完成させておく。
	授業内容	論文指導 : 総括 論文の完成、報告
	事後学習	指摘された点を修正する。論文を完成させる。

科目名	専門演習(研究指導)	担当者	福田 充	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	------	----	----	-----	---

授業概要	修士論文を含めたさまざまな論文作成のためのアプローチを学ぶために、研究計画に沿って、テーマ設定、先行研究のレビュー、仮説の構築、調査の実施、データ分析等、論文が完成するまでの一連の作業について指導する。とくにメディアの社会的効果、影響に関する実証研究に焦点をあてる。研究における作業工程表を作成し、定期的に研究成果の中間報告を行いながら、論文完成までの工程を自主管理する能力の構築を目指す。			
授業目的・到達目標	修士論文を執筆するために必要なあらゆる能力を身につけることを目標とする。研究テーマを設定し、先行研究のレビュー、仮説の構築、調査の実施、データ分析等、論文が完成させるために必要な能力を身につける。			
履修条件	大学院新聞学研究科の大学院生であること。			
授業方法	講義形式を中心に、参加者による研究報告、共同討議を交えながら授業を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	授業への参加度を重視する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2010	北樹出版	『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』	福田充
	2010	慶應義塾大学出版会	『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』	福田充
	備考			
参考書	福田充(2009)『メディアとテロリズム』新潮新書。			
オフィスアワー	水曜日1限。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前読解。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	個人研究レジュメ作成。
2～4	事前学習	教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前読解。
	授業内容	個人発表・研究テーマの設定 問題意識と研究方法
	事後学習	個人研究レジュメ作成。
5～12	事前学習	教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前読解。
	授業内容	先行研究の収集と使用・レビュー 研究対象の確定
	事後学習	個人研究レジュメ作成。
13～20	事前学習	教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前読解。
	授業内容	仮説の提示 調査実施方法
	事後学習	個人研究レジュメ作成。

21～30	事前学習	教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前読解。
	授業内容	調査票の作成と実査 中間報告
	事後学習	個人研究レジюме作成。
31～34	事前学習	教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前読解。
	授業内容	調査データの管理と編集作業 データ処理
	事後学習	調査データの分析作業を実施。
35～41	事前学習	教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前読解。
	授業内容	データ分析 分析結果の考察
	事後学習	調査データの分析作業を実施。
42～45	事前学習	教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前読解。
	授業内容	第二次中間報告 論文におけるデータの使用と解釈
	事後学習	修士論文の執筆。
46～54	事前学習	教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前読解。
	授業内容	論文の構成と目次の作成 修正報告
	事後学習	修士論文の執筆。
55～58	事前学習	教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前読解。
	授業内容	データの修正と再分析 仮説の検証結果の検討
	事後学習	修士論文の執筆。
59～60	事前学習	教科書『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』の事前読解。
	授業内容	最終報告 報告書・論文の提出
	事後学習	修士論文の執筆。

科目名	専門演習(研究指導)	担当者	山本 賢二	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	中国(台湾、華人圏を含む)、日中関係、中米関係などに結び付け、メディア・ジャーナリズム・コミュニケーション・輿論・宣伝・広報・インテリジェンス・情報などをキーワードにし、論文テーマを設定する。例えば次のようなテーマが考えられる。中国のメディアコントロール、中国のジャーナリズムの特色、ジャーナリズム思想、ネット輿論、日中のコミュニケーションギャップ、中国の対外宣伝、中日米広報外交比較、情報に対する権利など。						
授業目的・到達目標	研究テーマについて、修士論文として完成させるため、先行研究の評価、論文作成に必要な資料の利用可否など、議論しながら、科学論文作成の基礎をつくる。						
履修条件	特になし。						
授業方法	研究の進捗に合わせて報告させ、随時研究方法・方向を修正し、論文完成に努める。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	50%：レポート試験(中間発表を評価対象にする。) 50%：指導を受ける際の課題解決の取り組み方。				
教科書	年	出版社	書名	著者名			
	2018	学生教員共有サイト掲載	中国メディア・ジャーナリズム論集1・2・3	山本賢二			
	備考						
参考書	適宜指示する。						
オフィスアワー	月曜日と木曜日の12時30分から13時まで本館9階1918山本研究室。時間が必要な場合は、別の時間を設定するので、事前に下記のアドレスに連絡すること。 yamamoto.kenji@nihon-u.ac.jp						

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	研究テーマについて考える。
	授業内容	ガイダンス(研究テーマの可能性)
	事後学習	研究テーマを修正する。
2~4	事前学習	自らの研究テーマに関する資料を集め、分析評価する。
	授業内容	研究目的の設定 方法論の検討 先行研究の検討
	事後学習	研究テーマを修正する。
5~12	事前学習	自らの研究テーマに関する資料を集め、分析評価する。
	授業内容	仮説ないしは問題意識の再確認 研究テーマの決定 論文概要の中間報告 1
	事後学習	確定した研究テーマにそって論文構成をまとめる。
13~20	事前学習	研究テーマに関する資料を集め、分析評価する。
	授業内容	論文指導
	事後学習	論文指導内容をまとめ、研究内容を深化させる。

21～30	事前学習	研究テーマに関する資料を集め、分析評価する。
	授業内容	論文指導 中間報告(院生合同研究発表会) 2
	事後学習	論文指導内容をまとめ、研究内容を深化させる。
31～34	事前学習	研究テーマに関する資料を集め、分析評価する。
	授業内容	論文指導
	事後学習	論文指導内容をまとめ、研究内容を深化させる。
35～41	事前学習	研究テーマに関する資料を集め、分析評価する。
	授業内容	論文指導
	事後学習	論文指導内容をまとめ、研究内容を深化させる。
42～45	事前学習	研究テーマに関する資料を集め、分析評価する。
	授業内容	論文指導 中間報告 3
	事後学習	論文指導内容をまとめ、研究内容を深化させる。
46～54	事前学習	論文の初稿をまとめる。
	授業内容	論文指導
	事後学習	論文の推敲を行う。
55～58	事前学習	論文の二稿をまとめる。
	授業内容	論文指導
	事後学習	論文の推敲を行う。
59～60	事前学習	論文の完成稿をまとめる。
	授業内容	論文指導 論文の完成、報告
	事後学習	論文の推敲を行う。

科目名	ジャーナリズム理論特殊研究(実証)	担当者	福田 充	期間	通年	単位数	2
-----	-------------------	-----	------	----	----	-----	---

授業概要	ジャーナリズムとメディアに関する理論的研究を実施するために必要な実証研究の方法について学ぶ。とくに社会調査のデータ分析を中心に、理論的かつ実証的なアプローチでジャーナリズム研究を実施する方法論を学ぶ。			
授業目的・到達目標	自力でアンケート調査やインタビュー調査を実施し、量的データの分析および質的データの分析を行い、そのデータをもとに論文を執筆する能力を身につけることを目標とする。			
履修条件	大学院新聞学研究科博士後期過程の大学院生であること。			
授業方法	課題として扱う教科書や論文を受講生が発表し、議論を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	毎回実施する研究発表を総合的に評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2010	北樹出版	『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』	福田充
	2010	北樹出版	『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』	福田充編
	備考			
参考書	福田充 (2009) 『メディアとテロリズム』 (新潮新書) . 福田充 (2010) 『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』 (慶応義塾大学出版会) .			
オフィスアワー	水曜日 1 限。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	指定教科書の熟読。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	研究発表レジュメの作成。
2	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの理論的研究の方法①
	事後学習	研究発表レジュメの作成。
3	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの理論的研究の方法②
	事後学習	研究発表レジュメの作成。
4	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの理論的研究の方法③
	事後学習	研究発表レジュメの作成。

5	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの理論的研究の方法④
	事後学習	研究発表レジュメの作成。
6	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの理論的研究の方法⑤
	事後学習	研究発表レジュメの作成。
7	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の方法①
	事後学習	研究発表レジュメの作成。
8	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の方法②
	事後学習	研究発表レジュメの作成。
9	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の方法③
	事後学習	研究発表レジュメの作成。
10	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の方法④
	事後学習	研究発表レジュメの作成。
11	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の方法⑤
	事後学習	研究発表レジュメの作成。
12	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	実証研究に必要な社会調査と調査計画
	事後学習	研究発表レジュメの作成。
13	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	調査の実施とデータ処理
	事後学習	研究発表レジュメの作成。
14	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	データ分析の方法① 単純集計と記述統計
	事後学習	研究発表レジュメの作成。
15	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	データ分析の方法② 多変量解析：クロス分析
	事後学習	研究発表レジュメの作成。
16	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	データ分析の方法③ 多変量解析：分散分析
	事後学習	研究発表レジュメの作成。

17	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	データ分析の方法④ 多変量解析：相関分析
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
18	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	データ分析の方法⑤ 多変量解析：因子分析
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
19	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	データ分析の方法⑥ 多変量解析：重回帰分析
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
20	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	実証研究の先行研究レジユメ発表①
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
21	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	実証研究の先行研究レジユメ発表②
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
22	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	実証研究の先行研究レジユメ発表③
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
23	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	実証研究の先行研究レジユメ発表④
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
24	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	実証研究の先行研究レジユメ発表⑤
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
25	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	実証研究の先行研究レジユメ発表⑥
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
26	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	実証研究の先行研究レジユメ発表⑦
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
27	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	実証研究の先行研究レジユメ発表⑧
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
28	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	実証研究の先行研究レジユメ発表⑨
	事後学習	研究発表レジユメの作成。

29	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	実証研究の先行研究レジュメ発表⑩
	事後学習	研究発表レジュメの作成。
30	事前学習	先行研究の収集と熟読。
	授業内容	まとめと総括
	事後学習	研究発表レジュメの作成。

科目名	ジャーナリズム理論特殊演習(実証)	担当者	福田 充	期間	通年	単位数	2
-----	-------------------	-----	------	----	----	-----	---

授業概要	ジャーナリズムとメディアに関する理論研究を実施するために必要な実証研究的アプローチを身につけるために、実際の社会調査を実施し、その調査データを分析して論文を作成する。ジャーナリズムとメディアに関する実証研究論文を作成する過程を演習として実践する。			
授業目的・到達目標	受講生が自分自身で研究テーマを設定し、リサーチクエスションと仮説を構築した上で、実証研究を実施し、データ分析の手法を学び、論文を作成する能力を身につける。			
履修条件	大学院新聞学研究科の博士後期過程の大学院生であること。			
授業方法	受講生が実際に社会調査を実施し、その調査データをもとに論文を作成し完成させる。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	0%		
	平常評価	100%	毎回実施する社会調査演習の成果を評価する。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2010	北樹出版	『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』	福田充
	2012	北樹出版	『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』	福田充
	備考			
参考書	福田充 (2010) 『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』 (慶應義塾大学出版会) . その他の参考書は演習中に適宜紹介する。			
オフィスアワー	水曜日 1 限。			

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	研究発表レジュメの作成。
2	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究に関する先行研究発表①
	事後学習	研究発表レジュメの作成。
3	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究に関する先行研究発表②
	事後学習	研究発表レジュメの作成。
4	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究に関する先行研究発表③
	事後学習	研究発表レジュメの作成。

5	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究に関する先行研究発表④
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
6	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究に関する先行研究発表⑤
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
7	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の実施① 問題意識
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
8	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の実施② 研究対象の設定
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
9	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の実施③ 研究方法の構築
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
10	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の実施④ リサーチクエスションと仮説
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
11	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の実施⑤ 調査実施とデータ分析
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
12	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の実施⑥ 論文の作成
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
13	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の実施⑦ 論文の作成
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
14	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究の実施⑧ 論文の作成
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
15	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	前期のまとめと総括
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
16	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成①
	事後学習	実証研究論文の作成作業。

17	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成②
	事後学習	実証研究論文の作成作業。
18	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成③
	事後学習	実証研究論文の作成作業。
19	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成④
	事後学習	実証研究論文の作成作業。
20	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成⑤
	事後学習	実証研究論文の作成作業。
21	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成⑥
	事後学習	実証研究論文の作成作業。
22	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成⑦
	事後学習	実証研究論文の作成作業。
23	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成⑧
	事後学習	実証研究論文の作成作業。
24	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成⑨
	事後学習	実証研究論文の作成作業。
25	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成⑩
	事後学習	実証研究論文の作成作業。
26	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成⑪
	事後学習	実証研究論文の作成作業。
27	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成⑫
	事後学習	実証研究論文の作成作業。
28	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成⑬
	事後学習	実証研究論文の作成作業。

29	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの実証研究論文の作成⑭
	事後学習	実証研究論文の作成作業。
30	事前学習	先行研究の収集とまとめ。
	授業内容	まとめと総括
	事後学習	実証研究論文の作成作業。

科目名	ジャーナリズム理論特殊演習(規範)	担当者	塚本 晴二郎	期間	通年	単位数	2
-----	-------------------	-----	--------	----	----	-----	---

授業概要	ジャーナリズムの規範理論の基礎を前提として、そうした研究の方法論を追求する						
授業目的・到達目標	。ジャーナリズムの規範理論の基礎を前提とした研究の方法論の体得をめざす。						
履修条件	学部レベル、大学院前期レベル、でそれぞれに対応する規範理論の基礎を学んできた者に限る。						
授業方法	演習形式						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	講義臨む姿勢と、毎回課す課題に対する対応。				
教科書	年	出版社	書名	著者名			
	備考						
参考書	適宜に指定する。						
オフィスアワー	原則的に月曜日の昼休みだが、柔軟に対応したいので、必ずメールにて予約を取って欲しい。						

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	前期課程のメディア倫理特殊講義の内容を確認する。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	ガイダンス内容を確実に把握する。
2	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズムの位置づけ①
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
3	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズムの位置づけ②
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
4	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズムの位置づけ③
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。

5	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	倫理と法の位置づけ①
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
6	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	倫理と法の位置づけ②
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
7	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	倫理と法の位置づけ③
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
8	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズムと徳倫理学①
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
9	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズムと徳倫理学②
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
10	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズムと徳倫理学③
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
11	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズムと徳倫理学④
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
12	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズムと徳倫理学⑤
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
13	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズムと功利主義①
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
14	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズムと功利主義②
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
15	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズムと功利主義③
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
16	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズムと功利主義④
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。

17	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズムと功利主義⑤
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
18	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズムと義務倫理学①
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
19	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズムと義務倫理学②
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
20	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズムと義務倫理学③
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
21	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズムと義務倫理学④
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
22	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズムと義務倫理学⑤
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
23	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズムとコミュニタリアニズム倫理学①
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
24	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズムとコミュニタリアニズム倫理学②
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
25	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズムとコミュニタリアニズム倫理学③
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
26	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズムとコミュニタリアニズム倫理学④
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
27	事前学習	前回の指示内容を予習しておく
	授業内容	ジャーナリズムとコミュニタリアニズム倫理学⑤
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。
28	事前学習	全講義の疑問点を整理しておく
	授業内容	まとめ
	事後学習	講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず次回講義で質問するための準備をする。

29	事前学習	前回講義を踏まえて質問事項を整理しておく
	授業内容	質疑応答
	事後学習	質問に対する回答を理解し整理しておく。
30	事前学習	全講義内容を復習しておく。
	授業内容	総括
	事後学習	全講義の内容を確実に把握する。 疑問点は必ず質問して解決する。

科目名	ジャーナリズム制度特殊研究(比較)	担当者	山本 賢二	期間	通年	単位数	2
-----	-------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	中国の記者・研究者の日本のジャーナリズム・メディアに対する論考を読み、中国に映る日本のジャーナリズム・メディア像を概観する。						
授業目的・到達目標	中国の記者・研究者の日本のジャーナリズム・メディア研究の現状を理解し、いかなる問題点があるのかを探り、比較するための変数を考える。						
履修条件	授業で使用する言語は中国語と日本語であり、中国語が理解できることが望ましいが、日本語だけでも受講に支障はない。						
授業方法	記事・論文を読み、内容について議論し、問題点を指摘する。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	授業参与度50%、レポート（「中国の日本のジャーナリズム・メディア観」）50%。				
教科書	年	出版社	書名	著者名			
	2018年度	教員学生共有サイト掲載	2018 ジャーナリズム制度特殊研究(比較)教材	山本賢二編			
	備考						
参考書	授業で適宜指示するほか、自ら関係著作、論文等を探し、参考にすること。						
オフィスアワー	月曜日と木曜日の12時30分から13時まで本館9階1918山本研究室。時間が必要な場合は、別の時間を設定するので、事前に下記のアドレスに連絡すること。 yamamoto.kenji@nihon-u.ac.jp						

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	日本步入近代化程中の政府と新媒体之关系：周光明
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
2	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	日本媒体“二”的法西斯化：力丹
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
3	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	日本媒体和播政策的法西斯化：力丹
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
4	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	近代日本与当代中国新体制比研究：李佳
	事後学習	論考の問題点をまとめる。

5	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	十五年争与日本： 昆
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
6	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	从新体制角看日本 郭
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
7	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	日本媒介素养教育状： 宋阳
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
8	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	《球》道的日本形象
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
9	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	一个 一个宣言—跨入新世的日本新界自律范： 周建明
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
10	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	国化潮流中的日本大众播媒介： 国良
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
11	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	日本：探索互网代之路
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
12	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	周 勇日本雅虎的成功之道
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
13	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	日本的媒体、及其政策的影响：研
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
14	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	中日关系的两点播学思考：研
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
15	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	匡文波日本三大有关史教科的社框架： 宁
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
16	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	日本广播体制比之中国： 高昊
	事後学習	論考の問題点をまとめる。

17	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	中日国道之迂及比研究—以1982、1998年《人民日报》、《朝日新》等例：国良
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
18	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	儒家文化圈与媒体的播特浅析——以中日三国例
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
19	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	中日播学者聚北京探北的文化交流 — “2005北播学国研会” 述
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
20	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	日本漫的状分析
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
21	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	浅画影的析—以日本画影及其代表崎例：耿璐
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
22	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	日本画中国青年的文化影响力：王程森
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
23	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	从中日画片比看中国国画片的展区和方向
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
24	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	安倍政下的：行量、道和政治取向 王广涛
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
25	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	日本媒体怎民众
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
26	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	《》日本政府如何干媒体独立
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
27	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	旅日人：日本政府如何干媒体独立已磨刀霍霍，中国却重判日本民意
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
28	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	日本媒如何解中日新关系：卓南生
	事後学習	論考の問題点をまとめる。

29	事前学習	授業で検証する論考をよく読む。
	授業内容	再日本媒中日关系的解：卓南生
	事後学習	論考の問題点をまとめる。
30	事前学習	これまでまとめた内容に基づき議論用資料を準備する。
	授業内容	中国の記者・研究者の日本のジャーナリズム・メディア観について議論する。
	事後学習	議論した内容を自分の意見を含めてまとめる。

科目名	ジャーナリズム制度特殊演習(比較)	担当者	山本 賢二	期間	通年	単位数	2
-----	-------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	日本のメディアの中国を中心とする報道、特に社説を分析する。分析対象は全国紙、ブロック紙を含む地方紙とする。また、必要に応じて比較するため中国の新聞を読む。						
授業目的・到達目標	日本の新聞の社説から見た国際観、特に中国をどのように位置付けているかを理解し、日本における国際報道のあるべき姿を考える。						
履修条件	特になし。						
授業方法	受講者それぞれの方法論に基づき、教材にある全国紙、地方紙の社説を分析、発表し、その問題点について議論する。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	正確な読解力30%、分析方法40%、発表内容30%。				
教科書	年	出版社	書名	著者名			
	2018年度	教員学生共有サイト掲載	2018 ジャーナリズム制度特殊演習(比較)教材	山本賢二編			
	備考						
参考書	授業内容に沿った関係著書、論文を自ら探し、参考として利用する。必要であれば求めに応じて助言する。						
オフィスアワー	月曜日と木曜日の12時30分から13時まで本館9階1918山本研究室。時間が必要な場合は、別の時間を設定するので、事前に下記のアドレスに連絡すること。 yamamoto.kenji@nihon-u.ac.jp						

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	尖閣衝突問題①全国紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
2	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	尖閣衝突問題②地方紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
3	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	ウルムチ7.5事件①全国紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
4	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	ウルムチ7.5事件②地方紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。

5	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	安保法制①全国紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
6	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	安保法制②地方紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
7	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	尖閣関連①全国紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
8	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	尖閣関連②地方紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
9	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	産経江沢民死去誤報①全国紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
10	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	産経江沢民死去誤報②地方紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
11	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	安倍首相真珠湾訪問①全国紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
12	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	安倍首相真珠湾訪問②地方紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
13	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	金正日死去報道①全国紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
14	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	金正日死去報道②地方紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
15	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	秘密保護法①全国紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
16	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	秘密保護法②地方紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。

17	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	ウイグル族天安門突入事件①全国紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
18	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	ウイグル族天安門突入事件②地方紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
19	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	2015中国軍事パレード①全国紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
20	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	2015中国軍事パレード②地方紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
21	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	トランプ大統領就任①全国紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
22	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	トランプ大統領就任②地方紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
23	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	日米首脳会談①全国紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
24	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	日米首脳会談②地方紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
25	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	中国6中全会①全国紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
26	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	中国6中全会②地方紙
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
27	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	中国サイバーセキュリティ法
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
28	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	習トランプ会談・習安倍会談
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。

29	事前学習	授業内容に関する先行研究を読む。
	授業内容	劉曉波死去
	事後学習	分析対象とした社説の問題点をまとめる。
30	事前学習	これまで議論してきた内容（問題点）をまとめる。
	授業内容	日本の新聞社説と中国・国際関係について議論する。
	事後学習	議論内容をまとめる。

科目名	ジャーナリズム制度特殊演習(システム)	担当者	岩淵 美克	期間	通年	単位数	2
-----	---------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	Comparing Media Systems - Three Models of Media and politics を教科書として日本における政治とメディアの関係を同書に基づくどのモデルに対応するか、そしてそれがどのような意義を持つのかを考察する。						
授業目的・到達目標	講義の目的は、日本の政治とメディアに関する博士論文を各学生に対して、博士論文の一助になることである。 到達目標は、学生が一日も早く博士論文を完成することであり、そのために有益な講義としたい。						
履修条件	ジャーナリズム制度特殊演習(システム)を履修していることが望ましい。						
授業方法	講義を中心として、博士論文完成のための議論なども行う。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	講義態度や学内外での学会発表、論文なども参考にしながら、総合的に判断する。				
教科書	年	出版社	書名	著者名			
	2004	Cambridge	Comparing Media Systems - Three Models of Media and politics				
	備考						
参考書	適宜、提示します。						
オフィスアワー	12:30~13:00 特に予約の必要は無いが、用事のある場合は留守にすることもある。その場合は、日を改めてください。						

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	教科書を手に入れるか、入れられない人は、私の研究室でコピーすること。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	講義を受講するかどうかを決断してください。
2	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	The North/Central European or Democratic Corporatist Model (1)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察する。 また、議論において出た意見等を整理する。
3	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	The North/Central European or Democratic Corporatist Model (2)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察する。 また、議論において出た意見等を整理する。
4	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	The North/Central European or Democratic Corporatist Model (3)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察する。 また、議論において出た意見等を整理する。

5	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	The North/Central European or Democratic Corporatist Model (4)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察する。 また、議論において出た意見等を整理する。
6	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	The North/Central European or Democratic Corporatist Model (5)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察する。 また、議論において出た意見等を整理する。
7	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	The North/Central European or Democratic Corporatist Model (6)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察する。 また、議論において出た意見等を整理する。
8	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	The North Atlantic or Lberal Model (1)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察する。 また、議論において出た意見等を整理する。
9	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	The North Atlantic or Lberal Model (2)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察する。 また、議論において出た意見等を整理する。
10	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	The North Atlantic or Lberal Model (3)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察する。 また、議論において出た意見等を整理する。
11	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	The North Atlantic or Lberal Model (4)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察する。 また、議論において出た意見等を整理する。
12	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	The North Atlantic or Lberal Model (5)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察する。 また、議論において出た意見等を整理する。
13	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	The North Atlantic or Lberal Model (6)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察する。 また、議論において出た意見等を整理する。
14	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	The North Atlantic or Lberal Model (7)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察する。 また、議論において出た意見等を整理する。
15	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	The Forces and Limits of Homgenization(1)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察する。 また、議論において出た意見等を整理する。
16	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	The Forces and Limits of Homgenization(2)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察する。 また、議論において出た意見等を整理する。

17	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	The Forces and Limits of Homgenization(3)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察しする。 また、議論において出た意見等を整理する。
18	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	The Forces and Limits of Homgenization(4)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察しする。 また、議論において出た意見等を整理する。
19	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	The Forces and Limits of Homgenization(5)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察しする。 また、議論において出た意見等を整理する。
20	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	The Forces and Limits of Homgenization(6)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察しする。 また、議論において出た意見等を整理する。
21	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	The Forces and Limits of Homgenization(7)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察しする。 また、議論において出た意見等を整理する。
22	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	The Forces and Limits of Homgenization(8)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察しする。 また、議論において出た意見等を整理する。
23	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	The Forces and Limits of Homgenization(9)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察しする。 また、議論において出た意見等を整理する。
24	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	The Forces and Limits of Homgenization(10)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察しする。 また、議論において出た意見等を整理する。
25	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	Concl us ion(1)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察しする。 また、議論において出た意見等を整理する。
26	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	Concl us ion(2)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察しする。 また、議論において出た意見等を整理する。
27	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	Concl us ion(3)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察しする。 また、議論において出た意見等を整理する。
28	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	Concl us ion(4)
	事後学習	翻訳の間違いがあった場合は、その理由を考察しする。 また、議論において出た意見等を整理する。

29	事前学習	各章を翻訳する。
	授業内容	Conclusion (5)
	事後学習	翻訳の間違ひがあった場合は、その理由を考察しする。 また、議論において出た意見等を整理する。
30	事前学習	今までの講義をまとめる。
	授業内容	総括
	事後学習	博士論文の完成を目指す。

科目名	ジャーナリズム史特殊研究(比較)	担当者	大井 眞二	期間	通年	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	比較ジャーナリズム史研究の方法論の諸パラダイムを批判的に検討する						
授業目的・到達目標	「プレス」の4理論」以後の比較ジャーナリズム史の方法論の諸パラダイムを、 ①Hallin & Manciniの西欧モデル ②脱西欧モデルの諸条件 を通して理解する						
履修条件	西洋史とりわけアメリカ史の基本的な知識と理解						
授業方法	テキスト「Comparing Media Systems」の輪読と批判的レビュー						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	50% 研究報告 50% 課題報告				
教科書	年	出版社	書名			著者名	
	平成30年度	Cambridge University Press	Comparing Media Systems 2004			D. Hallin & P. Mancini	
	備考						
参考書	大井眞二他訳「アメリカ報道史」(松柏社、2016年) 他については、授業の折に適宜紹介する。						
オフィスアワー	水曜日の午後1時半から2時半 あらかじめメールで用件の概要を伝えアポをとること						

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	シラバスの熟読
	授業内容	講義概要・注意事項・参考文献紹介、次回授業の概要など
	事後学習	リアクションペーパーの作成
2	事前学習	テキストComparing Media Systems Introductionの精読(1)
	授業内容	Introductionの輪読と議論(1)
	事後学習	リアクションペーパーの作成
3	事前学習	テキストComparing Media Systems Introductionの精読(2)
	授業内容	Introductionの輪読と議論(2)
	事後学習	リアクションペーパーの作成
4	事前学習	テキストComparing Media Systems Introductionの精読(3)
	授業内容	Introductionの輪読と議論(3)
	事後学習	リアクションペーパーの作成

5	事前学習	テキストComparing Media Systems Introductionの精読（4）
	授業内容	Introductionの輪読と議論（4）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
6	事前学習	テキスト2章Comparing Media Systems の精読（1）
	授業内容	2章 Comparing Media Systemsの輪読と議論（1）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
7	事前学習	テキスト2章Comparing Media Systems の精読（2）
	授業内容	2章 Comparing Media Systemsの輪読と議論（2）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
8	事前学習	テキスト2章Comparing Media Systems の精読（3）
	授業内容	2章 Comparing Media Systemsの輪読と議論（3）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
9	事前学習	テキスト2章Comparing Media Systems の精読（4）
	授業内容	2章 Comparing Media Systemsの輪読と議論（4）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
10	事前学習	テキスト3章Media and Political Systems, and the Questions of Differentiationの精読（1）
	授業内容	3章Media and Political Systems, and the Questions of Differentiationの輪読と議論（1）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
11	事前学習	テキスト3章Media and Political Systems, and the Questions of Differentiationの精読（2）
	授業内容	3章Media and Political Systems, and the Questions of Differentiationの輪読と議論（2）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
12	事前学習	テキスト3章Media and Political Systems, and the Questions of Differentiationの精読（3）
	授業内容	3章Media and Political Systems, and the Questions of Differentiationの輪読と議論（3）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
13	事前学習	テキスト3章Media and Political Systems, and the Questions of Differentiationの精読（4）
	授業内容	3章Media and Political Systems, and the Questions of Differentiationの輪読と議論（4）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
14	事前学習	テキスト4章The Political Context of Media Systemsの精読（1）
	授業内容	4章The Political Context of Media Systemsの輪読と議論（1）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
15	事前学習	テキスト4章The Political Context of Media Systemsの精読（2）
	授業内容	4章The Political Context of Media Systemsの輪読と議論（2）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
16	事前学習	テキスト4章The Political Context of Media Systemsの精読（3）
	授業内容	4章The Political Context of Media Systemsの輪読と議論（3）
	事後学習	リアクションペーパーの作成

17	事前学習	テキスト4章The Political Context of Media Systemsの精読（4）
	授業内容	4章The Political Context of Media Systemsの輪読と議論（4）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
18	事前学習	テキスト5章The Mediterranean of Polarized Pluralist Modelの精読（1）
	授業内容	5章The Mediterranean of Polarized Pluralist Modelの輪読と議論（1）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
19	事前学習	テキスト5章The Mediterranean of Polarized Pluralist Modelの精読（2）
	授業内容	5章The Mediterranean of Polarized Pluralist Modelの輪読と議論（2）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
20	事前学習	テキスト5章The Mediterranean of Polarized Pluralist Modelの精読（3）
	授業内容	5章The Mediterranean of Polarized Pluralist Modelの輪読と議論（3）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
21	事前学習	テキスト5章The Mediterranean of Polarized Pluralist Modelの精読（4）
	授業内容	5章The Mediterranean of Polarized Pluralist Modelの輪読と議論（4）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
22	事前学習	テキスト6章The North/Central European or Democratic Corporatist Modelの精読（1）
	授業内容	6章The North/Central European or Democratic Corporatist Modelの輪読と議論（1）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
23	事前学習	テキスト6章The North/Central European or Democratic Corporatist Modelの精読（2）
	授業内容	6章The North/Central European or Democratic Corporatist Modelの輪読と議論（2）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
24	事前学習	テキスト6章The North/Central European or Democratic Corporatist Modelの精読（3）
	授業内容	6章The North/Central European or Democratic Corporatist Modelの輪読と議論（3）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
25	事前学習	テキスト6章The North/Central European or Democratic Corporatist Modelの精読（4）
	授業内容	6章The North/Central European or Democratic Corporatist Modelの輪読と議論（4）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
26	事前学習	テキスト7章The North Atlantic or Liberal Modelの精読（1）
	授業内容	7章The North Atlantic or Liberal Modelの輪読と議論（1）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
27	事前学習	テキスト7章The North Atlantic or Liberal Modelの精読（2）
	授業内容	7章The North Atlantic or Liberal Modelの輪読と議論（2）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
28	事前学習	テキスト7章The North Atlantic or Liberal Modelの精読（3）
	授業内容	7章The North Atlantic or Liberal Modelの輪読と議論（3）
	事後学習	リアクションペーパーの作成

29	事前学習	テキスト7章The North Atlantic or Liberal Modelの精読（4）
	授業内容	7章The North Atlantic or Liberal Modelの輪読と議論（4）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
30	事前学習	三つのモデルの特徴比較（復習）
	授業内容	Comparing Media Systemsの総括的評価
	事後学習	授業総括リアクションペーパーの作成

科目名	ジャーナリズム史特殊演習(比較)	担当者	大井 眞二	期間	通年	単位数	2
-----	------------------	-----	-------	----	----	-----	---

授業概要	比較ジャーナリズム史の実証的研究の諸パラダイムを批判的に検討する						
授業目的・到達目標	「プレス」の4理論」以後の比較ジャーナリズム史の実証的研究の諸パラダイムを、 ①Hallin & Manciniの脱西欧モデル ②さまざまな脱西欧モデルの問題点 を通して理解する						
履修条件	西洋史とりわけアメリカ史の基本的な知識と理解						
授業方法	テキスト「Comparing Media Systems Beyond Western World」の輪読と批判的レビュー						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験						
	平常評価	100%	50%	研究報告	50%	課題報告	
教科書	年	出版社	書名			著者名	
	平成30年度	Cambridge University Press	Comparing Media Systems Beyond Western World (2012)			D. Hallin & P. Mancini Eds.	
	備考						
参考書	大井眞二他訳『アメリカ報道史』(松柏社、2016年) 他については授業の折に適宜紹介する						
オフィスアワー	水曜日の午後1時半から2時半 あらかじめメールで用件の概要を伝えアポをとること						

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	シラバスの熟読
	授業内容	講義概要・注意事項・参考文献紹介」、次回の授業について
	事後学習	リアクションペーパーの作成
2	事前学習	テキスト1章Introductionの精読(1)
	授業内容	1章Introductionの輪読と議論(1)
	事後学習	リアクションペーパーの作成
3	事前学習	テキスト1章Introductionの精読(2)
	授業内容	1章Introductionの輪読と議論(2)
	事後学習	リアクションペーパーの作成
4	事前学習	テキスト1章Introductionの精読(3)
	授業内容	1章Introductionの輪読と議論(3)
	事後学習	リアクションペーパーの作成

5	事前学習	テキスト1章Introductionの精読（4）
	授業内容	1章Introductionの輪読と議論（4）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
6	事前学習	テキスト3章Itarianization of the Polish Media System? Reality and Perspectiveの精読（1）
	授業内容	3章Itarianization of the Polish Media System? Reality and Perspectiveの輪読と議論（1）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
7	事前学習	テキスト3章Itarianization of the Polish Media System? Reality and Perspectiveの精読（2）
	授業内容	3章Itarianization of the Polish Media System? Reality and Perspectiveの輪読と議論（2）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
8	事前学習	テキスト3章Itarianization of the Polish Media System? Reality and Perspectiveの精読（3）
	授業内容	3章Itarianization of the Polish Media System? Reality and Perspectiveの輪読と議論（3）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
9	事前学習	テキスト3章Itarianization of the Polish Media System? Reality and Perspectiveの精読（4）
	授業内容	3章Itarianization of the Polish Media System? Reality and Perspectiveの輪読と議論（4）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
10	事前学習	テキスト2章The Impact of National Security on the Development of Media Systemsの精読（1）
	授業内容	2章The Impact of National Security on the Development of Media Systemsの輪読と議論（1）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
11	事前学習	テキスト2章The Impact of National Security on the Development of Media Systemsの精読（2）
	授業内容	2章The Impact of National Security on the Development of Media Systemsの輪読と議論（2）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
12	事前学習	テキスト2章The Impact of National Security on the Development of Media Systemsの精読（3）
	授業内容	2章The Impact of National Security on the Development of Media Systemsの輪読と議論（3）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
13	事前学習	テキスト2章The Impact of National Security on the Development of Media Systemsの精読（4）
	授業内容	2章The Impact of National Security on the Development of Media Systemsの輪読と議論（4）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
14	事前学習	テキスト4章Culture as a Guide in Theoretical Explorations of Baltic Mediaの精読（1）
	授業内容	4章Culture as a Guide in Theoretical Explorations of Baltic Mediaの輪読と議論（1）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
15	事前学習	テキスト4章Culture as a Guide in Theoretical Explorations of Baltic Mediaの精読（2）
	授業内容	4章Culture as a Guide in Theoretical Explorations of Baltic Mediaの輪読と議論（2）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
16	事前学習	テキスト4章Culture as a Guide in Theoretical Explorations of Baltic Mediaの精読（3）
	授業内容	4章Culture as a Guide in Theoretical Explorations of Baltic Mediaの輪読と議論（3）
	事後学習	リアクションペーパーの作成

17	事前学習	テキスト4章Culture as a Guide in Theoretical Explorations of Baltic Mediaの精読（4）
	授業内容	4章Culture as a Guide in Theoretical Explorations of Baltic Mediaの輪読と議論（4）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
18	事前学習	テキスト7章The Russian Media Model in the Context of Post-Soviet Dynamicsの精読（1）
	授業内容	7章The Russian Media Model in the Context of Post-Soviet Dynamicsの輪読と議論（1）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
19	事前学習	テキスト7章The Russian Media Model in the Context of Post-Soviet Dynamicsの精読（2）
	授業内容	7章The Russian Media Model in the Context of Post-Soviet Dynamicsの輪読と議論（2）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
20	事前学習	テキスト7章The Russian Media Model in the Context of Post-Soviet Dynamicsの精読（3）
	授業内容	7章The Russian Media Model in the Context of Post-Soviet Dynamicsの輪読と議論（3）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
21	事前学習	テキスト7章The Russian Media Model in the Context of Post-Soviet Dynamicsの精読（4）
	授業内容	7章The Russian Media Model in the Context of Post-Soviet Dynamicsの輪読と議論（4）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
22	事前学習	テキスト8章Understanding Chinese Media System in a World Historical Contextの精読（1）
	授業内容	8章Understanding Chinese Media System in a World Historical Contextの輪読と議論（1）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
23	事前学習	テキスト8章Understanding Chinese Media System in a World Historical Contextの精読（2）
	授業内容	8章Understanding Chinese Media System in a World Historical Contextの輪読と議論（2）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
24	事前学習	テキスト8章Understanding Chinese Media System in a World Historical Contextの精読（3）
	授業内容	8章Understanding Chinese Media System in a World Historical Contextの輪読と議論（3）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
25	事前学習	テキスト8章Understanding Chinese Media System in a World Historical Contextの精読（4）
	授業内容	8章Understanding Chinese Media System in a World Historical Contextの輪読と議論（4）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
26	事前学習	テキスト6章Africanizing Three Models of Media and Politics:The South African Experienceの精読（1）
	授業内容	6章Africanizing Three Models of Media and Politics:The South African Experienceの輪読と議論（1）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
27	事前学習	テキスト6章Africanizing Three Models of Media and Politics:The South African Experienceの精読（2）
	授業内容	6章Africanizing Three Models of Media and Politics:The South African Experienceの輪読と議論（2）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
28	事前学習	テキスト6章Africanizing Three Models of Media and Politics:The South African Experienceの精読（3）
	授業内容	6章Africanizing Three Models of Media and Politics:The South African Experienceの輪読と議論（3）
	事後学習	リアクションペーパーの作成

29	事前学習	テキスト6章Africanizing Three Models of Media and Politics:The South African Experienceの精読（4）
	授業内容	6章Africanizing Three Models of Media and Politics:The South African Experienceの輪読と議論（4）
	事後学習	リアクションペーパーの作成
30	事前学習	脱西欧モデルの特徴比較（復習）
	授業内容	Comparing Media Systems Beyond Western Worldの総括的評価
	事後学習	授業総括リアクションペーパーの作成

科目名	合同演習	担当者	福田 充	期間	通年	単位数	2
-----	------	-----	------	----	----	-----	---

授業概要	ジャーナリズム・メディアに関する博士論文の作成、執筆のために必要な研究のプロセスを学ぶ。ジャーナリズム・メディアに関する問題意識を醸成し、研究テーマを設定、研究対象を絞り込み、先行研究を収集し、リサーチ・クエスチョンおよび仮説を立て、研究方法を確立するという流れを学び、実践する。						
授業目的・到達目標	博士論文のテーマを決定し、問題意識を固め、研究対象と研究方法を確立して、リサーチ・クエスチョンに基づいた仮説を設定し、自力で検証して論文を作成する能力を身につけることを目標とする。						
履修条件	大学院新聞学研究科博士後期過程の大学院生であること。						
授業方法	受講生が毎回研究発表を行い指導する。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験	0%					
	平常評価	100%	毎回の演習において行う研究発表を評価する。				
教科書	年	出版社	書名	著者名			
	2010	慶應義塾大学出版会	『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』	福田充			
	2010	北樹出版	『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』	福田充			
	備考						
参考書	福田充編（2012）『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』（北樹出版）。 その他の参考書は、演習中に適宜紹介する。						
オフィスアワー	水曜日 1 限。						

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	指定教科書の通読。
	授業内容	ガイダンス
	事後学習	研究レジユメの作成。
2	事前学習	指定教科書の通読。
	授業内容	自然災害とメディア報道
	事後学習	研究レジユメの作成。
3	事前学習	指定教科書の通読。
	授業内容	大規模事故とメディア報道
	事後学習	研究レジユメの作成。
4	事前学習	指定教科書の通読。
	授業内容	テロリズムとメディア報道
	事後学習	研究レジユメの作成。

5	事前学習	指定教科書の通読。
	授業内容	戦争・紛争とメディア報道
	事後学習	研究レジユメの作成。
6	事前学習	指定教科書の通読。
	授業内容	国民保護とメディア報道
	事後学習	研究レジユメの作成。
7	事前学習	指定教科書の通読。
	授業内容	リスク社会における国民世論
	事後学習	研究レジユメの作成。
8	事前学習	指定教科書の通読。
	授業内容	リスク・コミュニケーションとクライシス・コミュニケーション
	事後学習	研究レジユメの作成。
9	事前学習	指定教科書の通読。
	授業内容	リスク・リテラシーを高めるジャーナリズム
	事後学習	研究レジユメの作成。
10	事前学習	指定教科書の通読。
	授業内容	危機管理と監視社会
	事後学習	研究レジユメの作成。
11	事前学習	指定教科書の通読。
	授業内容	プロパガンダとパブリック・ディプロマシー
	事後学習	研究レジユメの作成。
12	事前学習	指定教科書の通読。
	授業内容	フェイク・ニュースとポスト・トゥルース時代
	事後学習	研究レジユメの作成。
13	事前学習	指定教科書の通読。
	授業内容	メディア・ジャーナリズム教育のあり方
	事後学習	研究レジユメの作成。
14	事前学習	指定教科書の通読。
	授業内容	メディアの規制と自立
	事後学習	研究レジユメの作成。
15	事前学習	指定教科書の通読。
	授業内容	前期のまとめと総括
	事後学習	研究レジユメの作成。
16	事前学習	先行研究の収集とレジユメ作成。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの個人研究発表①
	事後学習	博士論文・個別論文の作成作業。

17	事前学習	先行研究の収集とレジュメ作成。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの個人研究発表②
	事後学習	博士論文・個別論文の作成作業。
18	事前学習	先行研究の収集とレジュメ作成。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの個人研究発表③
	事後学習	博士論文・個別論文の作成作業。
19	事前学習	先行研究の収集とレジュメ作成。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの個人研究発表④
	事後学習	博士論文・個別論文の作成作業。
20	事前学習	先行研究の収集とレジュメ作成。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの個人研究発表⑤
	事後学習	博士論文・個別論文の作成作業。
21	事前学習	先行研究の収集とレジュメ作成。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの個人研究発表⑥
	事後学習	博士論文・個別論文の作成作業。
22	事前学習	先行研究の収集とレジュメ作成。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの個人研究発表⑦
	事後学習	博士論文・個別論文の作成作業。
23	事前学習	先行研究の収集とレジュメ作成。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの個人研究発表⑧
	事後学習	博士論文・個別論文の作成作業。
24	事前学習	先行研究の収集とレジュメ作成。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの個人研究発表⑨
	事後学習	博士論文・個別論文の作成作業。
25	事前学習	先行研究の収集とレジュメ作成。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの個人研究発表⑩
	事後学習	博士論文・個別論文の作成作業。
26	事前学習	先行研究の収集とレジュメ作成。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの個人研究発表⑪
	事後学習	博士論文・個別論文の作成作業。
27	事前学習	先行研究の収集とレジュメ作成。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの個人研究発表⑫
	事後学習	博士論文・個別論文の作成作業。
28	事前学習	先行研究の収集とレジュメ作成。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの個人研究発表⑬
	事後学習	博士論文・個別論文の作成作業。

29	事前学習	先行研究の収集とレジюме作成。
	授業内容	ジャーナリズム・メディアの個人研究発表⑭
	事後学習	博士論文・個別論文の作成作業。
30	事前学習	先行研究の収集とレジюме作成。
	授業内容	全体のまとめと総括
	事後学習	博士論文・個別論文の作成作業。

科目名	研究指導	担当者	福田 充	期間	通年	単位数	2
-----	------	-----	------	----	----	-----	---

授業概要	博士後期過程におけるジャーナリズムとメディア研究において、研究計画を作成し、研究を実践する過程、そしてその研究成果を学術論文としてまとめる過程を学び、その能力を身につけるための研究活動全体を指導する。						
授業目的・到達目標	受講生である博士後期過程の大学院生が、自らの個人研究テーマを確立し、そのテーマに沿って研究計画を構築し、その計画に沿って研究を実施する能力を身につける。						
履修条件	特になし。						
授業方法	ジャーナリズムとメディアに関して、毎回のテーマに沿って受講生が研究発表を行い、研究指導を行う。						
成績評価	種別	割合	評価方法				
	定期試験	0%					
	平常評価	100%	毎回の研究指導において、受講生が行う研究発表を採点し、平常評価とする。				
教科書	年	出版社	書名	著者名			
	2010	北樹出版	『リスク・コミュニケーションとメディア～社会調査論的アプローチ』	福田充			
	2010	慶應義塾大学出版会	『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』	福田充			
	2012	北樹出版	『大震災とメディア～東日本大震災の教訓』	福田充編			
	備考						
参考書	講義中に適宜紹介する。						
オフィスアワー	水曜日 1 限。						

【授業計画】

回数	授 業 内 容	
1	事前学習	指定の教科書の事前読解。
	授業内容	研究指導ガイダンス。
	事後学習	研究テーマの検討。
2～10	事前学習	指定の教科書・参考書・先行論文の収集と事前読解。
	授業内容	研究テーマと問題意識を構築する。
	事後学習	研究発表レジュメの作成。
11～20	事前学習	指定の教科書・参考書・先行論文の収集と事前読解。
	授業内容	研究対象を設定し、先行研究を学ぶ。
	事後学習	研究発表レジュメの作成。
21～30	事前学習	指定の教科書・参考書・先行論文の収集と事前読解。
	授業内容	研究方法を確立し、仮説を構築する。
	事後学習	研究発表レジュメの作成。

31	事前学習	指定の教科書・参考書・先行論文の収集と事前読解。
	授業内容	研究指導ガイダンス。
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
32～40	事前学習	指定の教科書・参考書・先行論文の収集と事前読解。
	授業内容	研究の実施と研究データの分析。
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
41～50	事前学習	指定の教科書・参考書・先行論文の収集と事前読解。
	授業内容	研究成果の発表と論文の執筆。
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
51～60	事前学習	指定の教科書・参考書・先行論文の収集と事前読解。
	授業内容	論文の完成と研究発表。
	事後学習	研究発表レジユメの作成。
61	事前学習	指定の教科書・参考書・先行論文の収集と事前読解。
	授業内容	研究指導ガイダンス。
	事後学習	博士論文の執筆。
62～70	事前学習	指定の教科書・参考書・先行論文の収集と事前読解。
	授業内容	博士論文の作成①
	事後学習	博士論文の執筆。
71～80	事前学習	指定の教科書・参考書・先行論文の収集と事前読解。
	授業内容	博士論文の作成②
	事後学習	博士論文の執筆。
81～90	事前学習	指定の教科書・参考書・先行論文の収集と事前読解。
	授業内容	博士論文の作成③
	事後学習	博士論文の執筆。